

輸送貨物の事故情報に関するデータベース

報 告 書

第四回(2014 年度)

平成 27 年 3 月 31 日

一般社団法人日本海事検定協会

(検査第一サービスセンター)

目 次

1. はじめに	3
2. 対象データについて	3
3. データの分類について	4
4. 貨物種類別の事故状況について	8
データベース 2014 年度版	8-148
5. 終わりに	149

1. はじめに

本データベースは、過去及び今後発生する事故情報を収集・整理し、事故貨物の種類、事故の特徴・傾向、事故の規模、事故品の処理等について分析するとともに事故予防策を研究し、これらの情報をデータベース化して、商社、メーカー、輸送業者、倉庫会社、損害保険会社等の不特定多数の関係者に対して当協会のホームページ (<http://www.nkkk.or.jp>) 上で公表するものである。

2. 対象データ

本データベースのデータは、第三者検査機関としての業務を通じて当協会が蓄積した貨物損害事故事例に関するデータを整理・分析したものであり、輸入貨物は、2011-2012 年度（2011 年 4 月 1 日-2013 年 3 月 31 日）及び 2013 年度（2013 年 4 月 1 日-2014 年 3 月 31 日）の 3 年間、国内貨物は、2010-2012 年度（2010 年 4 月 1 日-2013 年 3 月 31 日）および 2013 年度（2013 年 4 月 1 日-2014 年 3 月 31 日）の 4 年間で当協会の全国事業所で収集した下記データが対象である。

輸入貨物データ：

2011-2013 年度の 3 年間に収集した輸入貨物事故案件から主に海上コンテナにて輸入された貨物（18 分類）より抽出した約 9,100 件を対象とした。但し、輸入量が少なく、輸入者が特定される可能性がある貨物は除外した。

国内輸送貨物データ：

2010-2013 年度の 4 年間に収集した国内輸送貨物事故案件より抽出した約 6,800 件を対象とした。但し、取り扱い業者が特定される恐れのある特殊貨物は除外した。

本データベースは、上記の条件の下で収集したデータで構成されているものであり、輸入貨物および国内輸送貨物事故の一部であり完全なものではないため、あくまで参考値として取り扱って頂く必要がある。

また、本データは、当会が検査を行った事故情報のみであるため日本へ輸入される貨物の事故発生頻度を表現するものではない。

データベースとして有意なデータ数となるまで、10 年間を目途として毎年データを積上げる予定だったが、毎年の傾向がほぼ同じであることが確認できたため、本年度を最終年とすることとした。

個々の項目について、本年度は産業機械類、電子精密機器の損害について、損害の分析、及び損害防止策について検討を行った。

3. データの分類

輸入貨物データ、国内輸送貨物データは、それぞれ下記のカテゴリーに分類した。

輸入貨物データ：

輸送手段：
船舶
航空機
トラック(注1)
鉄道(注1)
(倉庫保管中)

(注1) 出荷地での船舶/航空機への積載前、および日本到着後、船舶/航空機からの揚荷後のトラックもしくは鉄道輸送中に事故が発生した場合、輸送手段としては、船舶、航空機ではなく、トラックもしくは鉄道としている。

貨物分類：
食品
野菜・青果物
穀物、肥料、飼料(バラ積貨物)
紙、パルプ、古紙
衣類、繊維類
日用品、医薬品、雑貨
骨董品、美術品
木材(製材、原木)
船舶、車両、輸送機器
鋼材、鉄鋼製品(非鉄金属製品を含む)
鉱産物
石油、ケミカル類
産業機械類
電子・精密機器、光学機器
施設・構造物
家電製品
機械部品
原料・素材

梱包：
裸
袋
カートン
木箱・クレート
ドラム
缶
鉄製ラック・ケース

事故発生場所： 積地保管中
積込作業中
バンニング中（貨物をコンテナに詰める作業）
陸上輸送中
海上輸送中
積替中
荷降中
デバン中（貨物をコンテナから取り出す作業）
揚地保管中

損害形態： 凍結・解凍
清水濡れ
変色・変質・劣化・腐敗
破損・曲損・凹損・変形
汗濡れ
異物混入（コンタミネーション）
漏れ損
抜荷・不着・欠損
黴損
汚染・汚損
溶解
海水濡れ
着臭
錆損
作動不良
焼損

事故原因： 荒天
輸送中の動揺・振動
ラフハンドリング
コンテナ損傷・故障
船舶・車両・付属機器不良（コンテナ損傷・故障以外）
機器設定ミス
固縛不良
積付・積載不良
清掃不良
保管不良
衝突・座礁・火災
温度・湿度変化
品質不良

火災
税関検査
冠水
梱包不良
盗難

国内輸送貨物データ：

輸送手段：	トラック・トレーラー 船舶 航空機 自走 バイク便
貨物分類：	食品 野菜・青果物 穀物、肥料、飼料（バラ積貨物） 紙、パルプ、古紙 衣類、繊維類 日用品、医薬品、雑貨 骨董品、美術品 木材（製材、原木） 船舶、車両、輸送機器 鋼材、鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む） 鉱産物 石油、ケミカル類 産業機械類 電子・精密機器、光学機器 施設・構造物 家電製品 機械部品 原料・素材
梱包：	裸 袋 カートン 木箱・クレート 通い箱 ドラム 缶 鉄製ラック・ケース

事故発生場所：	保管中
	積込作業中
	輸送中
	駐車中
	積替中
	荷降中
	荷揚中
	作業中
損害形態：	凍結・解凍
	清水濡れ
	変色・変質・劣化・腐敗
	破損・曲損・凹損・変形
	汗濡れ
	異物混入（コンタミネーション）
	漏れ損
	抜荷・不着・欠損
	黴損
	汚染・汚損
	溶解
	海水濡れ
	着臭
	錆損
事故原因：	ラフ・ミスハンドリング
	運転不注意
	接触・交通事故
	積付・積載・固縛不良
	シート不良
	車両・付属機器不良
	保管不良
	火災
	落雷
	台風・集中豪雨
	荒天
	盗難
	紛失
	品質不良
	雪害

4. 貨物種類別の事故状況について

貨物分類データより、貨物別に「損害形態」をキーとして分類を行い、各々の損害形態についての「事故発生場所」、「事故原因」および「損害処理方法」の集計を行った。

－ データベース 2014 年度版 －

I 輸入貨物における貨物種類別の事故状況	Page
(1) 食品（野菜・青果物以外）	10
(2) 野菜・青果物	18
(3) 穀物・肥料・飼料	22
(4) 紙・パルプ・古紙	28
(5) 衣類・繊維類	32
(6) 日用品・医薬品・雑貨	38
(7) 骨董品・美術品	42
(8) 木材（製材、原木）	44
(9) 船舶・車両・輸送機器	51
(10) 鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）	55
(11) 鉱産物	62
(12) 石油・ケミカル・その他石油化学製品	68
(13) 産業機械類	74
(14) 電子・精密機器	79
(15) 施設・構造物	83
(16) 家電製品	85
(17) 機械部品	88
(18) 原料・素材	92
II 国内輸送貨物における貨物種類別の事故状況	Page
(1) 食品（野菜・青果物以外）	94
(2) 野菜・青果物	100
(3) 穀物・肥料・飼料	103
(4) 紙・パルプ・古紙	106
(5) 衣類・繊維類	109
(6) 日用品・医薬品・雑貨	112
(7) 骨董品・美術品	116
(8) 木材（製材、原木）	119
(9) 船舶・車両・輸送機器	122
(10) 鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）	124

(11) 鉱産物	126
(12) 石油・ケミカル・その他石油化学製品	128
(13) 産業機械類	131
(14) 電子・精密機器	133
(15) 施設・構造物	137
(16) 家電製品	139
(17) 機械部品	141
(18) 原料・素材	143
III 産業機械及び電子精密機器の損害について	145

I 輸入貨物における貨物種類別の事故状況

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	2,043	32.7%	869	30.0%	2,912	31.9%
清水濡れ	1,045	16.7%	433	15.0%	1,478	16.2%
汚損・汚染	684	11.0%	341	11.8%	1,025	11.2%
凍結・解凍	582	9.3%	296	10.2%	878	9.6%
変色・変質・劣化・腐敗	322	5.2%	307	10.6%	629	6.9%
汗濡れ	465	7.4%	158	5.5%	623	6.8%
海水濡れ	372	6.0%	115	4.0%	487	5.3%
コンタミ	162	2.6%	112	3.9%	274	3.0%
抜荷・不着・欠損	82	1.3%	71	2.5%	153	1.7%
徴損	90	1.4%	58	2.0%	148	1.6%
漏損	92	1.5%	47	1.6%	139	1.5%
錆損	72	1.2%	47	1.6%	119	1.3%
流失・濡れ損・腐食	117	1.9%	0	0.0%	117	1.3%
着臭	38	0.6%	20	0.7%	58	0.6%
焼損	34	0.5%	7	0.2%	41	0.4%
溶解	25	0.4%	5	0.2%	30	0.3%
該当無し	19	0.3%	8	0.3%	27	0.3%
作動不良	2	0.03%	0	0.0%	2	0.02%
乾燥	0	0.0%	1	0.03%	1	0.01%
総計	6,246	100.0%	2,895	100.0%	9,141	100.0%

表 1：輸入貨物の損害形態

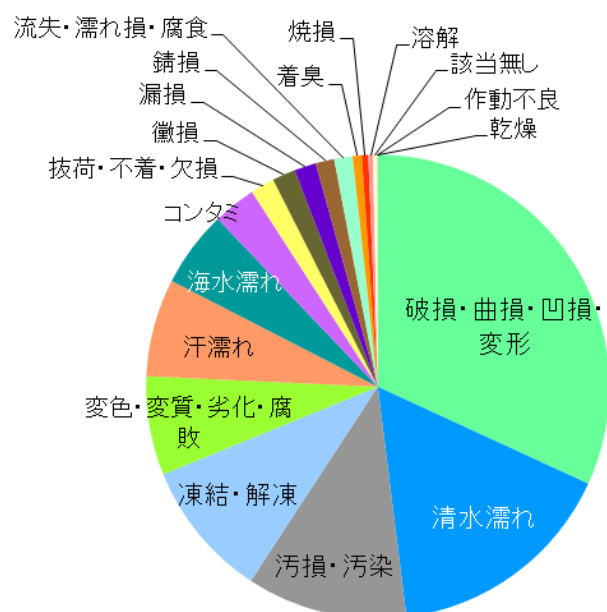


図 1：輸入貨物の損害形態

(1) 食品（野菜・青果物以外）

損害形態

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害形態	件数	割合	件数	割合	件数	割合
凍結・解凍	549	38.8%	274	41.3%	823	39.6%
変色・変質・劣化・腐敗	179	12.7%	109	16.4%	288	13.9%
破損・曲損・凹損・変形	178	12.6%	64	9.6%	242	11.6%
清水濡れ	175	12.4%	60	9.0%	235	11.3%
汗濡れ	100	7.1%	33	5.0%	133	6.4%
コンタミ	42	3.0%	26	3.9%	68	3.3%
汚損・汚染	33	2.3%	26	3.9%	59	2.8%
漏損	41	2.9%	15	2.3%	56	2.7%
微損	33	2.3%	19	2.9%	52	2.5%
海水濡れ	19	1.3%	8	1.2%	27	1.3%
抜荷・不着・欠損	14	1.0%	10	1.5%	24	1.2%
着臭	15	1.1%	6	0.9%	21	1.0%
溶解	17	1.2%	4	0.6%	21	1.0%
該当無し	5	0.4%	5	0.8%	10	0.5%
流失・濡れ損・腐食	10	0.7%	0	0.0%	10	0.5%
錆損	4	0.3%	4	0.6%	8	0.4%
乾燥	0	0.0%	1	0.2%	1	0.05%
総計	1,414	100.0%	664	100.0%	2,078	100.0%

表 2：食品の損害形態

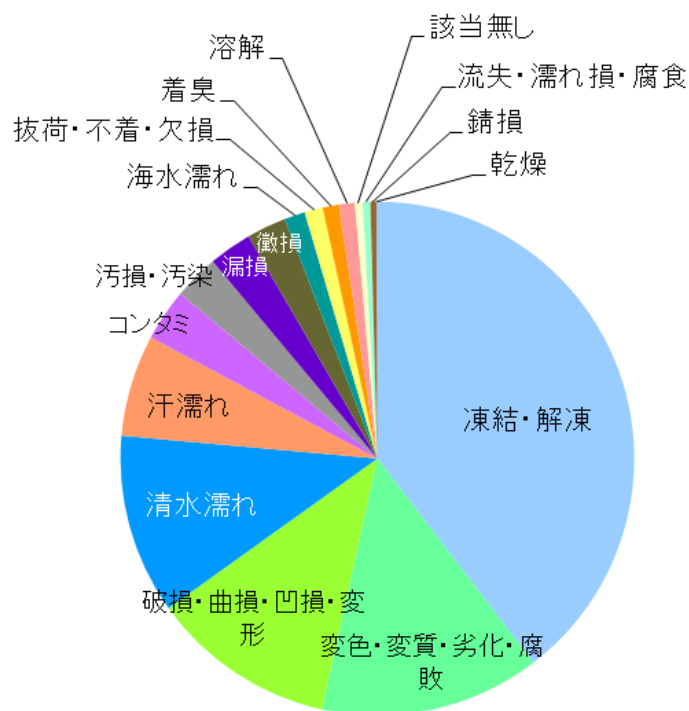


図 2：食品の損害形態

① 凍結・解凍

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	520	94.7%	257	93.8%	777	94.4%
積地保管中	10	1.8%	5	1.8%	15	1.8%
揚地保管中	3	0.5%	4	1.5%	7	0.9%
積替中	6	1.1%	0	0.0%	6	0.7%
バンニング作業中	3	0.5%	2	0.7%	5	0.6%
積込作業中	3	0.5%	2	0.7%	5	0.6%
据付中	1	0.2%	2	0.7%	3	0.4%
中継地保管中	1	0.2%	2	0.7%	3	0.4%
荷降中	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
デバンニング中	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	549	100.0%	274	100.0%	823	100.0%

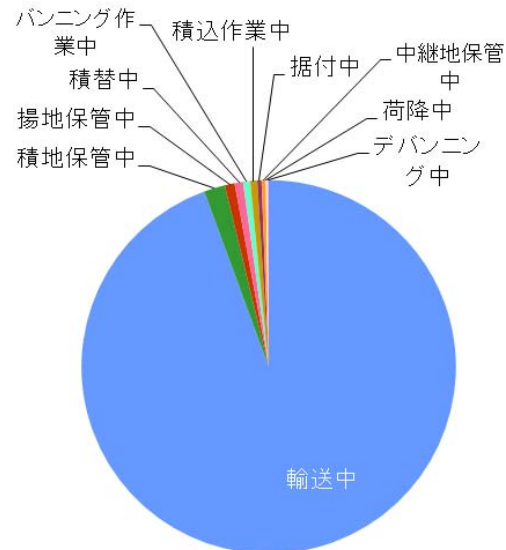


表 3：食品の事故発生場所(凍結・解凍)

図 3：食品の事故発生場所(凍結・解凍)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	473	86.2%	230	83.9%	703	85.4%
温度・湿度変化	43	7.8%	2	0.7%	45	5.5%
機器設定ミス	16	2.9%	19	6.9%	35	4.3%
ラフ・ミスハンドリング	7	1.3%	7	2.6%	14	1.7%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.2%	6	2.2%	7	0.9%
保管不良	4	0.7%	2	0.7%	6	0.7%
荒天	2	0.4%	2	0.7%	4	0.5%
品質不良	1	0.2%	2	0.7%	3	0.4%
積付・積載不良	0	0.0%	2	0.7%	2	0.2%
地震	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
税関検査	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%
該当無し	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%
梱包不良	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	549	100.0%	274	100.0%	823	100.0%

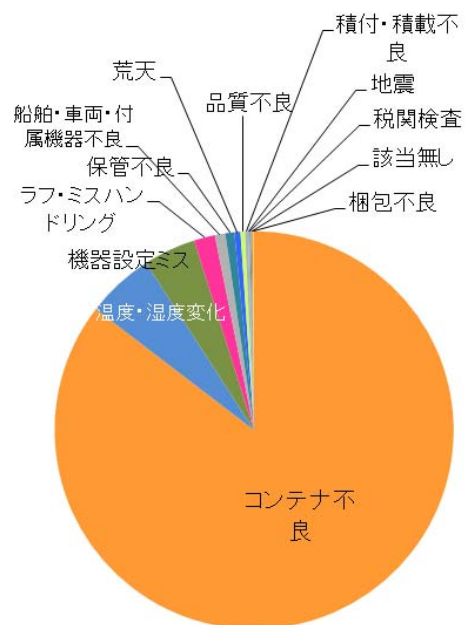


表 4：食品の事故原因(凍結・解凍)

図 4：食品の事故原因(凍結・解凍)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	397	72.3%	191	69.7%	588	71.4%
滅却・廃棄	90	16.4%	47	17.2%	137	16.6%
転売	54	9.8%	31	11.3%	85	10.3%
積戻し	4	0.7%	1	0.4%	5	0.6%
手直し	1	0.2%	4	1.5%	5	0.6%
該当無し	2	0.4%	0	0.0%	2	0.2%
No Claim	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	549	100.0%	274	100.0%	823	100.0%

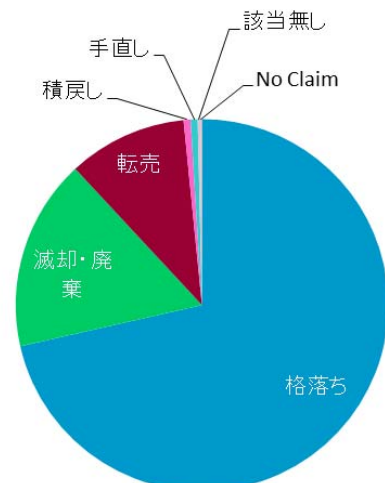


表 5: 食品の損害処理方法(凍結・解凍)

図 5: 食品の損害処理方法(凍結・解凍)

② 変色・変質・劣化・腐敗

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	159	88.8%	94	86.2%	253	87.8%
積地保管中	11	6.1%	13	11.9%	24	8.3%
積替中	3	1.7%	0	0.0%	3	1.0%
揚地保管中	3	1.7%	0	0.0%	3	1.0%
中継地保管中	3	1.7%	0	0.0%	3	1.0%
バンニング作業中	0	0.0%	2	1.8%	2	0.7%
総計	179	100.0%	109	100.0%	288	100.0%

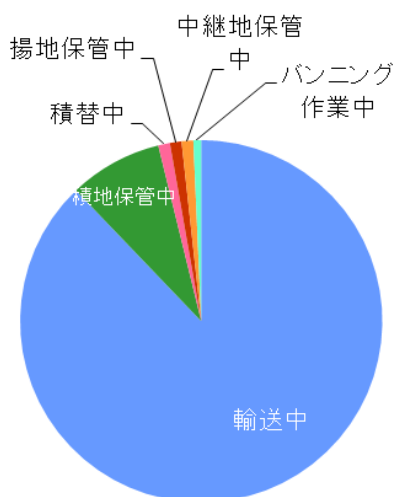


表 6: 食品の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

図 6: 食品の事故発生場所
(変色・変質・劣化・腐敗)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	119	66.5%	50	45.9%	169	58.7%
温度・湿度変化	32	17.9%	28	25.7%	60	20.8%
品質不良	11	6.1%	13	11.9%	24	8.3%
ラフ・ミスハンドリング	5	2.8%	4	3.7%	9	3.1%
機器設定ミス	3	1.7%	4	3.7%	7	2.4%
船舶・車両・付属機器不良	2	1.1%	2	1.8%	4	1.4%
冠水	0	0.0%	3	2.8%	3	1.0%
輸送中の動揺/振動	1	0.6%	2	1.8%	3	1.0%
保管不良	2	1.1%	0	0.0%	2	0.7%
積付・積載不良	1	0.6%	1	0.9%	2	0.7%
該当無し	0	0.0%	2	1.8%	2	0.7%
地震	2	1.1%	0	0.0%	2	0.7%
梱包不良	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
総計	179	100.0%	109	100.0%	288	100.0%

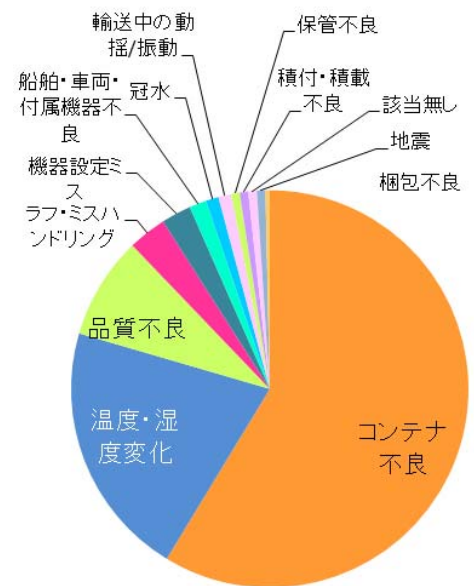


表 7：食品の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

図 7：食品の事故原因場所
(変色・変質・劣化・腐敗)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	98	54.7%	50	45.9%	148	51.4%
滅却・廃棄	60	33.5%	27	24.8%	87	30.2%
転売	15	8.4%	31	28.4%	46	16.0%
手直し	3	1.7%	1	0.9%	4	1.4%
積戻し	2	1.1%	0	0.0%	2	0.7%
該当無し	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
総計	179	100.0%	109	100.0%	288	100.0%

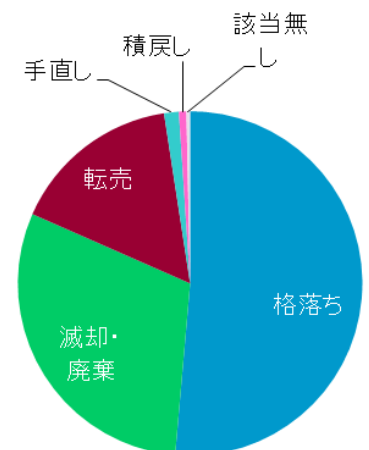


表 8：食品の損害処理方法(変色・変質・劣化・腐敗)

図 8：食品の損害処理方法
(変色・変質・劣化・腐敗)

③ 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	139	78.1%	45	70.3%	184	76.0%
積地保管中	8	4.5%	8	12.5%	16	6.6%
バンニング作業中	11	6.2%	4	6.3%	15	6.2%
揚地保管中	9	5.1%	1	1.6%	10	4.1%
中継地保管中	5	2.8%	1	1.6%	6	2.5%
積込作業中	2	1.1%	3	4.7%	5	2.1%
デバンニング中	2	1.1%	1	1.6%	3	1.2%
荷降中	1	0.6%	1	1.6%	2	0.8%
積替中	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	178	100.0%	64	100.0%	242	100.0%

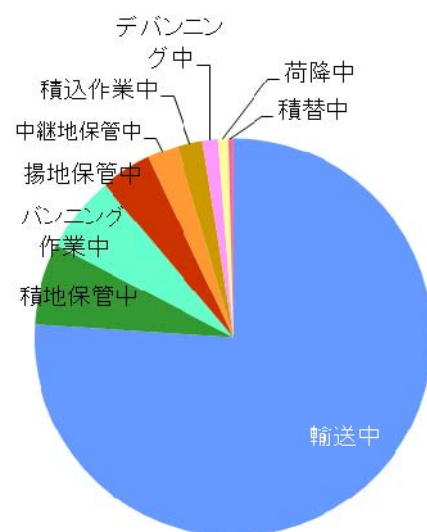


表 9：食品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 9：食品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	75	42.1%	23	35.9%	98	40.5%
ラフ・ミスハンドリング	51	28.7%	17	26.6%	68	28.1%
積付・積載不良	17	9.6%	9	14.1%	26	10.7%
地震	16	9.0%	0	0.0%	16	6.6%
品質不良	4	2.2%	8	12.5%	12	5.0%
梱包不良	8	4.5%	1	1.6%	9	3.7%
コンテナ不良	2	1.1%	2	3.1%	4	1.7%
温度・湿度変化	2	1.1%	2	3.1%	4	1.7%
固縛不良	2	1.1%	1	1.6%	3	1.2%
衝突	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
機器設定ミス	0	0.0%	1	1.6%	1	0.4%
総計	178	100.0%	64	100.0%	242	100.0%

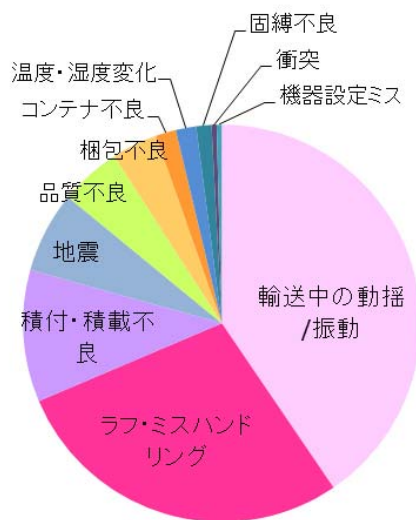


表 10：食品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

図 10：食品の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	99	55.6%	39	60.9%	138	57.0%
格落ち	41	23.0%	8	12.5%	49	20.2%
手直し	17	9.6%	6	9.4%	23	9.5%
転売	11	6.2%	8	12.5%	19	7.9%
該当無し	8	4.5%	3	4.7%	11	4.5%
修理・交換	2	1.1%	0	0.0%	2	0.8%
総計	178	100.0%	64	100.0%	242	100.0%

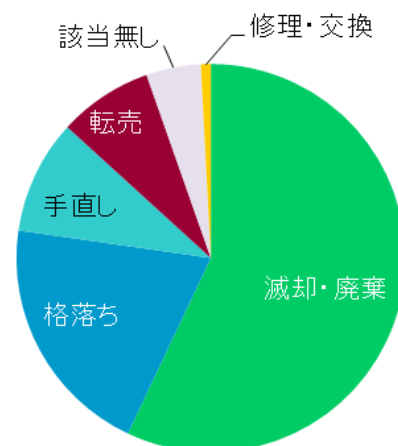


表 11：食品の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

図 11：食品の損害処理方法
(破損・曲損・凹損・変形)

④ 清水濡れ

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	164	93.7%	54	90.0%	218	92.8%
揚地保管中	1	0.6%	3	5.0%	4	1.7%
バンニング作業中	3	1.7%	0	0.0%	3	1.3%
積地保管中	1	0.6%	2	3.3%	3	1.3%
中継地保管中	2	1.1%	0	0.0%	2	0.9%
荷降中	1	0.6%	1	1.7%	2	0.9%
積替中	2	1.1%	0	0.0%	2	0.9%
デバンニング中	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	175	100.0%	60	100.0%	235	100.0%

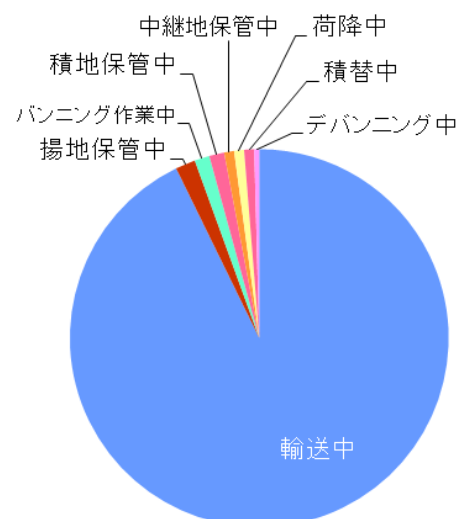


表 12：食品の事故発生場所(清水濡れ)

図 12：食品の事故発生場所(清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	128	73.1%	52	86.7%	180	76.6%
冠水	14	8.0%	4	6.7%	18	7.7%
荒天	12	6.9%	1	1.7%	13	5.5%
ラフ・ミスハンドリング	8	4.6%	2	3.3%	10	4.3%
保管不良	4	2.3%	1	1.7%	5	2.1%
温度・湿度変化	3	1.7%	0	0.0%	3	1.3%
積付・積載不良	2	1.1%	0	0.0%	2	0.9%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
衝突	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
該当無し	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
梱包不良	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	175	100.0%	60	100.0%	235	100.0%

表 13：食品の事故原因(清水濡れ)

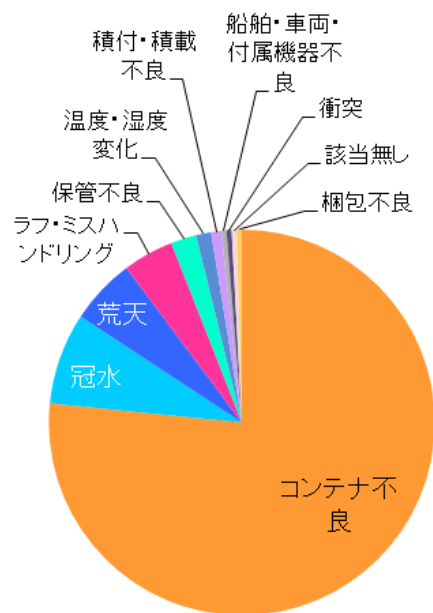


図 13：食品の事故原因(清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	105	60.0%	36	60.0%	141	60.0%
格落ち	30	17.1%	9	15.0%	39	16.6%
転売	28	16.0%	9	15.0%	37	15.7%
手直し	9	5.1%	5	8.3%	14	6.0%
該当無し	3	1.7%	0	0.0%	3	1.3%
積戻し	0	0.0%	1	1.7%	1	0.4%
総計	175	100.0%	60	100.0%	235	100.0%

表 14：食品の損害処理方法(清水濡れ)

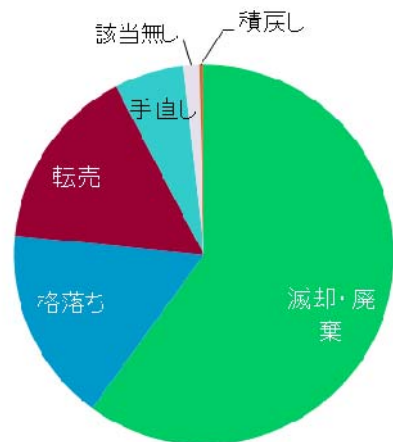


図 14：食品の損害処理方法(清水濡れ)

(2) 野菜・青果物

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
変色・変質・劣化・腐敗	112	67.9%	69	76.7%	181	71.0%
凍結・解凍	27	16.4%	19	21.1%	46	18.0%
清水濡れ	12	7.3%	0	0.0%	12	4.7%
破損・曲損・凹損・変形	4	2.4%	1	1.1%	5	2.0%
黴損	3	1.8%	0	0.0%	3	1.2%
海水濡れ	2	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
汗濡れ	2	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
汚損・汚染	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
該当無し	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
コンタミ	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
焼損	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	165	100.0%	90	100.0%	255	100.0%

表 15：野菜・青果物の損害形態

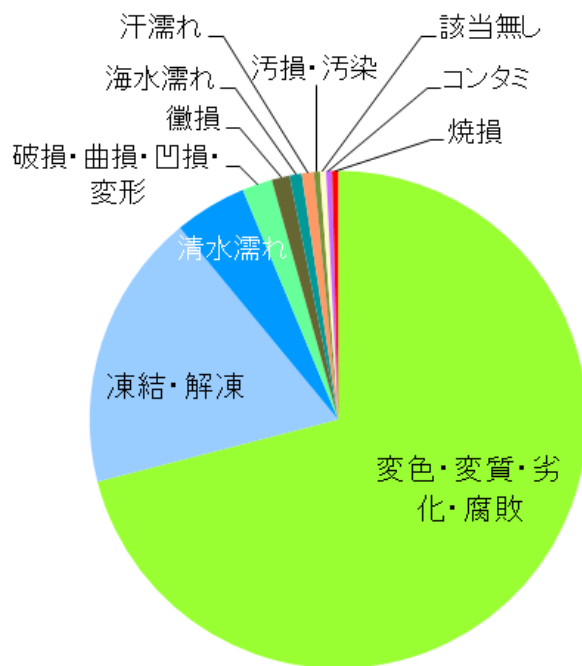


図 15：野菜・青果物の損害形態

① 変色・変質・劣化・腐敗

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	106	94.6%	69	100.0%	175	96.7%
積地保管中	5	4.5%	0	0.0%	5	2.8%
中継地保管中	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
総計	112	100.0%	69	100.0%	181	100.0%

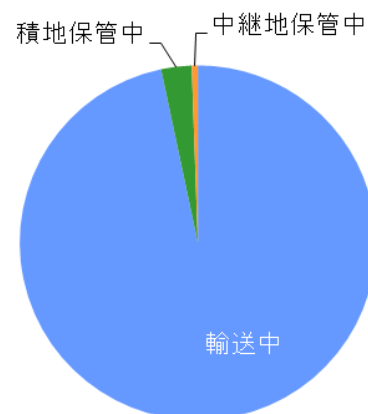


表 16：野菜・青果物の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

図 16：野菜・青果物の事故発生場所
(変色・変質・劣化・腐敗)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
品質不良	79	70.5%	58	84.1%	137	75.7%
コンテナ不良	10	8.9%	4	5.8%	14	7.7%
温度・湿度変化	9	8.0%	4	5.8%	13	7.2%
機器設定ミス	4	3.6%	3	4.3%	7	3.9%
ラフ・ミスハンドリング	3	2.7%	0	0.0%	3	1.7%
保管不良	2	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
衝突	2	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
積付・積載不良	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
荒天	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
総計	112	100.0%	69	100.0%	181	100.0%

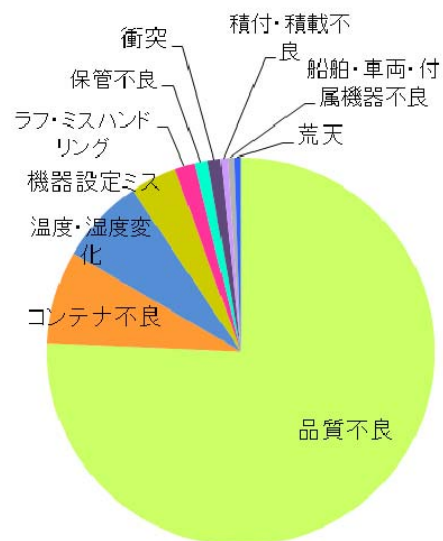


表 17：野菜・青果物の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

図 17：野菜・青果物の事故原因
(変色・変質・劣化・腐敗)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	69	61.6%	50	72.5%	119	65.7%
滅却・廃棄	38	33.9%	18	26.1%	56	30.9%
転売	2	1.8%	1	1.4%	3	1.7%
積戻し	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
該当無し	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
手直し	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
総計	112	100.0%	69	100.0%	181	100.0%

表 18：野菜・青果物の損害処理方法(変色・変質・劣化・腐敗)

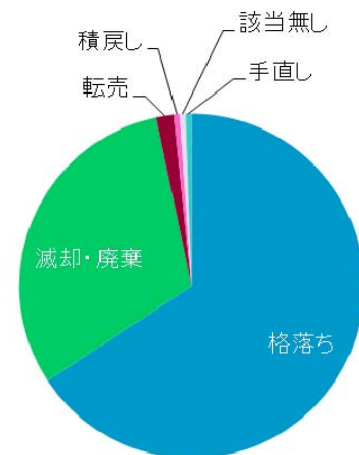


図 18：野菜・青果物の損害処理方法
(変色・変質・劣化・腐敗)

② 凍結・解凍

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	25	92.6%	18	94.7%	43	93.5%
中継地保管中	0	0.0%	1	5.3%	1	2.2%
デバンニング中	1	3.7%	0	0.0%	1	2.2%
バンニング作業中	1	3.7%	0	0.0%	1	2.2%
総計	27	100.0%	19	100.0%	46	100.0%

表 19：野菜・青果物の事故発生場所(凍結・解凍)

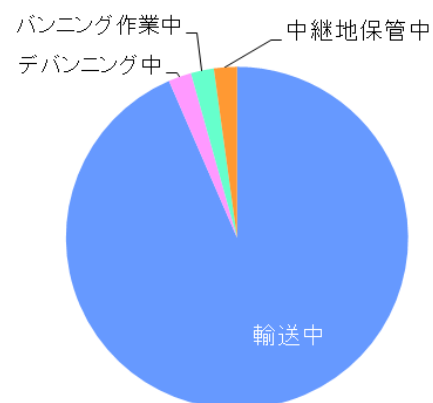


図 19：野菜・青果物の事故発生場所
(凍結・解凍)

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	19	70.4%	16	84.2%	35	76.1%
温度・湿度変化	4	14.8%	0	0.0%	4	8.7%
機器設定ミス	1	3.7%	1	5.3%	2	4.3%
税関検査	0	0.0%	1	5.3%	1	2.2%
積付・積載不良	1	3.7%	0	0.0%	1	2.2%
ラフ・ミスハンドリング	1	3.7%	0	0.0%	1	2.2%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	5.3%	1	2.2%
火災	1	3.7%	0	0.0%	1	2.2%
総計	27	100.0%	19	100.0%	46	100.0%

表 20：野菜・青果物の事故原因(凍結・解凍)

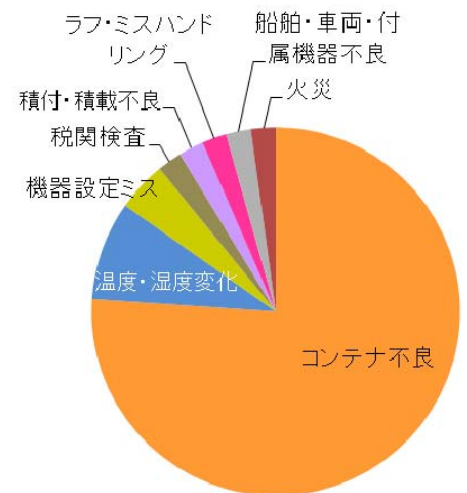


図 20：野菜・青果物の事故原因
(凍結・解凍)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	17	63.0%	13	68.4%	30	65.2%
格落ち	7	25.9%	4	21.1%	11	23.9%
転売	3	11.1%	2	10.5%	5	10.9%
総計	27	100.0%	19	100.0%	46	100.0%

表 21：野菜・青果物の損害処理方法(凍結・解凍)

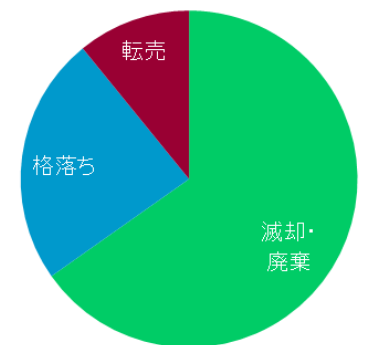


図 21：野菜・青果物の損害処理方法
(凍結・解凍)

(3) 穀物・肥料・飼料

損害形態

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害形態	件数	割合	件数	割合	件数	割合
汗濡れ	243	32.5%	71	19.3%	314	28.2%
清水濡れ	222	29.7%	76	20.7%	298	26.7%
変色・変質・劣化・腐敗	14	1.9%	114	31.1%	128	11.5%
海水濡れ	99	13.2%	20	5.4%	119	10.7%
コンタミ	56	7.5%	51	13.9%	107	9.6%
焼損	29	3.9%	7	1.9%	36	3.2%
汚損・汚染	20	2.7%	8	2.2%	28	2.5%
黴損	14	1.9%	7	1.9%	21	1.9%
流失・濡れ損・腐食	17	2.3%	0	0.0%	17	1.5%
漏損	12	1.6%	3	0.8%	15	1.3%
着臭	11	1.5%	2	0.5%	13	1.2%
破損・曲損・凹損・変形	6	0.8%	4	1.1%	10	0.9%
抜荷・不着・欠損	4	0.5%	3	0.8%	7	0.6%
該当無し	1	0.1%	1	0.3%	2	0.2%
総計	748	100.0%	367	100.0%	1115	100.0%

表 22：穀物・肥料・飼料の損害形態

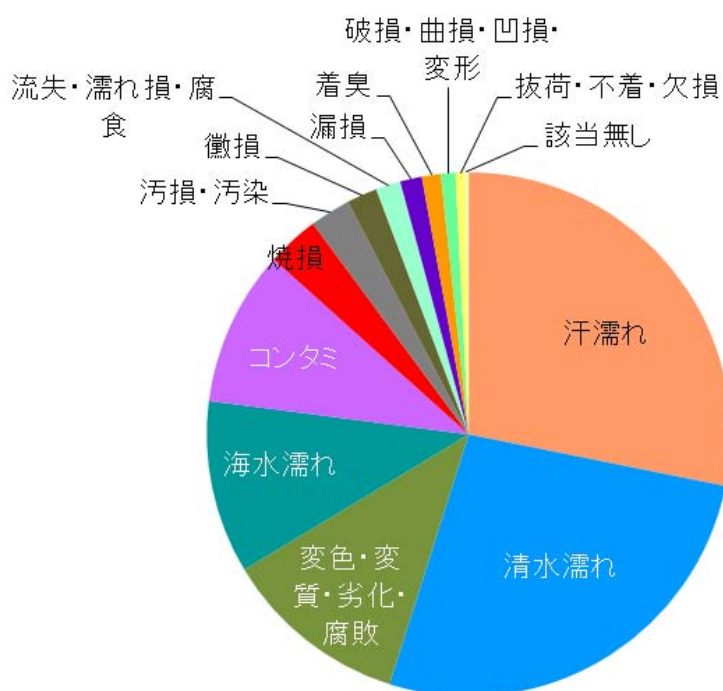


図 22：穀物・肥料・飼料の損害形態

① 汗濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	241	99.2%	68	95.8%	309	98.4%
積地保管中	2	0.8%	1	1.4%	3	1.0%
揚地保管中	0	0.0%	1	1.4%	1	0.3%
中継地保管中	0	0.0%	1	1.4%	1	0.3%
総計	243	100.0%	71	100.0%	314	100.0%

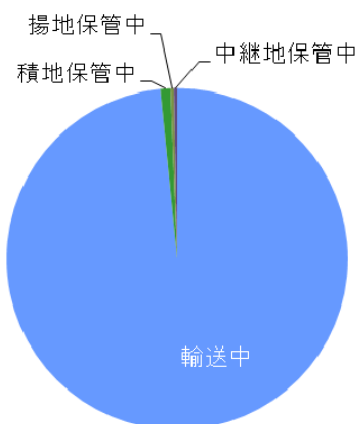


表 23：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(汗濡れ)

図 23：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(汗濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
温度・湿度変化	236	97.1%	68	95.8%	304	96.8%
コンテナ不良	4	1.6%	0	0.0%	4	1.3%
品質不良	1	0.4%	1	1.4%	2	0.6%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.4%	1	1.4%	2	0.6%
保管不良	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
梱包不良	0	0.0%	1	1.4%	1	0.3%
総計	243	100.0%	71	100.0%	314	100.0%

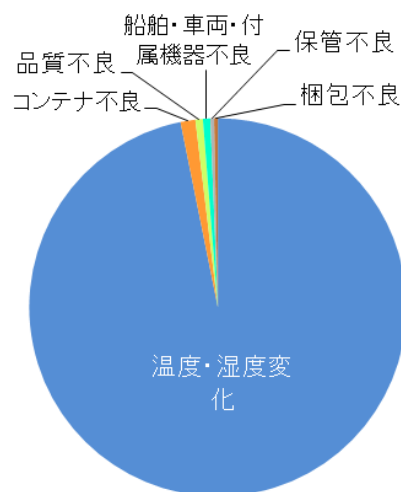


表 24：穀物・肥料・飼料の事故原因(汗濡れ)

図 24：穀物・肥料・飼料の事故原因(汗濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	91	37.4%	39	54.9%	130	41.4%
転売	105	43.2%	20	28.2%	125	39.8%
滅却・廃棄	43	17.7%	10	14.1%	53	16.9%
手直し	3	1.2%	1	1.4%	4	1.3%
積戻し	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
該当無し	0	0.0%	1	1.4%	1	0.3%
総計	243	100.0%	71	100.0%	314	100.0%

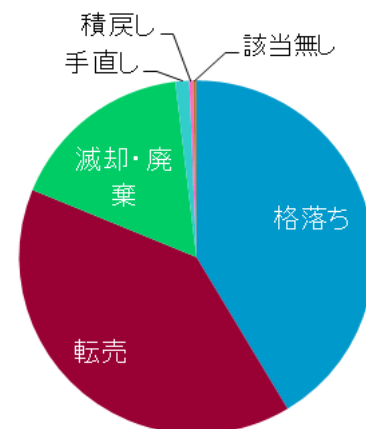


表 25 : 穀物・肥料・飼料の損害処理方法(汗濡れ)

図 25 : 穀物・肥料・飼料の損害処理方法(汗濡れ)

②清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	203	91.4%	69	90.8%	272	91.3%
積込作業中	4	1.8%	3	3.9%	7	2.3%
積地保管中	6	2.7%	0	0.0%	6	2.0%
荷降中	2	0.9%	2	2.6%	4	1.3%
バンニング作業中	3	1.4%	0	0.0%	3	1.0%
揚地保管中	1	0.5%	1	1.3%	2	0.7%
中継地保管中	1	0.5%	1	1.3%	2	0.7%
積替中	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
総計	222	100.0%	76	100.0%	298	100.0%

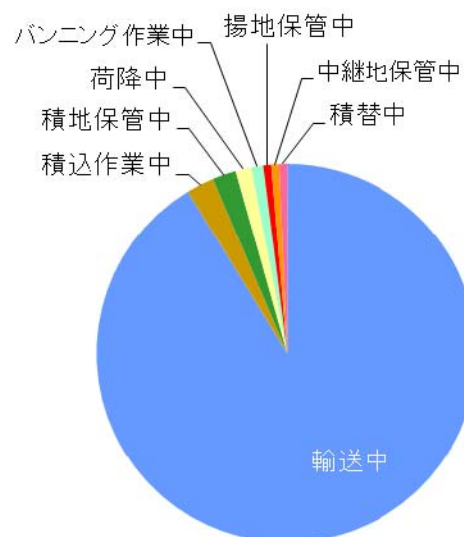


表 26 : 穀物・肥料・飼料の事故発生場所(清水濡れ)

図 26 : 穀物・肥料・飼料の事故発生場所(清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	173	77.9%	60	78.9%	233	78.2%
冠水	18	8.1%	4	5.3%	22	7.4%
船舶・車両・付属機器不良	8	3.6%	5	6.6%	13	4.4%
ラフ・ミスハンドリング	9	4.1%	4	5.3%	13	4.4%
荒天	4	1.8%	1	1.3%	5	1.7%
保管不良	4	1.8%	0	0.0%	4	1.3%
温度・湿度変化	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
梱包不良	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
該当無し	1	0.5%	1	1.3%	2	0.7%
輸送中の動揺/振動	0	0.0%	1	1.3%	1	0.3%
積付・積載不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
総計	222	100.0%	76	100.0%	298	100.0%

表 27：穀物・肥料・飼料の事故原因(清水濡れ)

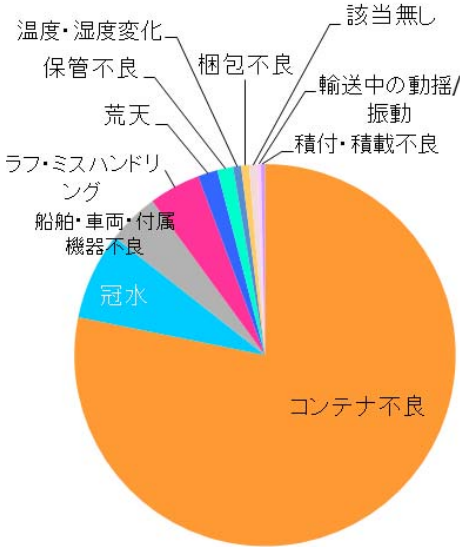


図 27：穀物・肥料・飼料の事故原因(清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
転売	143	64.4%	33	43.4%	176	59.1%
滅却・廃棄	59	26.6%	30	39.5%	89	29.9%
格落ち	13	5.9%	13	17.1%	26	8.7%
手直し	4	1.8%	0	0.0%	4	1.3%
積戻し	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
No Claim	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
該当無し	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
総計	222	100.0%	76	100.0%	298	100.0%

表 28：穀物・肥料・飼料の損害処理方法(清水濡れ)

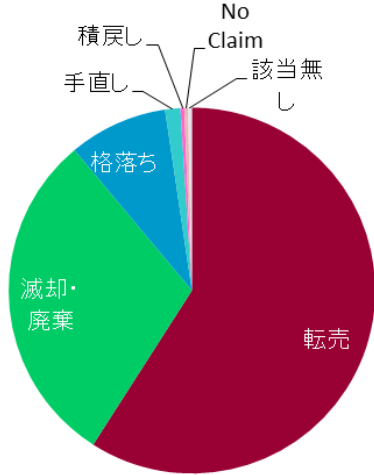


図 28：穀物・肥料・飼料の損害処理方法(清水濡れ)

③ 変色・変質・劣化・腐敗

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	12	85.7%	103	90.4%	115	89.8%
積地保管中	2	14.3%	3	2.6%	5	3.9%
揚地保管中	0	0.0%	4	3.5%	4	3.1%
荷降中	0	0.0%	2	1.8%	2	1.6%
積込作業中	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
中継地保管中	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
総計	14	100.0%	114	100.0%	128	100.0%

表 29：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

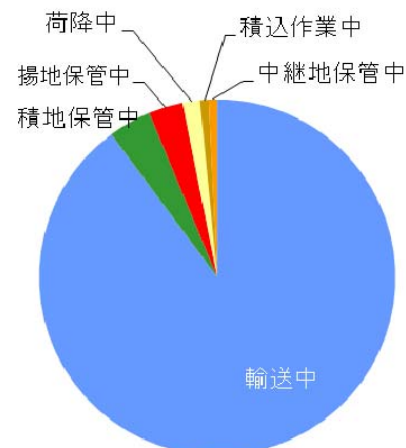


図 29：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
温度・湿度変化	5	35.7%	60	52.6%	65	50.8%
コンテナ不良	5	35.7%	39	34.2%	44	34.4%
冠水	0	0.0%	6	5.3%	6	4.7%
品質不良	2	14.3%	2	1.8%	4	3.1%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	2	1.8%	2	1.6%
積付・積載不良	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
清掃不良	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
該当無し	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
保管不良	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
荒天	1	7.1%	0	0.0%	1	0.8%
機器設定ミス	1	7.1%	0	0.0%	1	0.8%
総計	14	100.0%	114	100.0%	128	100.0%

表 30：穀物・肥料・飼料の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

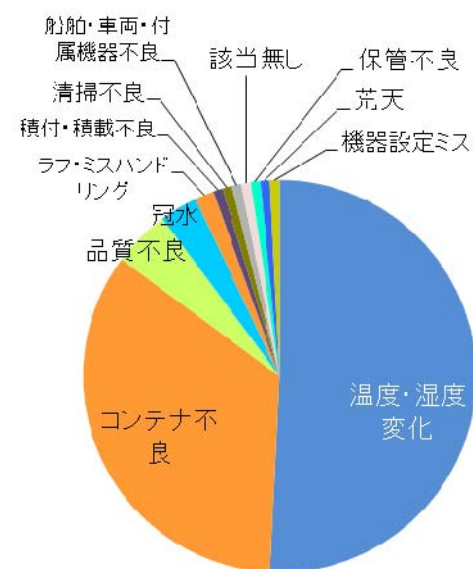


図 30：穀物・肥料・飼料の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	6	42.9%	40	35.1%	46	35.9%
転売	2	14.3%	38	33.3%	40	31.3%
減却・廃棄	5	35.7%	33	28.9%	38	29.7%
手直し	0	0.0%	2	1.8%	2	1.6%
積戻し	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%
該当無し	1	7.1%	0	0.0%	1	0.8%
総計	14	100.0%	114	100.0%	128	100.0%

表 31：穀物・肥料・飼料の損害処理方法(海水濡れ)

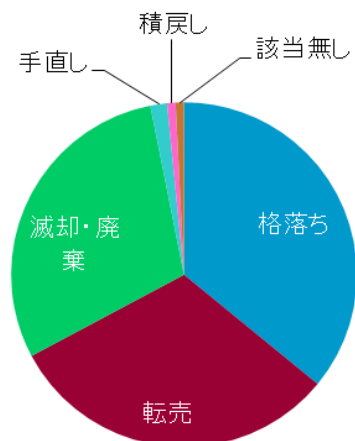


図 31：穀物・肥料・飼料の事故原因
(海水濡れ)

(4) 紙・パルプ・古紙

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
汚損・汚染	589	61.6%	275	58.9%	864	60.7%
破損・曲損・凹損・変形	262	27.4%	138	29.6%	400	28.1%
清水濡れ	55	5.8%	27	5.8%	82	5.8%
海水濡れ	22	2.3%	18	3.9%	40	2.8%
汗濡れ	11	1.2%	1	0.2%	12	0.8%
着臭	7	0.7%	5	1.1%	12	0.8%
流失・濡れ損・腐食	7	0.7%	0	0.0%	7	0.5%
コンタミ	1	0.1%	2	0.4%	3	0.2%
黴損	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
抜荷・不着・欠損	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
総計	956	100.0%	467	100.0%	1423	100.0%

表 32：紙・パルプ・古紙の損害形態

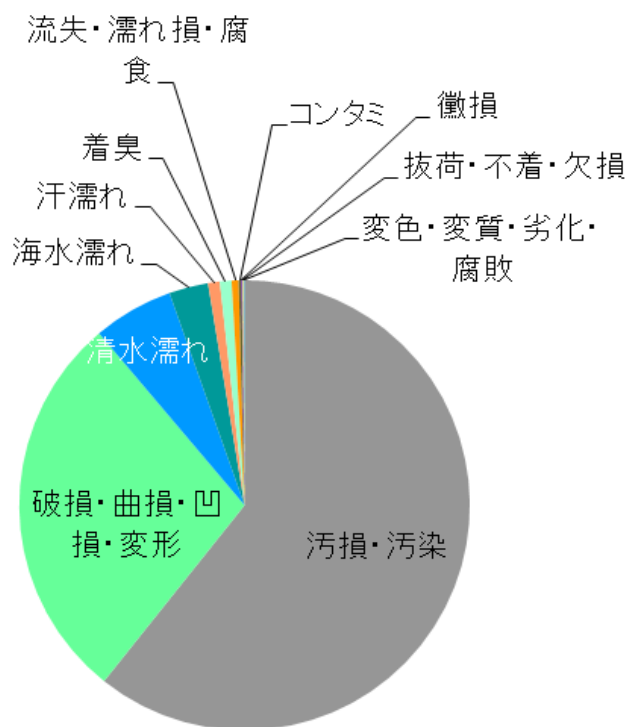


図 32：紙・パルプ・古紙の損害形態

① 汚損・汚染

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	571	96.9%	258	93.8%	829	95.9%
デバンニング中	7	1.2%	7	2.5%	14	1.6%
バンニング作業中	5	0.8%	6	2.2%	11	1.3%
荷降中	2	0.3%	1	0.4%	3	0.3%
積込作業中	2	0.3%	1	0.4%	3	0.3%
積地保管中	1	0.2%	1	0.4%	2	0.2%
揚地保管中	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
中継地保管中	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%
総計	589	100.0%	275	100.0%	864	100.0%

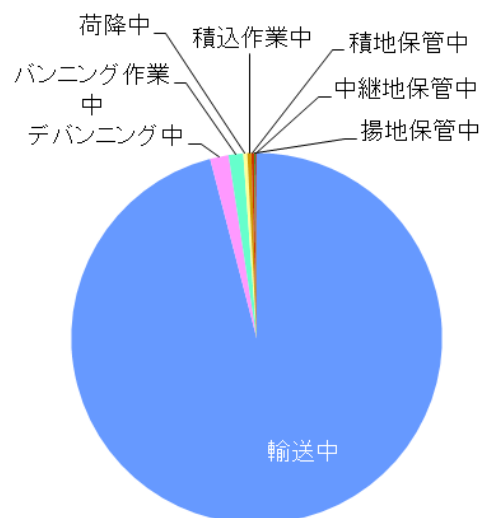


表 33：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(汚損・汚染)

図 33：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(汚損)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	415	70.5%	254	92.4%	669	77.4%
ラフ・ミスハンドリング	129	21.9%	0	0.0%	129	14.9%
積付・積載不良	6	1.0%	10	3.6%	16	1.9%
温度・湿度変化	15	2.5%	0	0.0%	15	1.7%
船舶・車両・付属機器不良	14	2.4%	0	0.0%	14	1.6%
清掃不良	4	0.7%	0	0.0%	4	0.5%
コンテナ不良	2	0.3%	2	0.7%	4	0.5%
梱包不良	2	0.3%	2	0.7%	4	0.5%
保管不良	0	0.0%	3	1.1%	3	0.3%
該当無し	0	0.0%	3	1.1%	3	0.3%
品質不良	1	0.2%	1	0.4%	2	0.2%
荒天	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	589	100.0%	275	100.0%	864	100.0%

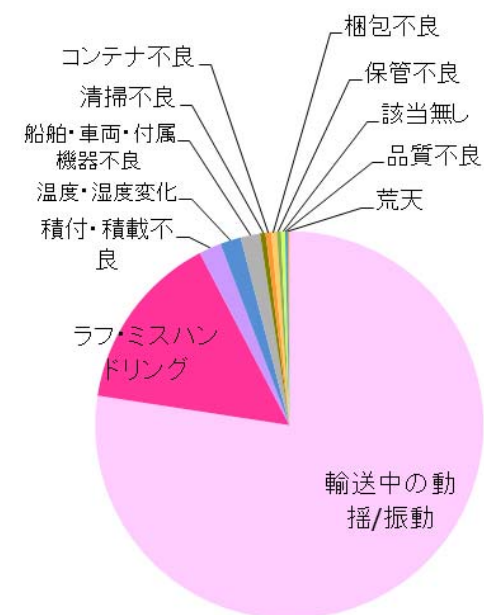


表 34：紙・パルプ・古紙の事故原因(汚損・汚染)

図 34：紙・パルプ・古紙の事故原因(汚損)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	470	79.8%	83	30.2%	553	64.0%
手直し	111	18.8%	172	62.5%	283	32.8%
滅却・廃棄	1	0.2%	16	5.8%	17	2.0%
転売	7	1.2%	4	1.5%	11	1.3%
総計	589	100.0%	275	100.0%	864	100.0%

表 35：紙・パルプ・古紙の損害処理方法(汚損・汚染)

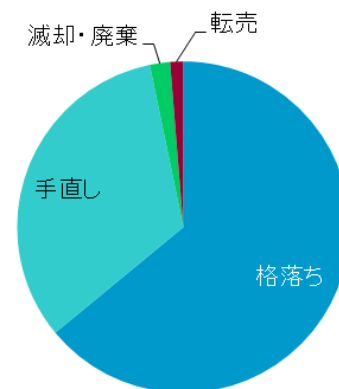


図 35：紙・パルプ・古紙の損害処理方法(汚損)

②破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	239	91.2%	106	76.8%	345	86.3%
バンニング作業中	14	5.3%	20	14.5%	34	8.5%
デバンニング中	0	0.0%	9	6.5%	9	2.3%
積地保管中	4	1.5%	0	0.0%	4	1.0%
揚地保管中	1	0.4%	2	1.4%	3	0.8%
積込作業中	3	1.1%	0	0.0%	3	0.8%
積替中	1	0.4%	1	0.7%	2	0.5%
総計	262	100.0%	138	100.0%	400	100.0%

表 36：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

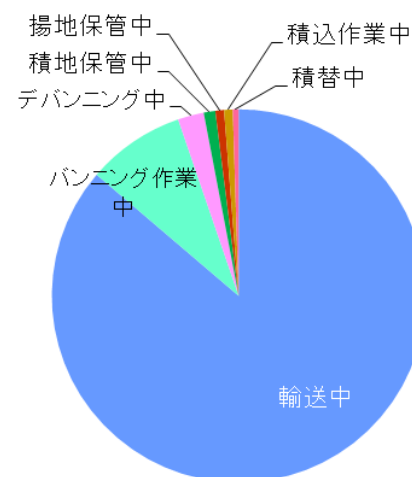


図 36：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	142	54.2%	102	73.9%	244	61.0%
ラフ・ミスハンドリング	109	41.6%	21	15.2%	130	32.5%
積付・積載不良	1	0.4%	9	6.5%	10	2.5%
品質不良	5	1.9%	1	0.7%	6	1.5%
荒天	3	1.1%	0	0.0%	3	0.8%
梱包不良	0	0.0%	3	2.2%	3	0.8%
衝突	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
コンテナ不良	0	0.0%	1	0.7%	1	0.3%
該当無し	0	0.0%	1	0.7%	1	0.3%
地震	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
総計	262	100.0%	138	100.0%	400	100.0%

表 37：紙・パルプ・古紙の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

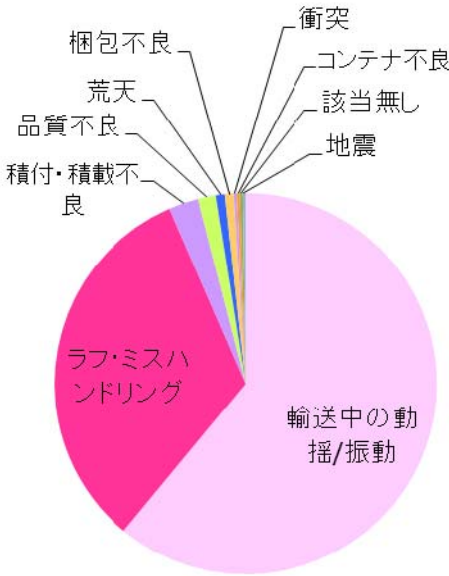


図 37：紙・パルプ・古紙の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	157	59.9%	44	31.9%	201	50.3%
手直し	64	24.4%	44	31.9%	108	27.0%
転売	19	7.3%	30	21.7%	49	12.3%
滅却・廃棄	19	7.3%	19	13.8%	38	9.5%
修理・交換	2	0.8%	1	0.7%	3	0.8%
No Claim	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
総計	262	100.0%	138	100.0%	400	100.0%

表 38：紙・パルプ・古紙の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

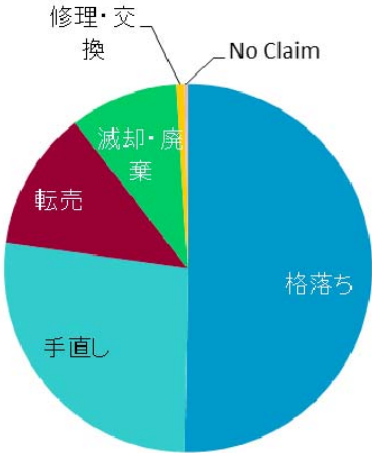


図 38：紙・パルプ・古紙の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

(5) 衣類・繊維類

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
清水濡れ	77	49.0%	43	47.8%	120	48.6%
海水濡れ	20	12.7%	6	6.7%	26	10.5%
破損・曲損・凹損・変形	19	12.1%	7	7.8%	26	10.5%
汗濡れ	13	8.3%	11	12.2%	24	9.7%
抜荷・不着・欠損	10	6.4%	12	13.3%	22	8.9%
汚損・汚染	9	5.7%	3	3.3%	12	4.9%
黴損	5	3.2%	5	5.6%	10	4.0%
コンタミ	2	1.3%	1	1.1%	3	1.2%
錆損	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
漏損	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
着臭	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	157	100.0%	90	100.0%	247	100.0%

表 39：衣類・繊維類の損害形態

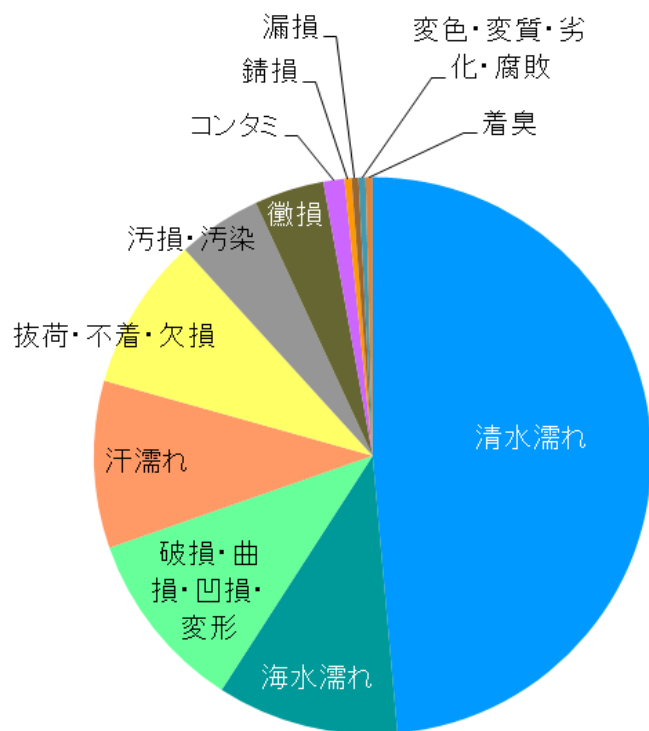


図 39：衣類・繊維類の損害形態

① 清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	57	74.0%	36	83.7%	93	77.5%
積地保管中	8	10.4%	5	11.6%	13	10.8%
バンニング作業中	6	7.8%	0	0.0%	6	5.0%
積替中	3	3.9%	0	0.0%	3	2.5%
中継地保管中	1	1.3%	2	4.7%	3	2.5%
揚地保管中	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
積込作業中	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
総計	77	100.0%	43	100.0%	120	100.0%

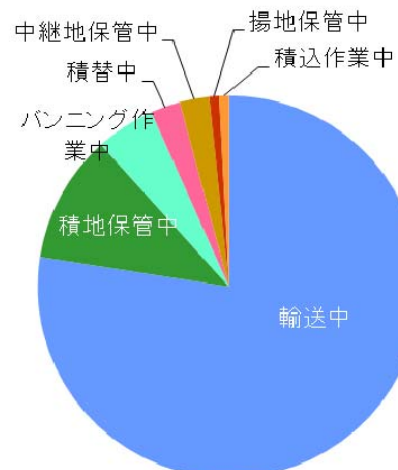


表 40: 衣類・繊維類の事故発生場所(清水濡れ)

図 40: 衣類・繊維類の事故発生場所
(清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	41	53.2%	31	72.1%	72	60.0%
ラフ・ミスハンドリング	11	14.3%	5	11.6%	16	13.3%
冠水	12	15.6%	2	4.7%	14	11.7%
保管不良	4	5.2%	3	7.0%	7	5.8%
荒天	4	5.2%	0	0.0%	4	3.3%
船舶・車両・付属機器不良	1	1.3%	1	2.3%	2	1.7%
品質不良	0	0.0%	1	2.3%	1	0.8%
積付・積載不良	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
輸送中の動揺/振動	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
梱包不良	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
清掃不良	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
総計	77	100.0%	43	100.0%	120	100.0%

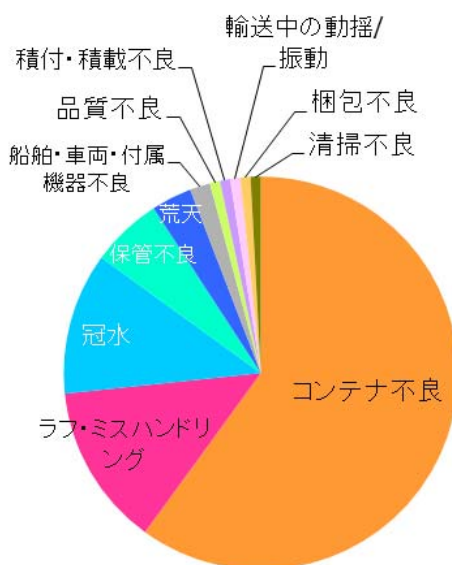


表 41: 衣類・繊維類の事故原因(清水濡れ)

図 41: 衣類・繊維類の事故原因
(清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	48	62.3%	28	65.1%	76	63.3%
手直し	12	15.6%	8	18.6%	20	16.7%
転売	7	9.1%	6	14.0%	13	10.8%
格落ち	8	10.4%	1	2.3%	9	7.5%
積戻し	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
修理・交換	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
総計	77	100.0%	43	100.0%	120	100.0%

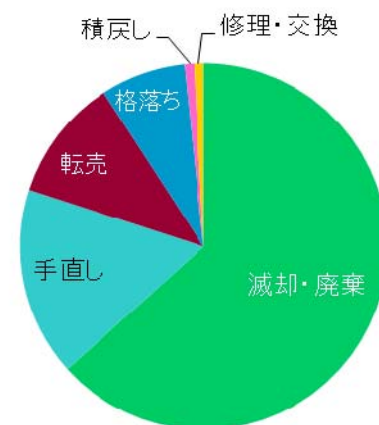


表 42：衣類・繊維類の損害処理方法(清水濡れ)

図 42：衣類・繊維類の損害処理方法(清水濡れ)

② 海水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	19	95.0%	6	100.0%	25	96.2%
デバンニング中	1	5.0%	0	0.0%	1	3.8%
総計	20	100.0%	6	100.0%	26	100.0%

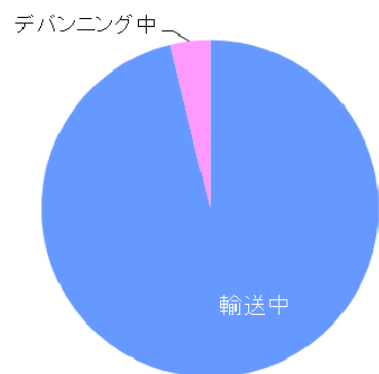


表 43：衣類・繊維類の事故発生場所(海水濡れ)

図 43：衣類・繊維類の事故発生場所(海水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	12	60.0%	1	16.7%	13	50.0%
冠水	7	35.0%	4	66.7%	11	42.3%
荒天	1	5.0%	0	0.0%	1	3.8%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	16.7%	1	3.8%
総計	20	100.0%	6	100.0%	26	100.0%

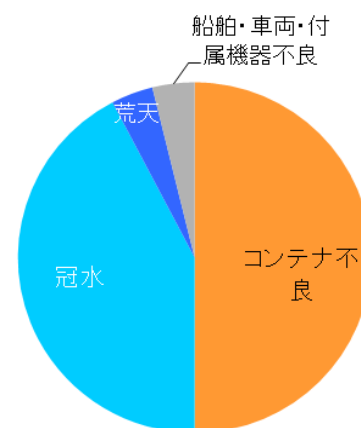


表 44：衣類・繊維類の事故原因(海水濡れ)

図 44：衣類・繊維類の事故原因(海水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	17	85.0%	5	83.3%	22	84.6%
手直し	3	15.0%	0	0.0%	3	11.5%
格落ち	0	0.0%	1	16.7%	1	3.8%
総計	20	100.0%	6	100.0%	26	100.0%

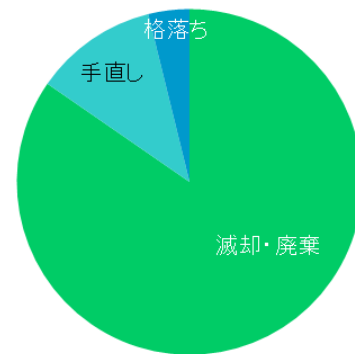


表 45：衣類・繊維類の損害処理方法(海水濡れ)

図 45：衣類・繊維類の損害処理方法
(海水濡れ)

③ 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	10	52.6%	6	85.7%	16	61.5%
デバンニング中	4	21.1%	0	0.0%	4	15.4%
バンニング作業中	3	15.8%	0	0.0%	3	11.5%
積地保管中	1	5.3%	1	14.3%	2	7.7%
荷降中	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

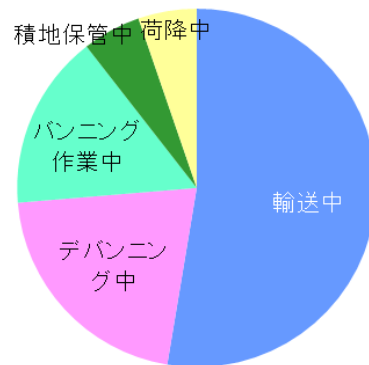


表 46：衣類・繊維類の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 46：衣類・繊維類の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	6	31.6%	3	42.9%	9	34.6%
輸送中の動揺/振動	6	31.6%	2	28.6%	8	30.8%
品質不良	5	26.3%	0	0.0%	5	19.2%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	14.3%	1	3.8%
冠水	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
梱包不良	0	0.0%	1	14.3%	1	3.8%
衝突	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

表 47：衣類・繊維類の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

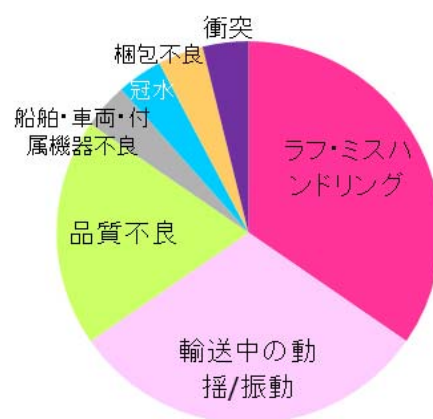


図 47：衣類・繊維類の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	7	36.8%	5	71.4%	12	46.2%
手直し	4	21.1%	0	0.0%	4	15.4%
転売	2	10.5%	1	14.3%	3	11.5%
格落ち	3	15.8%	0	0.0%	3	11.5%
該当無し	2	10.5%	0	0.0%	2	7.7%
No Claim	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
修理・交換	0	0.0%	1	14.3%	1	3.8%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

表 48：衣類・繊維類の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

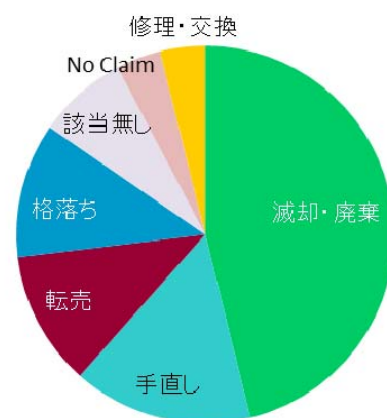


図 48：衣類・繊維類の損害処理方法
(破損・曲損・凹損・変形)

④ 汗濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	13	100.0%	11	100.0%	24	100.0%
総計	13	100.0%	11	100.0%	24	100.0%

表 49：衣類・繊維類の事故発生場所(汗濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
温度・湿度変化	13	100.0%	11	100.0%	24	100.0%
総計	13	100.0%	11	100.0%	24	100.0%

表 50：衣類・繊維類の事故原因(汗濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	7	53.8%	3	27.3%	10	41.7%
転売	2	15.4%	5	45.5%	7	29.2%
手直し	4	30.8%	0	0.0%	4	16.7%
格落ち	0	0.0%	2	18.2%	2	8.3%
積戻し	0	0.0%	1	9.1%	1	4.2%
総計	13	100.0%	11	100.0%	24	100.0%

表 51：衣類・繊維類の損害処理方法(汗濡れ)

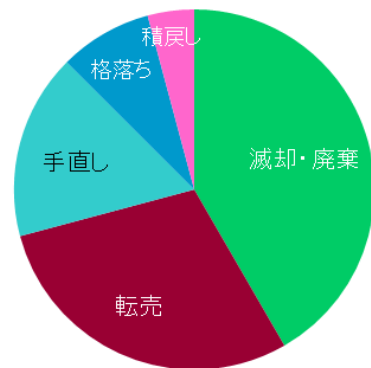


図 49：衣類・繊維類の損害処理方法(汗濡れ)

(6) 日用品・医薬品・雑貨

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	186	37.2%	88	38.1%	274	37.5%
清水濡れ	182	36.4%	75	32.5%	257	35.2%
抜荷・不着・欠損	24	4.8%	26	11.3%	50	6.8%
汗濡れ	26	5.2%	12	5.2%	38	5.2%
海水濡れ	27	5.4%	7	3.0%	34	4.7%
徴損	11	2.2%	8	3.5%	19	2.6%
流失・濡れ損・腐食	16	3.2%	0	0.0%	16	2.2%
コンタミ	6	1.2%	2	0.9%	8	1.1%
汚損・汚染	4	0.8%	3	1.3%	7	1.0%
着臭	2	0.4%	5	2.2%	7	1.0%
変色・変質・劣化・腐敗	4	0.8%	2	0.9%	6	0.8%
溶解	4	0.8%	1	0.4%	5	0.7%
漏損	2	0.4%	2	0.9%	4	0.5%
凍結・解凍	4	0.8%	0	0.0%	4	0.5%
錆損	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
焼損	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	500	100.0%	231	100.0%	731	100.0%

表 52：日用品・医薬品・雑貨の損害形態

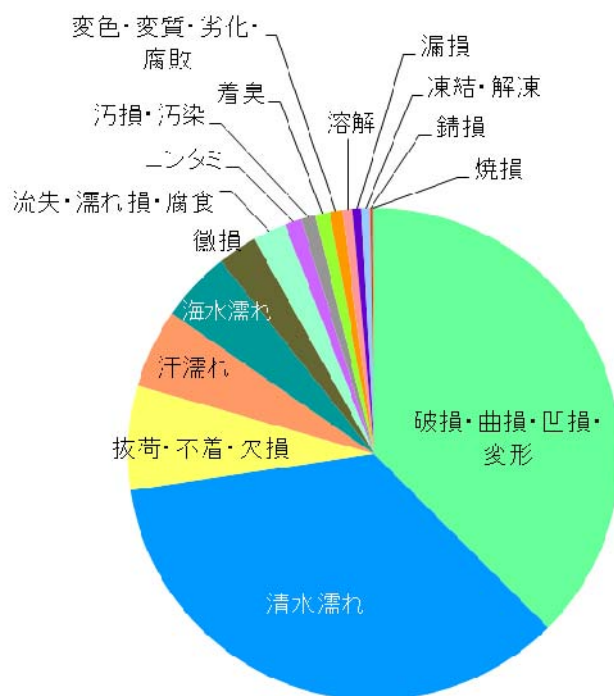


図 50：日用品・医薬品・雑貨の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	147	79.0%	76	86.4%	223	81.4%
バンニング作業中	18	9.7%	3	3.4%	21	7.7%
積地保管中	7	3.8%	0	0.0%	7	2.6%
揚地保管中	6	3.2%	0	0.0%	6	2.2%
積込作業中	2	1.1%	4	4.5%	6	2.2%
デバンニング中	5	2.7%	0	0.0%	5	1.8%
中継地保管中	0	0.0%	3	3.4%	3	1.1%
荷降中	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
(空白)	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
積替中	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	186	100.0%	88	100.0%	274	100.0%

表 53：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

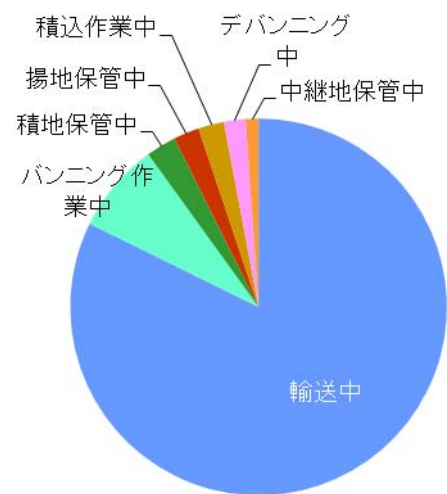


図 51：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	83	44.6%	36	40.9%	119	43.4%
輸送中の動揺/振動	68	36.6%	27	30.7%	95	34.7%
積付・積載不良	10	5.4%	8	9.1%	18	6.6%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	12	13.6%	12	4.4%
梱包不良	6	3.2%	3	3.4%	9	3.3%
地震	6	3.2%	0	0.0%	6	2.2%
荒天	5	2.7%	1	1.1%	6	2.2%
衝突	3	1.6%	0	0.0%	3	1.1%
品質不良	1	0.5%	1	1.1%	2	0.7%
温度・湿度変化	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
税関検査	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
冠水	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
固縛不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	186	100.0%	88	100.0%	274	100.0%

表 54：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

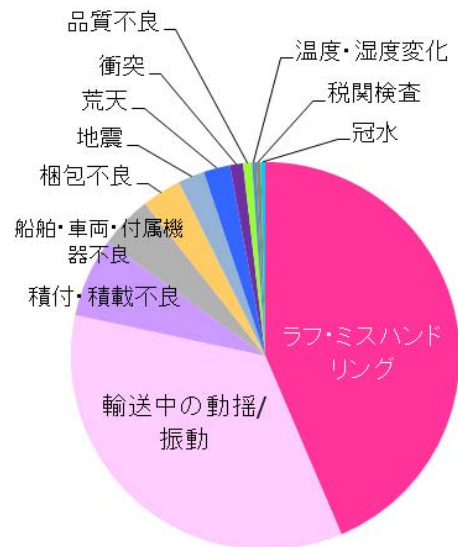


図 52：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	118	63.4%	62	70.5%	180	65.7%
修理・交換	29	15.6%	16	18.2%	45	16.4%
手直し	21	11.3%	5	5.7%	26	9.5%
転売	10	5.4%	1	1.1%	11	4.0%
格落ち	6	3.2%	3	3.4%	9	3.3%
該当無し	2	1.1%	1	1.1%	3	1.1%
総計	186	100.0%	88	100.0%	274	100.0%

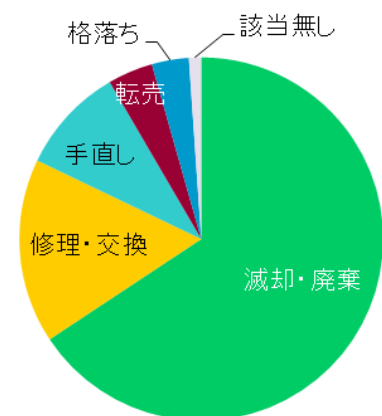


表 55: 日用品・医薬品・雑貨の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

図 53: 日用品・医薬品・雑貨の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

②清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	137	75.3%	52	69.3%	189	73.5%
積込作業中	8	4.4%	10	13.3%	18	7.0%
積地保管中	12	6.6%	3	4.0%	15	5.8%
積替中	11	6.0%	3	4.0%	14	5.4%
揚地保管中	4	2.2%	4	5.3%	8	3.1%
バンニング作業中	6	3.3%	0	0.0%	6	2.3%
デバンニング中	3	1.6%	0	0.0%	3	1.2%
荷降中	0	0.0%	3	4.0%	3	1.2%
中継地保管中	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	182	100.0%	75	100.0%	257	100.0%

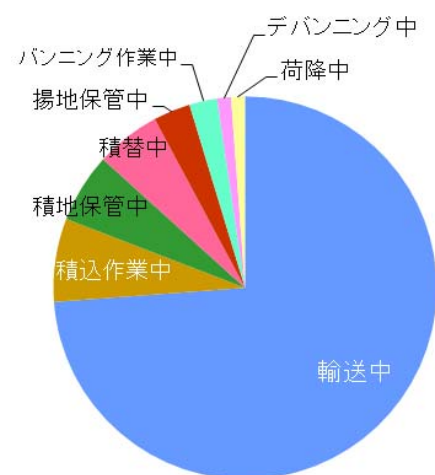


表 56: 日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(清水濡れ)

図 54: 日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	106	58.2%	29	38.7%	135	52.5%
ラフ・ミスハンドリング	32	17.6%	22	29.3%	54	21.0%
冠水	19	10.4%	18	24.0%	37	14.4%
荒天	13	7.1%	0	0.0%	13	5.1%
保管不良	8	4.4%	4	5.3%	12	4.7%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.5%	1	1.3%	2	0.8%
税関検査	0	0.0%	1	1.3%	1	0.4%
品質不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
地震	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
梱包不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	182	100.0%	75	100.0%	257	100.0%

表 57：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(清水濡れ)

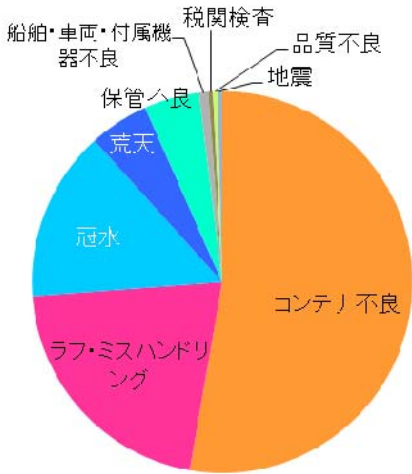


図 55：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	133	73.1%	58	77.3%	191	74.3%
手直し	20	11.0%	7	9.3%	27	10.5%
格落ち	13	7.1%	5	6.7%	18	7.0%
転売	12	6.6%	2	2.7%	14	5.4%
修理・交換	3	1.6%	1	1.3%	4	1.6%
積戻し	0	0.0%	2	2.7%	2	0.8%
該当無し	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	182	100.0%	75	100.0%	257	100.0%

表 58：日用品・医薬品・雑貨の損害処理方法(清水濡れ)

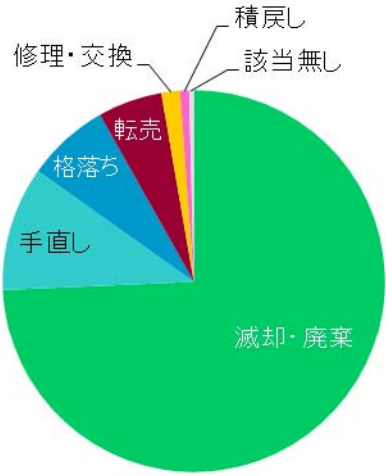


図 56：日用品・医薬品・雑貨の損害処理方法(清水濡れ)

(7) 骨董品・美術品

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	19	82.6%	5	83.3%	24	82.8%
抜荷・不着・欠損	2	8.7%	0	0.0%	2	6.9%
海水濡れ	1	4.3%	0	0.0%	1	3.4%
焼損	1	4.3%	0	0.0%	1	3.4%
清水濡れ	0	0.0%	1	16.7%	1	3.4%
総計	23	100.0%	6	100.0%	29	100.0%

表 59：骨董品・美術品の損害形態

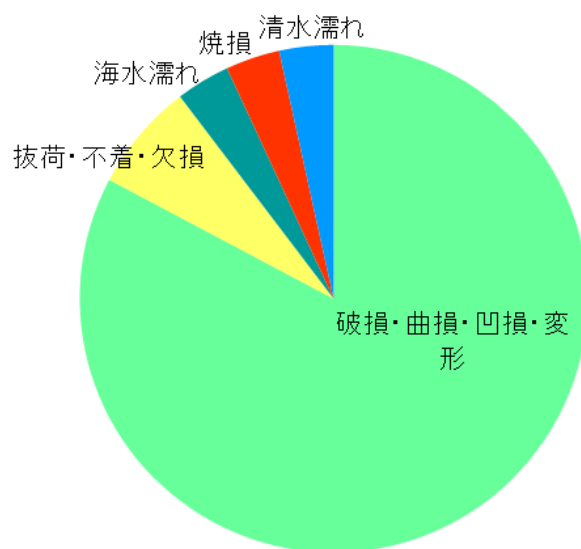


図 57：骨董品・美術品の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	16	84.2%	4	80.0%	20	83.3%
据付中	1	5.3%	1	20.0%	2	8.3%
バンニング作業中	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
荷降中	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

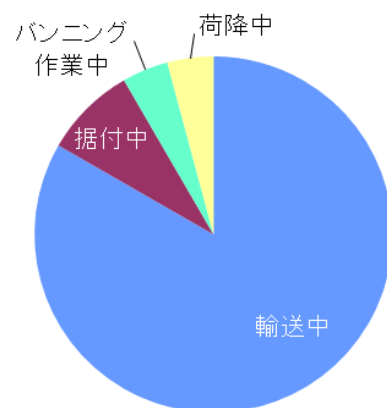


表 60: 骨董品・美術品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 58: 骨董品・美術品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	9	47.4%	1	20.0%	10	41.7%
ラフ・ミスハンドリング	6	31.6%	3	60.0%	9	37.5%
積付・積載不良	1	5.3%	1	20.0%	2	8.3%
保管不良	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
該当無し	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
梱包不良	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

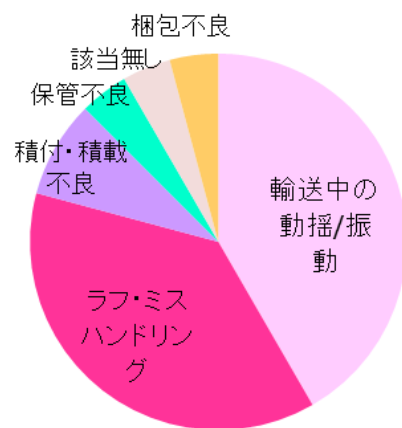


表 61: 骨董品・美術品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

図 59: 骨董品・美術品の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	13	68.4%	1	20.0%	14	58.3%
滅却・廃棄	2	10.5%	3	60.0%	5	20.8%
手直し	3	15.8%	1	20.0%	4	16.7%
該当無し	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

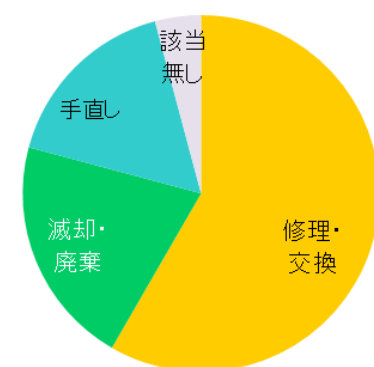


表 62: 骨董品・美術品の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

図 60: 骨董品・美術品の損害処理方法
(破損・曲損・凹損・変形)

(8) 木材（製材・原木）

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	92	43.2%	50	53.2%	142	46.3%
清水濡れ	40	18.8%	15	16.0%	55	17.9%
黴損	16	7.5%	15	16.0%	31	10.1%
汗濡れ	19	8.9%	7	7.4%	26	8.5%
海水濡れ	22	10.3%	2	2.1%	24	7.8%
流失・濡れ損・腐食	12	5.6%	0	0.0%	12	3.9%
該当無し	7	3.3%	1	1.1%	8	2.6%
抜荷・不着・欠損	3	1.4%	1	1.1%	4	1.3%
汚損・汚染	2	0.9%	1	1.1%	3	1.0%
コンタミ	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
着臭	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
総計	213	100.0%	94	100.0%	307	100.0%

表 63：木材（製材・原木）の損害形態

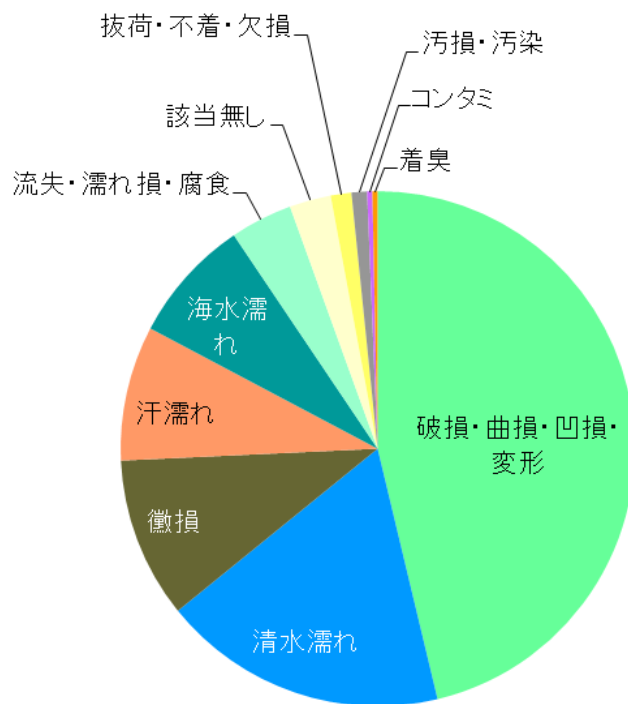


図 61：木材（製材・原木）の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	68	73.9%	48	96.0%	116	81.7%
積地保管中	8	8.7%	1	2.0%	9	6.3%
バンニング作業中	7	7.6%	1	2.0%	8	5.6%
揚地保管中	5	5.4%	0	0.0%	5	3.5%
荷降中	2	2.2%	0	0.0%	2	1.4%
積込作業中	2	2.2%	0	0.0%	2	1.4%
総計	92	100.0%	50	100.0%	142	100.0%

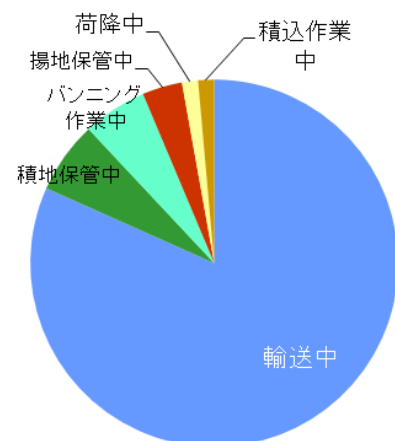


表 64：木材（製材・原木）の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 62：木材（製材・原木）の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	34	37.0%	29	58.0%	63	44.4%
ラフ・ミスハンドリング	32	34.8%	6	12.0%	38	26.8%
品質不良	12	13.0%	1	2.0%	13	9.2%
荒天	7	7.6%	4	8.0%	11	7.7%
固縛不良	3	3.3%	4	8.0%	7	4.9%
積付・積載不良	1	1.1%	5	10.0%	6	4.2%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	2.0%	1	0.7%
温度・湿度変化	1	1.1%	0	0.0%	1	0.7%
地震	1	1.1%	0	0.0%	1	0.7%
梱包不良	1	1.1%	0	0.0%	1	0.7%
総計	92	100.0%	50	100.0%	142	100.0%

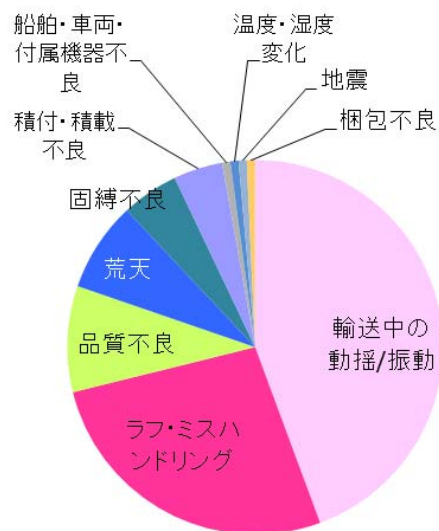


表 65：木材（製材・原木）の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

図 63：木材（製材・原木）の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	67	72.8%	34	68.0%	101	71.1%
転売	15	16.3%	9	18.0%	24	16.9%
滅却・廃棄	9	9.8%	6	12.0%	15	10.6%
手直し	1	1.1%	1	2.0%	2	1.4%
総計	92	100.0%	50	100.0%	142	100.0%

表 66：木材（製材・原木）の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

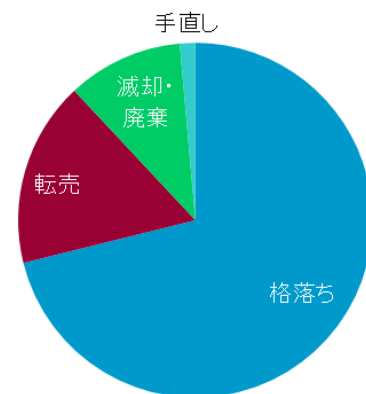


図 64：木材（製材・原木）の損害処理方法(破損・曲損・凹損・変形)

②清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	22	55.0%	3	20.0%	25	45.5%
積込作業中	10	25.0%	8	53.3%	18	32.7%
積地保管中	6	15.0%	0	0.0%	6	10.9%
荷降中	0	0.0%	3	20.0%	3	5.5%
バンニング作業中	1	2.5%	1	6.7%	2	3.6%
揚地保管中	1	2.5%	0	0.0%	1	1.8%
総計	40	100.0%	15	100.0%	55	100.0%

表 67：木材（製材・原木）の事故発生場所(清水濡れ)

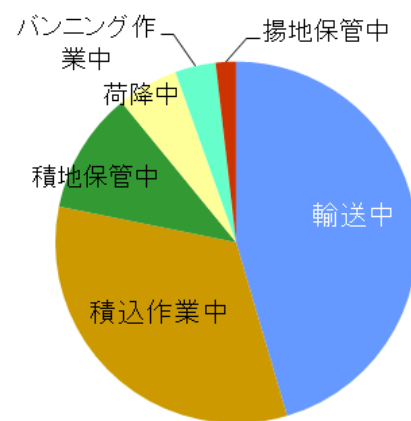


図 65：木材（製材・原木）の事故発生場所(清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	11	27.5%	14	93.3%	25	45.5%
船舶・車両・付属機器不良	9	22.5%	0	0.0%	9	16.4%
保管不良	7	17.5%	0	0.0%	7	12.7%
コンテナ不良	5	12.5%	1	6.7%	6	10.9%
荒天	4	10.0%	0	0.0%	4	7.3%
冠水	2	5.0%	0	0.0%	2	3.6%
輸送中の動揺/振動	1	2.5%	0	0.0%	1	1.8%
温度・湿度変化	1	2.5%	0	0.0%	1	1.8%
総計	40	100.0%	15	100.0%	55	100.0%

表 68：木材（製材・原木）の事故原因(清水濡れ)

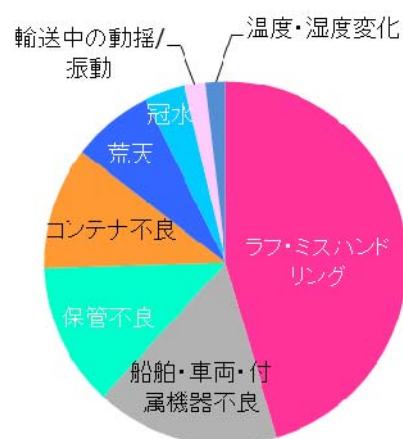


図 66：木材（製材・原木）の事故原因(清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	26	65.0%	10	66.7%	36	65.5%
滅却・廃棄	7	17.5%	2	13.3%	9	16.4%
手直し	3	7.5%	3	20.0%	6	10.9%
転売	4	10.0%	0	0.0%	4	7.3%
総計	40	100.0%	15	100.0%	55	100.0%

表 69：木材（製材・原木）の損害処理方法(清水濡れ)

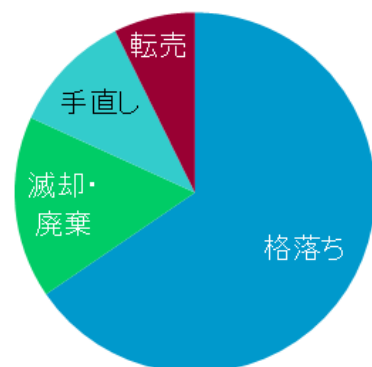


図 67：木材（製材・原木）の損害処理方法(清水濡れ)

③ 徴損

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	15	93.8%	8	53.3%	23	74.2%
積地保管中	1	6.3%	7	46.7%	8	25.8%
総計	16	100.0%	15	100.0%	31	100.0%

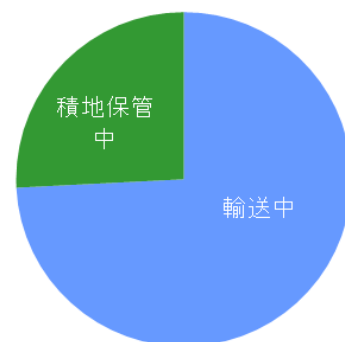


表 70 : 木材（製材・原木）の事故発生場所(徴損)

図 68 : 木材（製材・原木）の事故発生場所(徴損)

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
温度・湿度変化	13	81.3%	5	33.3%	18	58.1%
保管不良	0	0.0%	6	40.0%	6	19.4%
品質不良	2	12.5%	1	6.7%	3	9.7%
コンテナ不良	0	0.0%	2	13.3%	2	6.5%
該当無し	1	6.3%	1	6.7%	2	6.5%
総計	16	100.0%	15	100.0%	31	100.0%

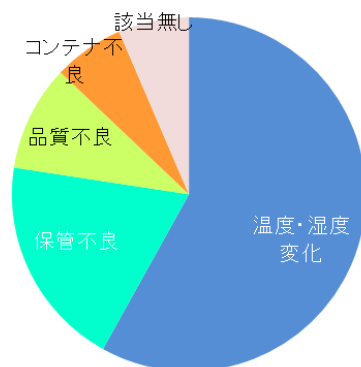


表 71 : 木材（製材・原木）の事故原因(徴損)

図 69 : 木材（製材・原木）の事故原因(徴損)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	11	68.8%	10	66.7%	21	67.7%
滅却・廃棄	1	6.3%	4	26.7%	5	16.1%
転売	4	25.0%	0	0.0%	4	12.9%
手直し	0	0.0%	1	6.7%	1	3.2%
総計	16	100.0%	15	100.0%	31	100.0%

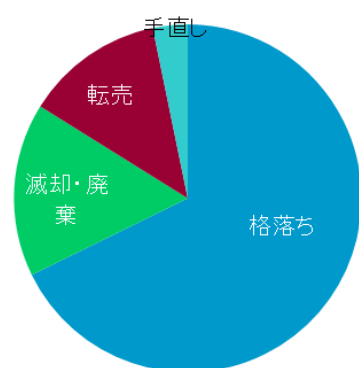


表 72 : 木材（製材・原木）の損害処理方法(徴損)

図 70 : 木材（製材・原木）の損害処理方法(徴損)

④汗濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

表 73：木材（製材・原木）の事故発生場所(汗濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
温度・湿度変化	18	94.7%	7	100.0%	25	96.2%
品質不良	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

表 74：木材（製材・原木）の事故原因(汗濡れ)

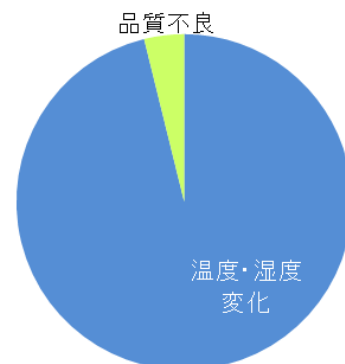


図 71：木材（製材・原木）の事故原因(汗濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	10	52.6%	6	85.7%	16	61.5%
滅却・廃棄	5	26.3%	1	14.3%	6	23.1%
転売	2	10.5%	0	0.0%	2	7.7%
手直し	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
積戻し	1	5.3%	0	0.0%	1	3.8%
総計	19	100.0%	7	100.0%	26	100.0%

表 75：木材（製材・原木）の損害処理方法(汗濡れ)

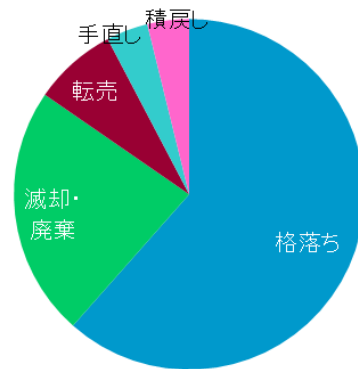


表 72：木材（製材・原木）の損害処理方法(汗濡れ)

⑤海水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	17	77.3%	1	50.0%	18	75.0%
揚地保管中	3	13.6%	0	0.0%	3	12.5%
荷降中	1	4.5%	1	50.0%	2	8.3%
積替中	1	4.5%	0	0.0%	1	4.2%
総計	22	100.0%	2	100.0%	24	100.0%

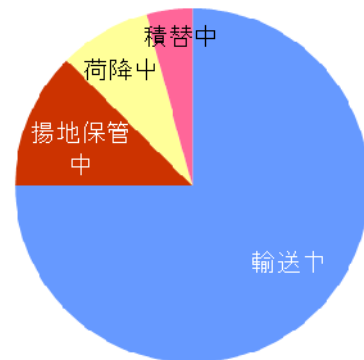


表 76: 木材（製材・原木）の事故発生場所(海水濡れ)

図 73: 木材（製材・原木）の事故発生場所(海水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
船舶・車両・付属機器不良	17	77.3%	0	0.0%	17	70.8%
地震	3	13.6%	0	0.0%	3	12.5%
冠水	1	4.5%	1	50.0%	2	8.3%
コンテナ不良	0	0.0%	1	50.0%	1	4.2%
荒天	1	4.5%	0	0.0%	1	4.2%
総計	22	100.0%	2	100.0%	24	100.0%

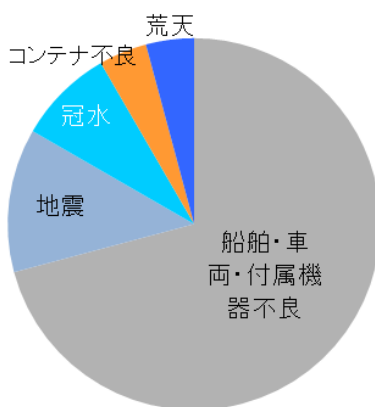


表 77: 木材（製材・原木）の事故原因(海水濡れ)

図 74: 木材（製材・原木）の事故原因(海水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	13	59.1%	0	0.0%	13	54.2%
滅却・廃棄	7	31.8%	2	100.0%	9	37.5%
該当無し	1	4.5%	0	0.0%	1	4.2%
手直し	1	4.5%	0	0.0%	1	4.2%
総計	22	100.0%	2	100.0%	24	100.0%

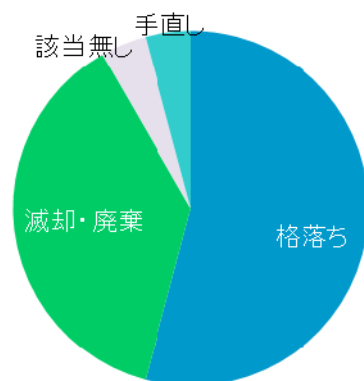


表 78: 木材（製材・原木）の損害処理方法(海水濡れ)

図 75: 木材（製材・原木）の損害処理方法(海水濡れ)

(9) 船舶・車両・輸送機器

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	138	84.7%	61	82.4%	199	84.0%
海水濡れ	11	6.7%	1	1.4%	12	5.1%
清水濡れ	3	1.8%	5	6.8%	8	3.4%
汚損・汚染	2	1.2%	3	4.1%	5	2.1%
錆損	3	1.8%	1	1.4%	4	1.7%
抜荷・不着・欠損	1	0.6%	2	2.7%	3	1.3%
焼損	2	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	1	1.4%	1	0.4%
流失・濡れ損・腐食	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
汗濡れ	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
凍結・解凍	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
総計	163	100.0%	74	100.0%	237	100.0%

表 79：船舶・車両・輸送機器の損害形態

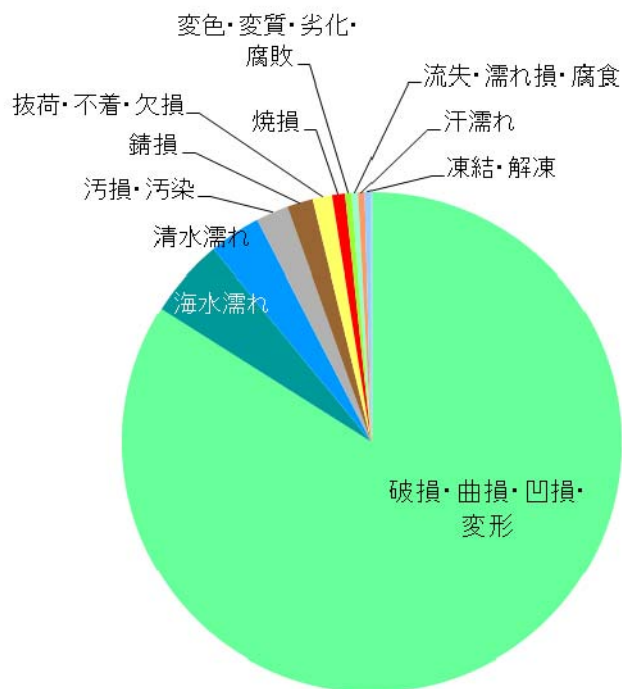


図 76：船舶・車両・輸送機器の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	74	53.6%	41	67.2%	115	57.8%
積地保管中	19	13.8%	0	0.0%	19	9.5%
揚地保管中	11	8.0%	6	9.8%	17	8.5%
バンニング作業中	16	11.6%	1	1.6%	17	8.5%
積込作業中	4	2.9%	5	8.2%	9	4.5%
デバンニング中	5	3.6%	1	1.6%	6	3.0%
積替中	2	1.4%	3	4.9%	5	2.5%
据付中	3	2.2%	2	3.3%	5	2.5%
荷降中	2	1.4%	1	1.6%	3	1.5%
中継地保管中	2	1.4%	1	1.6%	3	1.5%
総計	138	100.0%	61	100.0%	199	100.0%

表 80：船舶・車両・輸送機器の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

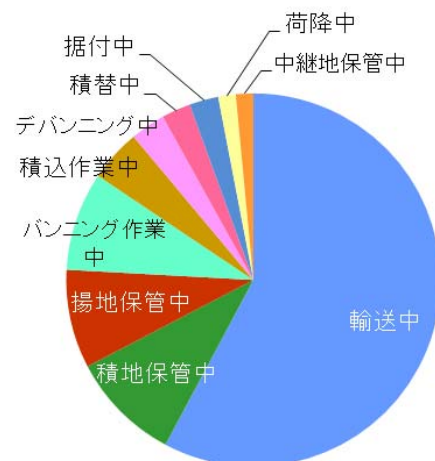


図 77：船舶・車両・輸送機器の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	71	51.4%	36	59.0%	107	53.8%
輸送中の動揺/振動	25	18.1%	11	18.0%	36	18.1%
荒天	18	13.0%	7	11.5%	25	12.6%
保管不良	6	4.3%	1	1.6%	7	3.5%
地震	6	4.3%	0	0.0%	6	3.0%
積付・積載不良	3	2.2%	2	3.3%	5	2.5%
固縛不良	1	0.7%	3	4.9%	4	2.0%
梱包不良	3	2.2%	0	0.0%	3	1.5%
船舶・車両・付属機器不良	3	2.2%	0	0.0%	3	1.5%
品質不良	1	0.7%	1	1.6%	2	1.0%
該当無し	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	138	100.0%	61	100.0%	199	100.0%

表 81：船舶・車両・輸送機器の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

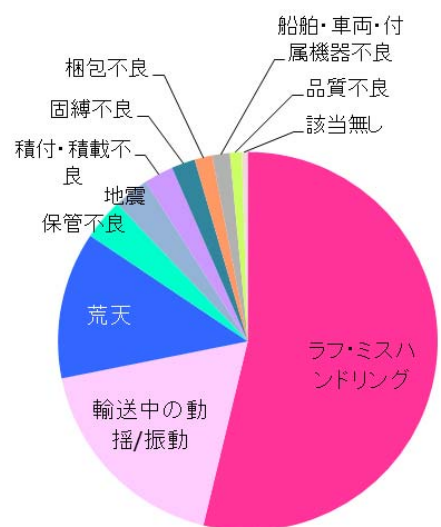


図 78：船舶・車両・輸送機器の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	102	73.9%	51	83.6%	153	76.9%
滅却・廃棄	26	18.8%	7	11.5%	33	16.6%
転売	3	2.2%	1	1.6%	4	2.0%
格落ち	4	2.9%	0	0.0%	4	2.0%
該当無し	2	1.4%	1	1.6%	3	1.5%
手直し	1	0.7%	1	1.6%	2	1.0%
総計	138	100.0%	61	100.0%	199	100.0%

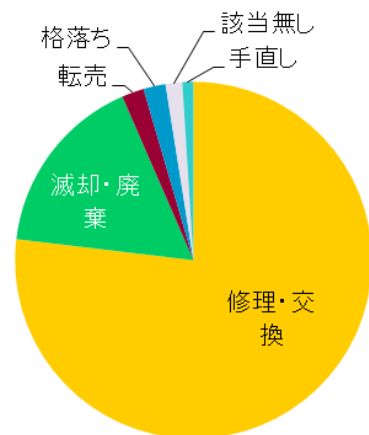


表 82: 船舶・車両・輸送機器の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

図 79: 船舶・車両・輸送機器の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

②海水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	3	27.3%	1	100.0%	4	33.3%
積地保管中	4	36.4%	0	0.0%	4	33.3%
揚地保管中	2	18.2%	0	0.0%	2	16.7%
バンニング作業中	1	9.1%	0	0.0%	1	8.3%
荷降中	1	9.1%	0	0.0%	1	8.3%
総計	11	100.0%	1	100.0%	12	100.0%

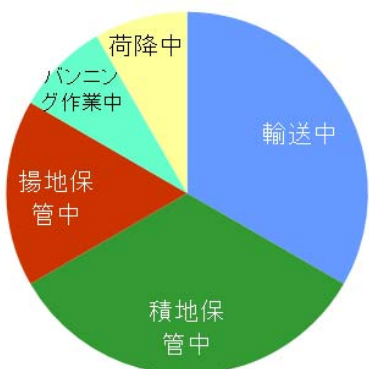


表 83: 船舶・車両・輸送機器の事故発生場所 (海水濡れ)

図 80: 船舶・車両・輸送機器の事故発生場所 (海水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
荒天	3	27.3%	1	100.0%	4	33.3%
地震	3	27.3%	0	0.0%	3	25.0%
冠水	3	27.3%	0	0.0%	3	25.0%
ラフ・ミスハンドリング	2	18.2%	0	0.0%	2	16.7%
総計	11	100.0%	1	100.0%	12	100.0%

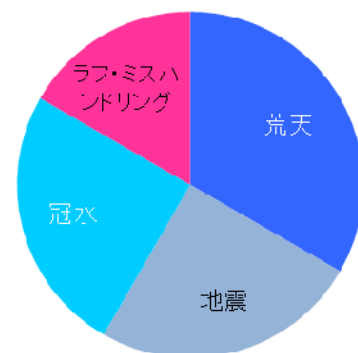


表 84 : 船舶・車両・輸送機器の事故原因 (海水濡れ)

図 81 : 船舶・車両・輸送機器の事故原因 (海水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	7	63.6%	0	0.0%	7	58.3%
修理・交換	3	27.3%	1	100.0%	4	33.3%
手直し	1	9.1%	0	0.0%	1	8.3%
総計	11	100.0%	1	100.0%	12	100.0%

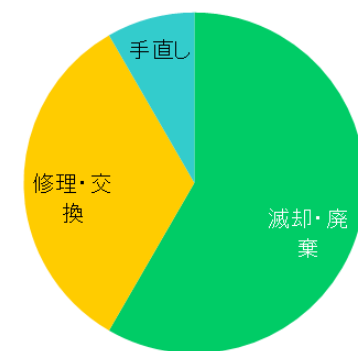


表 85 : 船舶・車両・輸送機器の損害処理方法 (海水濡れ)

図 82 : 船舶・車両・輸送機器の損害処理方法 (海水濡れ)

(10) 鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	139	51.3%	80	57.1%	219	53.3%
海水濡れ	39	14.4%	20	14.3%	59	14.4%
錆損	24	8.9%	29	20.7%	53	12.9%
清水濡れ	38	14.0%	7	5.0%	45	10.9%
汗濡れ	13	4.8%	0	0.0%	13	3.2%
流失・濡れ損・腐食	11	4.1%	0	0.0%	11	2.7%
抜荷・不着・欠損	4	1.5%	2	1.4%	6	1.5%
汚損・汚染	2	0.7%	0	0.0%	2	0.5%
コンタミ	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
黴損	0	0.0%	1	0.7%	1	0.2%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	1	0.7%	1	0.2%
総計	271	100.0%	140	100.0%	411	100.0%

表 86：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害形態

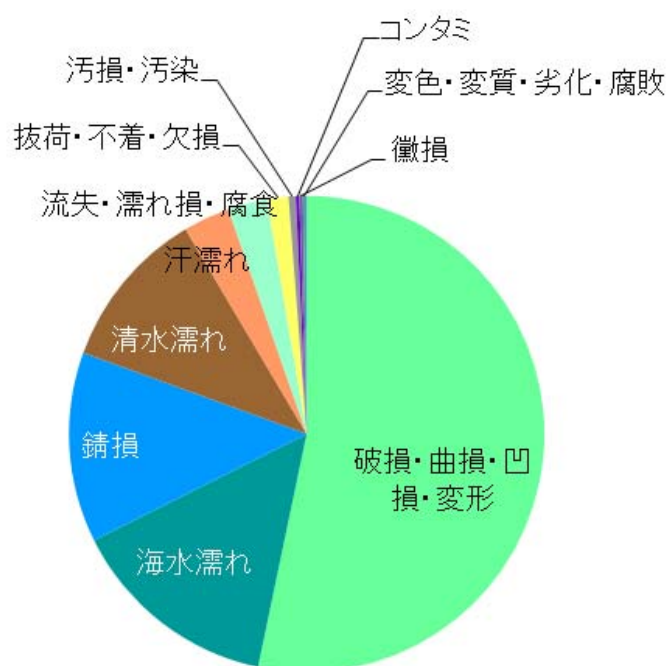


図 83：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	96	69.1%	59	73.8%	155	70.8%
バンニング作業中	25	18.0%	8	10.0%	33	15.1%
積込作業中	4	2.9%	5	6.3%	9	4.1%
デバンニング中	5	3.6%	2	2.5%	7	3.2%
荷降中	3	2.2%	3	3.8%	6	2.7%
積地保管中	1	0.7%	3	3.8%	4	1.8%
積替中	3	2.2%	0	0.0%	3	1.4%
揚地保管中	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
中継地保管中	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	139	100.0%	80	100.0%	219	100.0%

表 87：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所
（破損・曲損・凹損・変形）

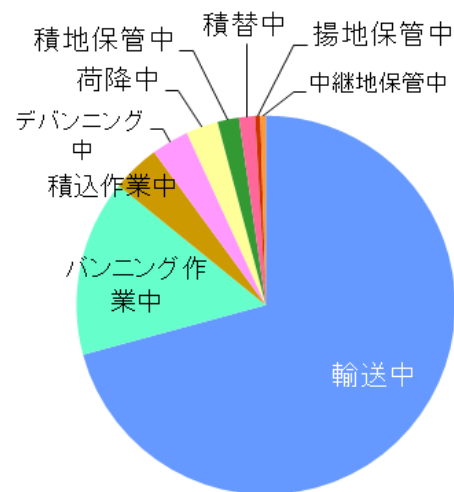


図 84：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	61	43.9%	27	33.8%	88	40.2%
輸送中の動揺/振動	39	28.1%	26	32.5%	65	29.7%
荒天	19	13.7%	6	7.5%	25	11.4%
積付・積載不良	13	9.4%	12	15.0%	25	11.4%
固縛不良	1	0.7%	4	5.0%	5	2.3%
品質不良	1	0.7%	1	1.3%	2	0.9%
梱包不良	1	0.7%	1	1.3%	2	0.9%
保管不良	2	1.4%	0	0.0%	2	0.9%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	2	2.5%	2	0.9%
盗難	0	0.0%	1	1.3%	1	0.5%
衝突	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
地震	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	139	100.0%	80	100.0%	219	100.0%

表 88：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因
（破損・曲損・凹損・変形）

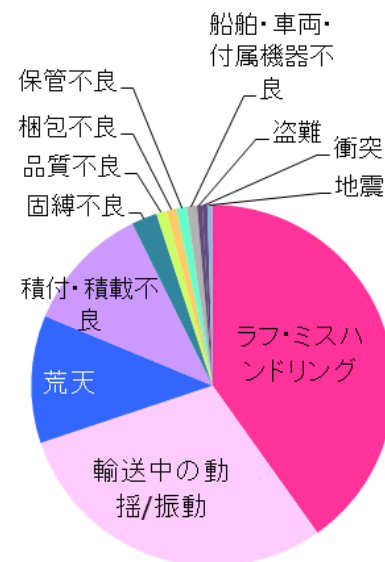


図 85：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
転売	42	30.2%	32	40.0%	74	33.8%
滅却・廃棄	50	36.0%	18	22.5%	68	31.1%
修理・交換	23	16.5%	9	11.3%	32	14.6%
格落ち	11	7.9%	10	12.5%	21	9.6%
手直し	10	7.2%	6	7.5%	16	7.3%
積戻し	2	1.4%	3	3.8%	5	2.3%
該当無し	0	0.0%	2	2.5%	2	0.9%
No Claim	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	139	100.0%	80	100.0%	219	100.0%

表 89：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法
（破損・曲損・凹損・変形）

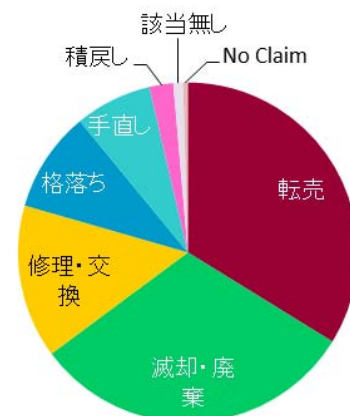


図 86：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

②海水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	34	87.2%	17	85.0%	51	86.4%
積地保管中	2	5.1%	1	5.0%	3	5.1%
荷降中	0	0.0%	2	10.0%	2	3.4%
中継地保管中	2	5.1%	0	0.0%	2	3.4%
揚地保管中	1	2.6%	0	0.0%	1	1.7%
総計	39	100.0%	20	100.0%	59	100.0%

表 90：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（海水濡れ）

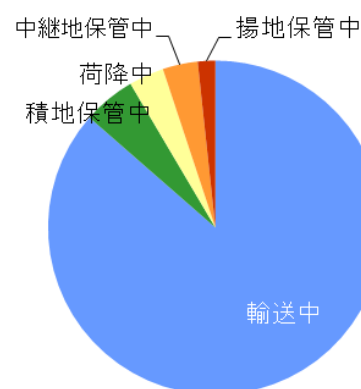


図 87：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（海水濡れ）

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
船舶・車両・付属機器不良	22	56.4%	15	75.0%	37	62.7%
荒天	4	10.3%	1	5.0%	5	8.5%
該当無し	4	10.3%	0	0.0%	4	6.8%
コンテナ不良	3	7.7%	1	5.0%	4	6.8%
保管不良	2	5.1%	1	5.0%	3	5.1%
地震	2	5.1%	0	0.0%	2	3.4%
冠水	0	0.0%	2	10.0%	2	3.4%
ラフ・ミスハンドリング	1	2.6%	0	0.0%	1	1.7%
積付・積載不良	1	2.6%	0	0.0%	1	1.7%
総計	39	100.0%	20	100.0%	59	100.0%

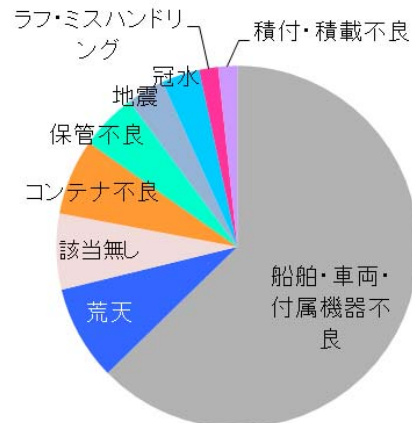


表 91：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（海水濡れ）

図 88：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（海水濡れ）

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	15	38.5%	10	50.0%	25	42.4%
転売	12	30.8%	8	40.0%	20	33.9%
滅却・廃棄	10	25.6%	0	0.0%	10	16.9%
手直し	2	5.1%	1	5.0%	3	5.1%
修理・交換	0	0.0%	1	5.0%	1	1.7%
総計	39	100.0%	20	100.0%	59	100.0%

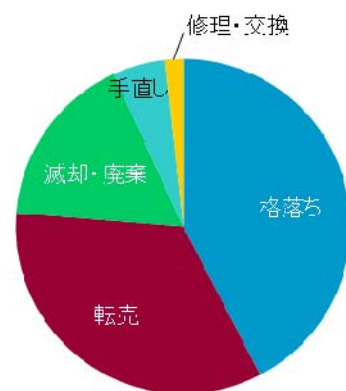


表 92：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（海水濡れ）

図 89：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（海水濡れ）

③ 錆損

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	17	70.8%	25	86.2%	42	79.2%
積地保管中	5	20.8%	3	10.3%	8	15.1%
バンニング作業中	2	8.3%	0	0.0%	2	3.8%
積込作業中	0	0.0%	1	3.4%	1	1.9%
総計	24	100.0%	29	100.0%	53	100.0%

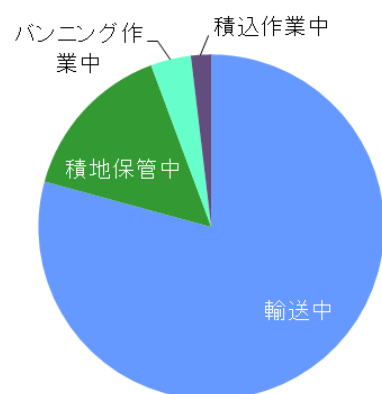


表 93：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（錆損）

図 90：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（錆損）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
船舶・車両・付属機器不良	2	8.3%	14	48.3%	16	30.2%
荒天	6	25.0%	2	6.9%	8	15.1%
梱包不良	3	12.5%	3	10.3%	6	11.3%
コンテナ不良	2	8.3%	3	10.3%	5	9.4%
温度・湿度変化	3	12.5%	2	6.9%	5	9.4%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	3	10.3%	3	5.7%
該当無し	3	12.5%	0	0.0%	3	5.7%
冠水	2	8.3%	0	0.0%	2	3.8%
保管不良	1	4.2%	1	3.4%	2	3.8%
品質不良	0	0.0%	1	3.4%	1	1.9%
地震	1	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
積付・積載不良	1	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
総計	24	100.0%	29	100.0%	53	100.0%

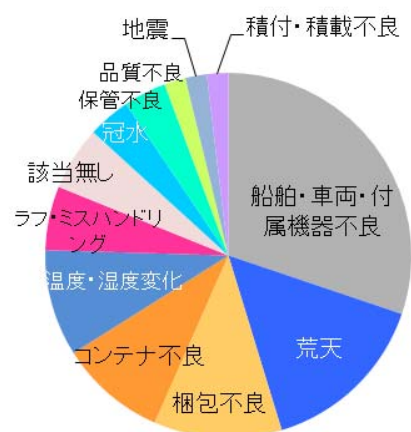


表 94：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（錆損）

図 91：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（錆損）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
格落ち	6	25.0%	10	34.5%	16	30.2%
手直し	6	25.0%	8	27.6%	14	26.4%
滅却・廃棄	8	33.3%	3	10.3%	11	20.8%
転売	2	8.3%	8	27.6%	10	18.9%
修理・交換	2	8.3%	0	0.0%	2	3.8%
総計	24	100.0%	29	100.0%	53	100.0%

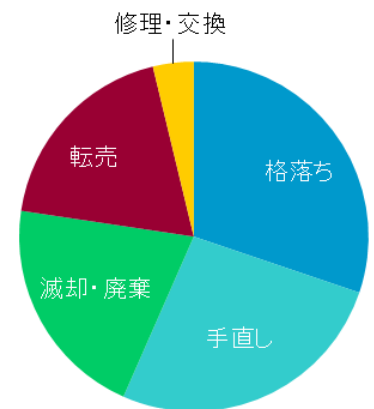


表 95：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（錆損）

図 92：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（錆損）

④清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	25	65.8%	6	85.7%	31	68.9%
デバンニング中	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
揚地保管中	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
バンニング作業中	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
積込作業中	2	5.3%	1	14.3%	3	6.7%
積地保管中	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
該当無し	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

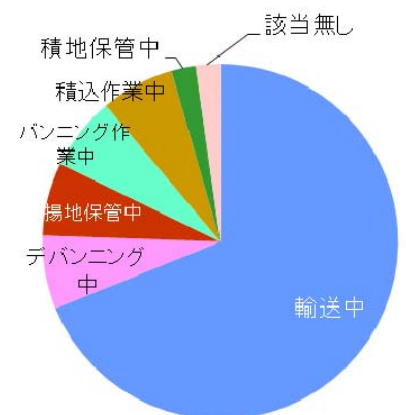


表 96：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（清水濡れ）

図 93：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故発生場所（清水濡れ）

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
荒天	10	26.3%	1	14.3%	11	24.4%
コンテナ不良	7	18.4%	4	57.1%	11	24.4%
船舶・車両・付属機器不良	6	15.8%	0	0.0%	6	13.3%
冠水	4	10.5%	1	14.3%	5	11.1%
ラフ・ミスハンドリング	3	7.9%	1	14.3%	4	8.9%
機器設定ミス	2	5.3%	0	0.0%	2	4.4%
該当無し	2	5.3%	0	0.0%	2	4.4%
保管不良	2	5.3%	0	0.0%	2	4.4%
梱包不良	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
温度・湿度変化	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

表 97：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（清水濡れ）

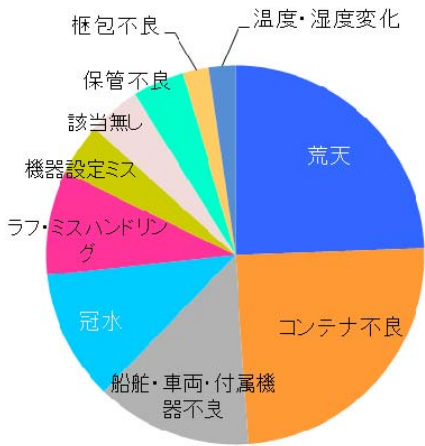


図 94：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の事故原因（清水濡れ）

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	12	31.6%	2	28.6%	14	31.1%
転売	11	28.9%	2	28.6%	13	28.9%
手直し	6	15.8%	3	42.9%	9	20.0%
格落ち	8	21.1%	0	0.0%	8	17.8%
修理・交換	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

表 98：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（清水濡れ）

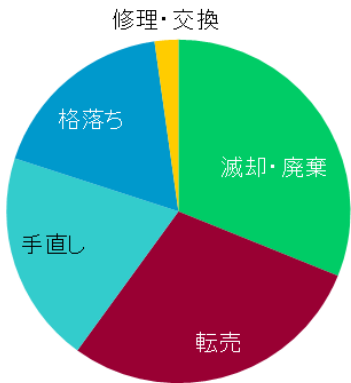


図 95：鋼材・鉄鋼製品（非鉄金属製品を含む）の損害処理方法（清水濡れ）

(1 1) 鈇産物

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
海水濡れ	34	24.3%	17	23.3%	51	23.9%
清水濡れ	30	21.4%	14	19.2%	44	20.7%
破損・曲損・凹損・変形	28	20.0%	9	12.3%	37	17.4%
漏損	9	6.4%	17	23.3%	26	12.2%
コンタミ	14	10.0%	7	9.6%	21	9.9%
汚損・汚染	7	5.0%	4	5.5%	11	5.2%
流失・濡れ損・腐食	9	6.4%	0	0.0%	9	4.2%
抜荷・不着・欠損	5	3.6%	2	2.7%	7	3.3%
汗濡れ	3	2.1%	3	4.1%	6	2.8%
変色・変質・劣化・腐敗	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	140	100.0%	73	100.0%	213	100.0%

表 99 : 鈇産物の損害形態

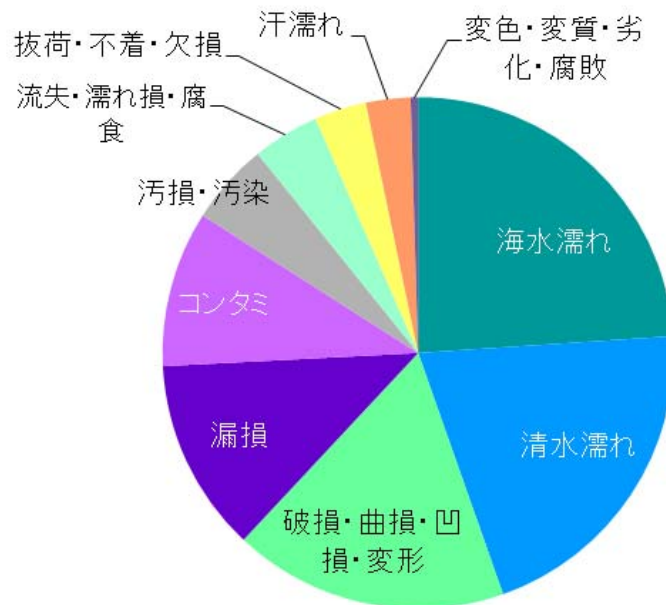


図 96 : 鈇産物の損害形態

①海水濡れ

事故発生場所

事故発生場所	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	27	79.4%	15	88.2%	42	82.4%
荷降中	3	8.8%	2	11.8%	5	9.8%
積地保管中	2	5.9%	0	0.0%	2	3.9%
バンニング作業中	1	2.9%	0	0.0%	1	2.0%
デバンニング中	1	2.9%	0	0.0%	1	2.0%
総計	34	100.0%	17	100.0%	51	100.0%

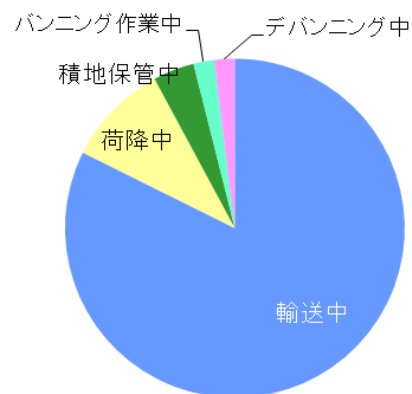


表 100 : 鈇産物の事故発生場所 (海水濡れ)

図 97 : 鈇産物の事故発生場所 (海水濡れ)

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
船舶・車両・付属機器不良	21	61.8%	15	88.2%	36	70.6%
ラフ・ミスハンドリング	7	20.6%	0	0.0%	7	13.7%
冠水	2	5.9%	1	5.9%	3	5.9%
地震	2	5.9%	0	0.0%	2	3.9%
コンテナ不良	2	5.9%	0	0.0%	2	3.9%
清掃不良	0	0.0%	1	5.9%	1	2.0%
総計	34	100.0%	17	100.0%	51	100.0%

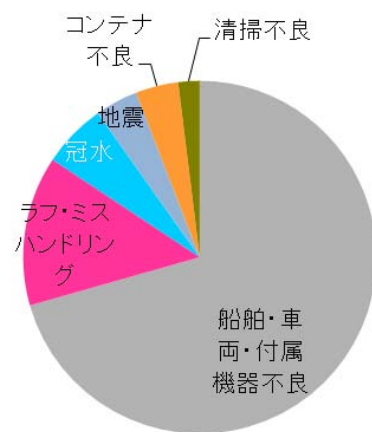


表 101 : 鈇産物の事故原因 (海水濡れ)

図 98 : 鈇産物の事故原因 (海水濡れ)

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
手直し	17	50.0%	6	35.3%	23	45.1%
滅却・廃棄	5	14.7%	8	47.1%	13	25.5%
格落ち	8	23.5%	1	5.9%	9	17.6%
転売	4	11.8%	2	11.8%	6	11.8%
総計	34	100.0%	17	100.0%	51	100.0%

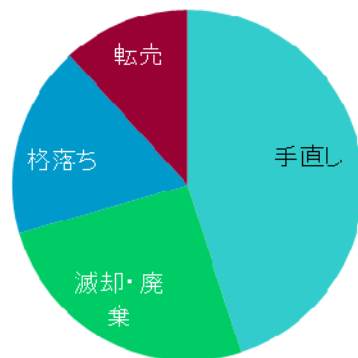


表 102 : 鈇産物の損害処理方法 (海水濡れ)

図 99 : 鈇産物の損害処理方法 (海水濡れ)

②清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	17	56.7%	9	64.3%	26	59.1%
荷降中	6	20.0%	2	14.3%	8	18.2%
バンニング作業中	4	13.3%	0	0.0%	4	9.1%
積地保管中	1	3.3%	2	14.3%	3	6.8%
揚地保管中	1	3.3%	1	7.1%	2	4.5%
積込作業中	1	3.3%	0	0.0%	1	2.3%
総計	30	100.0%	14	100.0%	44	100.0%

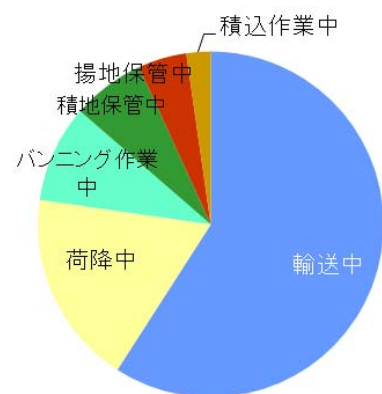


表 103：鉱産物の事故発生場所（清水濡れ）

図 100：鉱産物の事故発生場所（清水濡れ）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
船舶・車両・付属機器不良	9	30.0%	6	42.9%	15	34.1%
ラフ・ミスハンドリング	9	30.0%	2	14.3%	11	25.0%
コンテナ不良	8	26.7%	2	14.3%	10	22.7%
品質不良	1	3.3%	1	7.1%	2	4.5%
荒天	1	3.3%	1	7.1%	2	4.5%
保管不良	0	0.0%	1	7.1%	1	2.3%
冠水	0	0.0%	1	7.1%	1	2.3%
地震	1	3.3%	0	0.0%	1	2.3%
積付・積載不良	1	3.3%	0	0.0%	1	2.3%
総計	30	100.0%	14	100.0%	44	100.0%

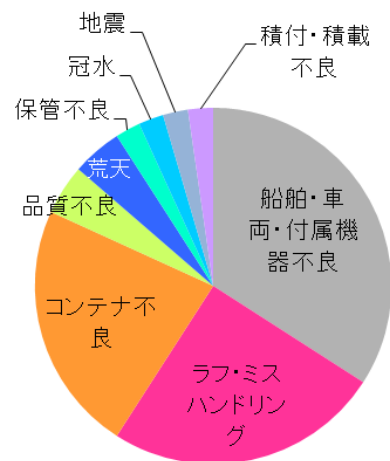


表 104：鉱産物の事故原因（清水濡れ）

図 101：鉱産物の事故原因（清水濡れ）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
手直し	15	50.0%	8	57.1%	23	52.3%
滅却・廃棄	7	23.3%	3	21.4%	10	22.7%
転売	4	13.3%	1	7.1%	5	11.4%
格落ち	2	6.7%	1	7.1%	3	6.8%
積戻し	0	0.0%	1	7.1%	1	2.3%
該当無し	1	3.3%	0	0.0%	1	2.3%
No Claim	1	3.3%	0	0.0%	1	2.3%
総計	30	100.0%	14	100.0%	44	100.0%

表 105：鉱産物の損害処理方法（清水濡れ）

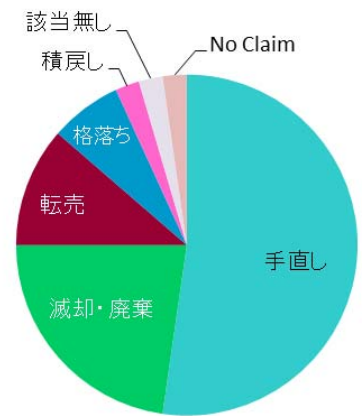


図 102：鉱産物の損害処理方法（清水濡れ）

③破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	25	89.3%	7	77.8%	32	86.5%
バンニング作業中	3	10.7%	0	0.0%	3	8.1%
積込作業中	0	0.0%	2	22.2%	2	5.4%
総計	28	100.0%	9	100.0%	37	100.0%

表 106：鉱産物の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

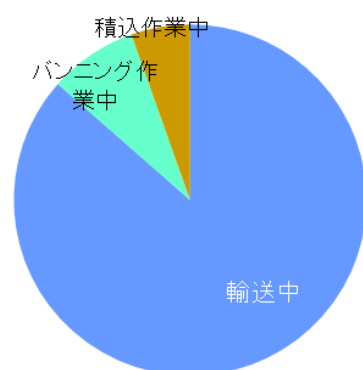


図 103：鉱産物の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	14	50.0%	5	55.6%	19	51.4%
輸送中の動揺/振動	10	35.7%	4	44.4%	14	37.8%
積付・積載不良	2	7.1%	0	0.0%	2	5.4%
固縛不良	1	3.6%	0	0.0%	1	2.7%
梱包不良	1	3.6%	0	0.0%	1	2.7%
総計	28	100.0%	9	100.0%	37	100.0%

表 107：鉱産物の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

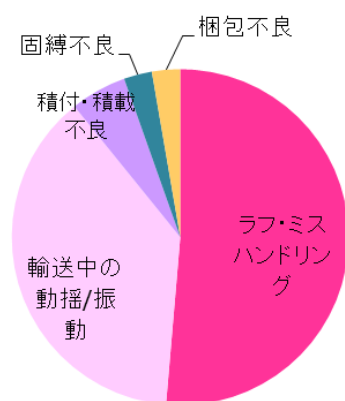


図 104：鉱産物の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	14	50.0%	6	66.7%	20	54.1%
手直し	10	35.7%	2	22.2%	12	32.4%
格落ち	4	14.3%	0	0.0%	4	10.8%
転売	0	0.0%	1	11.1%	1	2.7%
総計	28	100.0%	9	100.0%	37	100.0%

表 108：鉱産物の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

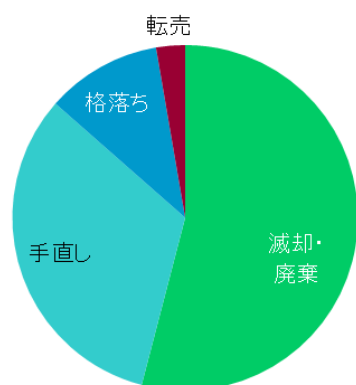


図 105：鉱産物の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

④漏損

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	8	88.9%	15	88.2%	23	88.5%
荷降中	1	11.1%	2	11.8%	3	11.5%
総計	9	100.0%	17	100.0%	26	100.0%

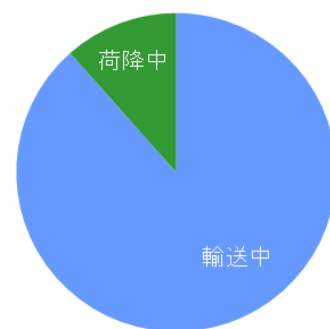


表 109 : 鉱産物の事故発生場所 (漏損)

図 106 : 鉱産物の事故発生場所 (漏損)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	6	66.7%	7	41.2%	13	50.0%
船舶・車両・付属機器不良	1	11.1%	4	23.5%	5	19.2%
積付・積載不良	0	0.0%	5	29.4%	5	19.2%
荒天	0	0.0%	1	5.9%	1	3.8%
固縛不良	1	11.1%	0	0.0%	1	3.8%
保管不良	1	11.1%	0	0.0%	1	3.8%
総計	9	100.0%	17	100.0%	26	100.0%

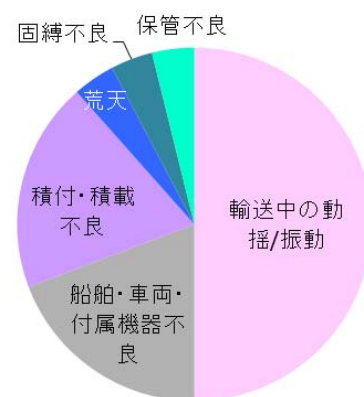


表 110 : 鉱産物の事故原因 (漏損)

図 107 : 鉱産物の事故原因 (漏損)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
手直し	6	66.7%	12	70.6%	18	69.2%
減却・廃棄	1	11.1%	4	23.5%	5	19.2%
格落ち	1	11.1%	1	5.9%	2	7.7%
転売	1	11.1%	0	0.0%	1	3.8%
総計	9	100.0%	17	100.0%	26	100.0%

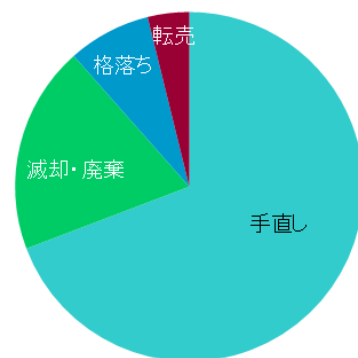


表 111 : 鉱産物の損害処理方法 (漏損)

図 108 : 鉱産物の損害処理方法 (漏損)

(12) 石油・ケミカル・その他製品

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	124	35.0%	39	27.7%	163	32.9%
清水濡れ	53	15.0%	21	14.9%	74	14.9%
コンタミ	40	11.3%	21	14.9%	61	12.3%
海水濡れ	30	8.5%	7	5.0%	37	7.5%
漏損	27	7.6%	9	6.4%	36	7.3%
汗濡れ	19	5.4%	14	9.9%	33	6.7%
汚損・汚染	15	4.2%	16	11.3%	31	6.3%
変色・変質・劣化・腐敗	12	3.4%	6	4.3%	18	3.6%
流失・濡れ損・腐食	16	4.5%	0	0.0%	16	3.2%
黴損	6	1.7%	0	0.0%	6	1.2%
抜荷・不着・欠損	2	0.6%	3	2.1%	5	1.0%
溶解	4	1.1%	0	0.0%	4	0.8%
錆損	2	0.6%	2	1.4%	4	0.8%
該当無し	2	0.6%	1	0.7%	3	0.6%
凍結・解凍	1	0.3%	1	0.7%	2	0.4%
着臭	1	0.3%	1	0.7%	2	0.4%
総計	354	100.0%	141	100.0%	495	100.0%

表 112：石油・ケミカル・その他製品の損害形態

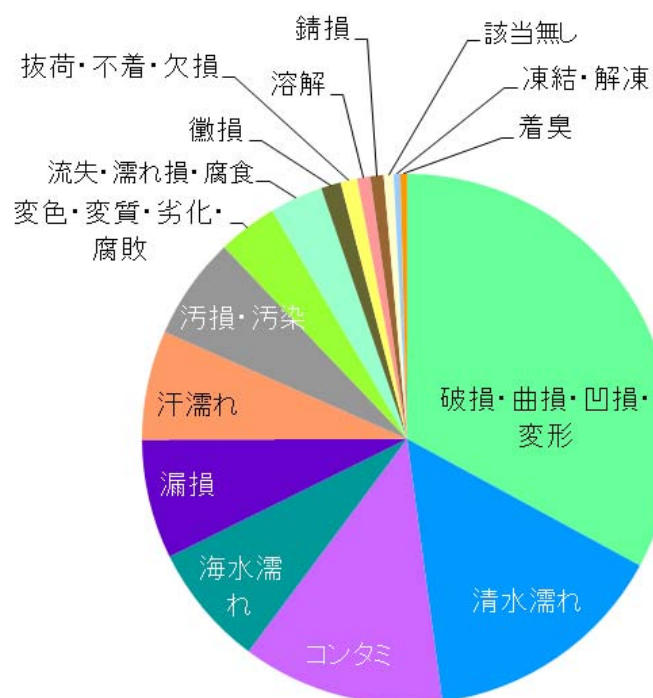


図 109：石油・ケミカル・その他製品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	94	75.8%	32	82.1%	126	77.3%
バンニング作業中	15	12.1%	2	5.1%	17	10.4%
積地保管中	2	1.6%	3	7.7%	5	3.1%
揚地保管中	4	3.2%	1	2.6%	5	3.1%
デバンニング中	4	3.2%	0	0.0%	4	2.5%
中継地保管中	2	1.6%	0	0.0%	2	1.2%
積込作業中	2	1.6%	0	0.0%	2	1.2%
荷降中	1	0.8%	0	0.0%	1	0.6%
積替中	0	0.0%	1	2.6%	1	0.6%
総計	124	100.0%	39	100.0%	163	100.0%

表 113：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

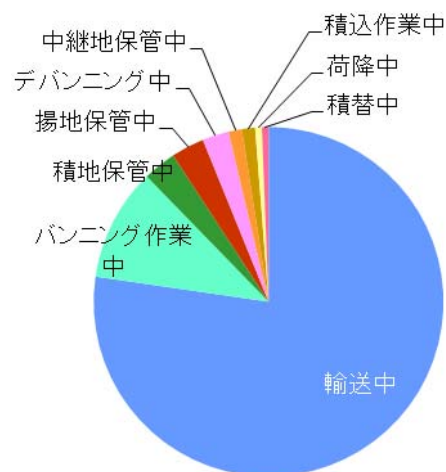


図 110：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	59	47.6%	12	30.8%	71	43.6%
輸送中の動揺/振動	47	37.9%	18	46.2%	65	39.9%
積付・積載不良	6	4.8%	4	10.3%	10	6.1%
品質不良	3	2.4%	2	5.1%	5	3.1%
地震	5	4.0%	0	0.0%	5	3.1%
荒天	2	1.6%	0	0.0%	2	1.2%
梱包不良	1	0.8%	1	2.6%	2	1.2%
固縛不良	0	0.0%	1	2.6%	1	0.6%
該当無し	0	0.0%	1	2.6%	1	0.6%
税関検査	1	0.8%	0	0.0%	1	0.6%
総計	124	100.0%	39	100.0%	163	100.0%

表 114：石油・ケミカル・その他製品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

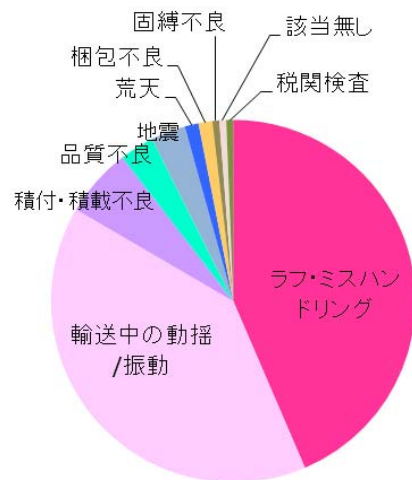


図 111：石油・ケミカル・その他製品の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	75	60.5%	26	66.7%	101	62.0%
転売	25	20.2%	3	7.7%	28	17.2%
手直し	20	16.1%	6	15.4%	26	16.0%
格落ち	2	1.6%	1	2.6%	3	1.8%
該当無し	1	0.8%	1	2.6%	2	1.2%
積戻し	1	0.8%	1	2.6%	2	1.2%
修理・交換	0	0.0%	1	2.6%	1	0.6%
総計	124	100.0%	39	100.0%	163	100.0%

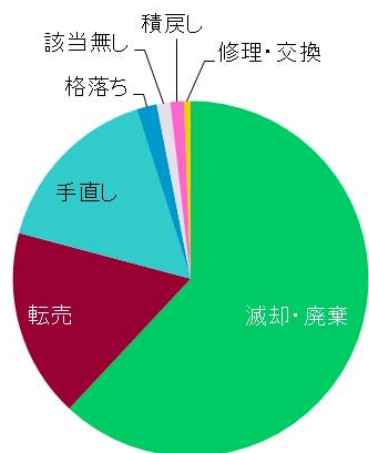


表 115：石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法
(破損・曲損・凹損・変形)

図 112：石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

② 清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	50	94.3%	18	85.7%	68	91.9%
積地保管中	2	3.8%	1	4.8%	3	4.1%
バンニング作業中	0	0.0%	1	4.8%	1	1.4%
積替中	1	1.9%	0	0.0%	1	1.4%
中継地保管中	0	0.0%	1	4.8%	1	1.4%
総計	53	100.0%	21	100.0%	74	100.0%

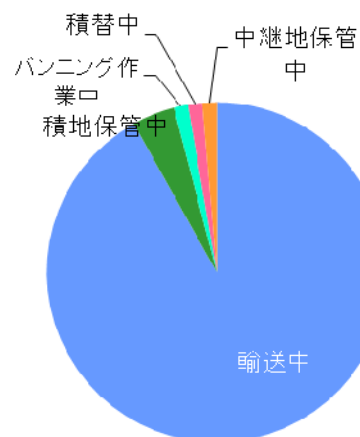


表 116：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所 (清水濡れ)

図 113：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所 (清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	42	79.2%	14	66.7%	56	75.7%
ラフ・ミスハンドリング	4	7.5%	1	4.8%	5	6.8%
冠水	2	3.8%	1	4.8%	3	4.1%
荒天	2	3.8%	1	4.8%	3	4.1%
温度・湿度変化	2	3.8%	0	0.0%	2	2.7%
船舶・車両・付属機器不良	1	1.9%	1	4.8%	2	2.7%
保管不良	0	0.0%	1	4.8%	1	1.4%
輸送中の動揺/振動	0	0.0%	1	4.8%	1	1.4%
品質不良	0	0.0%	1	4.8%	1	1.4%
総計	53	100.0%	21	100.0%	74	100.0%

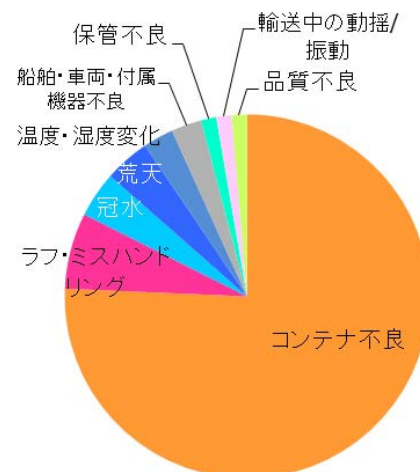


表 117: 石油・ケミカル・その他製品の事故原因（清水濡れ）

図 114: 石油・ケミカル・その他製品の事故原因（清水濡れ）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	27	50.9%	8	38.1%	35	47.3%
転売	14	26.4%	9	42.9%	23	31.1%
格落ち	6	11.3%	3	14.3%	9	12.2%
手直し	4	7.5%	0	0.0%	4	5.4%
積戻し	1	1.9%	1	4.8%	2	2.7%
No Claim	1	1.9%	0	0.0%	1	1.4%
総計	53	100.0%	21	100.0%	74	100.0%

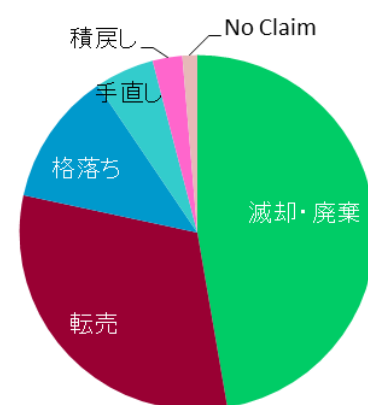


表 118: 石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法（清水濡れ）

図 115: 石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法（清水濡れ）

③コンタミ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	23	57.5%	14	66.7%	37	60.7%
積地保管中	4	10.0%	2	9.5%	6	9.8%
バンニング作業中	4	10.0%	2	9.5%	6	9.8%
積込作業中	4	10.0%	2	9.5%	6	9.8%
デバンニング中	3	7.5%	1	4.8%	4	6.6%
中継地保管中	1	2.5%	0	0.0%	1	1.6%
積替中	1	2.5%	0	0.0%	1	1.6%
総計	40	100.0%	21	100.0%	61	100.0%

表 119：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所（コンタミ）

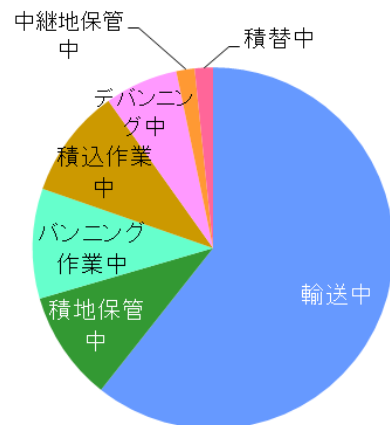


図 116：石油・ケミカル・その他製品の事故発生場所（コンタミ）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	19	47.5%	7	33.3%	26	42.6%
清掃不良	7	17.5%	8	38.1%	15	24.6%
輸送中の動揺/振動	4	10.0%	2	9.5%	6	9.8%
品質不良	3	7.5%	0	0.0%	3	4.9%
船舶・車両・付属機器不良	1	2.5%	1	4.8%	2	3.3%
梱包不良	2	5.0%	0	0.0%	2	3.3%
保管不良	2	5.0%	0	0.0%	2	3.3%
コンテナ不良	1	2.5%	1	4.8%	2	3.3%
該当無し	1	2.5%	1	4.8%	2	3.3%
積付・積載不良	0	0.0%	1	4.8%	1	1.6%
総計	40	100.0%	21	100.0%	61	100.0%

表 120：石油・ケミカル・その他製品の事故原因（コンタミ）

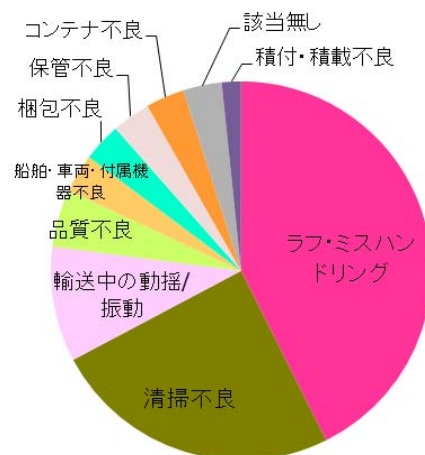


図 117：石油・ケミカル・その他製品の事故原因（コンタミ）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	17	42.5%	11	52.4%	28	45.9%
転売	13	32.5%	3	14.3%	16	26.2%
格落ち	4	10.0%	2	9.5%	6	9.8%
手直し	2	5.0%	4	19.0%	6	9.8%
積戻し	2	5.0%	1	4.8%	3	4.9%
No Claim	1	2.5%	0	0.0%	1	1.6%
該当無し	1	2.5%	0	0.0%	1	1.6%
総計	40	100.0%	21	100.0%	61	100.0%

表 121：石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法（コンタミ）

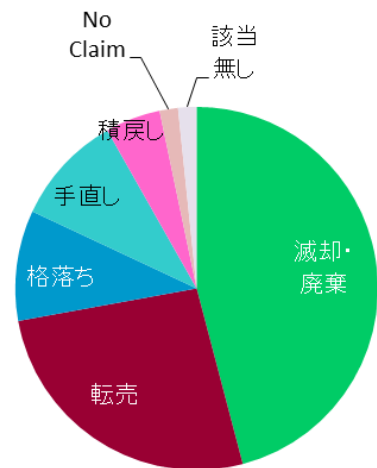


図 118：石油・ケミカル・その他製品の損害処理方法（コンタミ）

(13) 産業機械類

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	307	81.9%	103	87.3%	410	83.2%
錆損	19	5.1%	5	4.2%	24	4.9%
清水濡れ	18	4.8%	5	4.2%	23	4.7%
海水濡れ	14	3.7%	2	1.7%	16	3.2%
汗濡れ	7	1.9%	1	0.8%	8	1.6%
流失・濡れ損・腐食	6	1.6%	0	0.0%	6	1.2%
抜荷・不着・欠損	4	1.1%	1	0.8%	5	1.0%
汚損・汚染	0	0.0%	1	0.8%	1	0.2%
総計	375	100.0%	118	100.0%	493	100.0%

表 122：産業機械類の損害形態

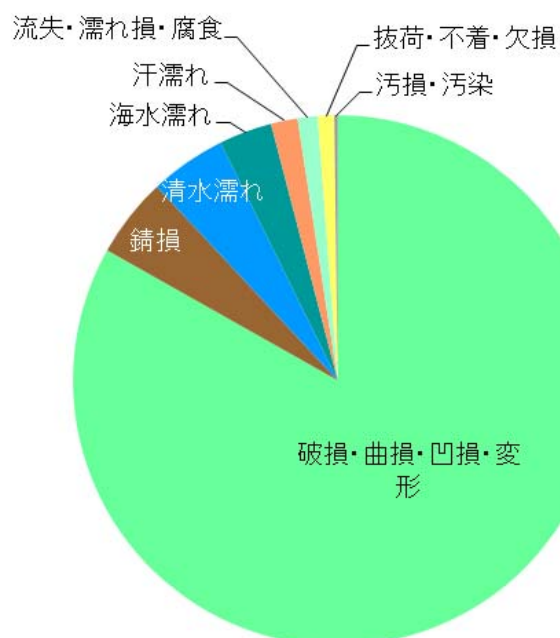


図 119：産業機械類の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	217	70.7%	72	69.9%	289	70.5%
バンニング作業中	33	10.7%	7	6.8%	40	9.8%
デバンニング中	21	6.8%	1	1.0%	22	5.4%
積地保管中	9	2.9%	5	4.9%	14	3.4%
荷降中	9	2.9%	2	1.9%	11	2.7%
積込作業中	5	1.6%	6	5.8%	11	2.7%
積替中	5	1.6%	5	4.9%	10	2.4%
揚地保管中	6	2.0%	1	1.0%	7	1.7%
据付中	2	0.7%	4	3.9%	6	1.5%
総計	307	100.0%	103	100.0%	410	100.0%

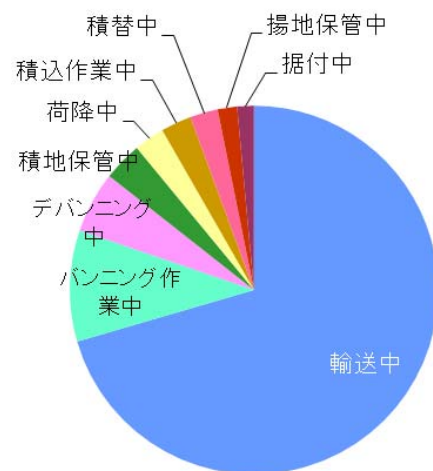


表 123：産業機械類の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

図 120：産業機械類の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	173	56.4%	55	53.4%	228	55.6%
輸送中の動揺/振動	94	30.6%	27	26.2%	121	29.5%
梱包不良	14	4.6%	7	6.8%	21	5.1%
荒天	10	3.3%	1	1.0%	11	2.7%
積付・積載不良	4	1.3%	5	4.9%	9	2.2%
品質不良	3	1.0%	3	2.9%	6	1.5%
固縛不良	0	0.0%	4	3.9%	4	1.0%
衝突	3	1.0%	0	0.0%	3	0.7%
温度・湿度変化	1	0.3%	1	1.0%	2	0.5%
保管不良	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
該当無し	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
船舶・車両・付属機器不良	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
税関検査	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
地震	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
総計	307	100.0%	103	100.0%	410	100.0%

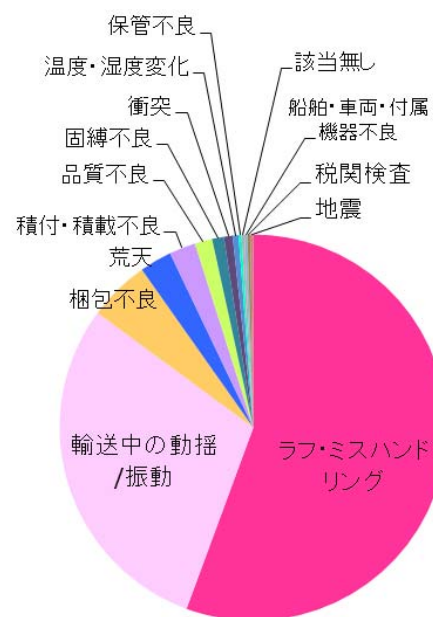


表 124：産業機械類の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

図 121：産業機械類の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	184	59.9%	62	60.2%	246	60.0%
滅却・廃棄	116	37.8%	32	31.1%	148	36.1%
手直し	3	1.0%	4	3.9%	7	1.7%
積戻し	2	0.7%	2	1.9%	4	1.0%
転売	1	0.3%	2	1.9%	3	0.7%
該当無し	0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
No Claim	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
総計	307	100.0%	103	100.0%	410	100.0%

表 125：産業機械類の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

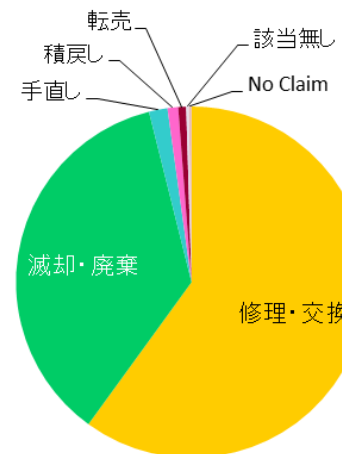


図 122：産業機械類の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

②錆損

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	14	73.7%	4	80.0%	18	75.0%
積地保管中	3	15.8%	0	0.0%	3	12.5%
揚地保管中	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
積込作業中	0	0.0%	1	20.0%	1	4.2%
中継地保管中	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

表 126：産業機械類の事故発生場所（錆損）

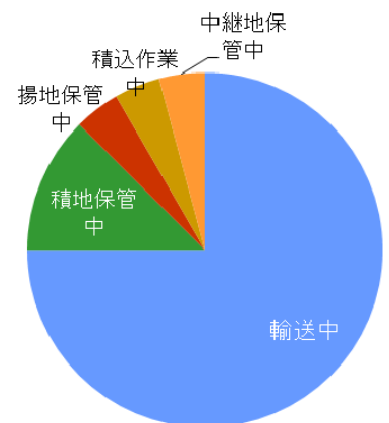


図 123：産業機械類の事故発生場所（錆損）

事故原因

事故原因	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	4	21.1%	1	20.0%	5	20.8%
温度・湿度変化	3	15.8%	2	40.0%	5	20.8%
梱包不良	5	26.3%	0	0.0%	5	20.8%
保管不良	2	10.5%	0	0.0%	2	8.3%
税関検査	2	10.5%	0	0.0%	2	8.3%
品質不良	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
地震	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
コンテナ不良	0	0.0%	1	20.0%	1	4.2%
冠水	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
積付・積載不良	0	0.0%	1	20.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

表 127：産業機械類の事故原因（錆損）

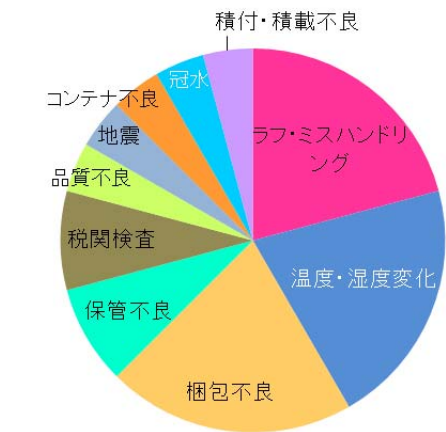


図 124：産業機械類の事故原因（錆損）

損害処理方法

損害処理方法	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	12	63.2%	2	40.0%	14	58.3%
滅却・廃棄	6	31.6%	1	20.0%	7	29.2%
手直し	0	0.0%	2	40.0%	2	8.3%
転売	1	5.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	19	100.0%	5	100.0%	24	100.0%

表 128：産業機械類の損害処理方法（錆損）

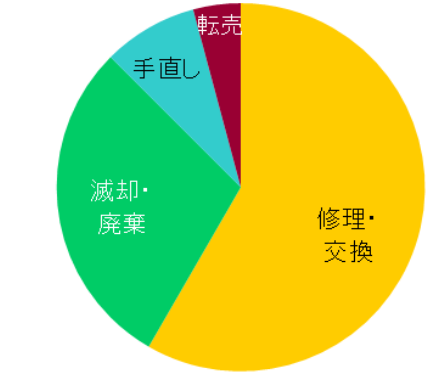


図 125：産業機械類の損害処理方法（錆損）

③清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	15	83.3%	2	40.0%	17	73.9%
中継地保管中	0	0.0%	2	40.0%	2	8.7%
積地保管中	1	5.6%	0	0.0%	1	4.3%
バンニング作業中	1	5.6%	0	0.0%	1	4.3%
デバンニング中	1	5.6%	0	0.0%	1	4.3%
積込作業中	0	0.0%	1	20.0%	1	4.3%
総計	18	100.0%	5	100.0%	23	100.0%

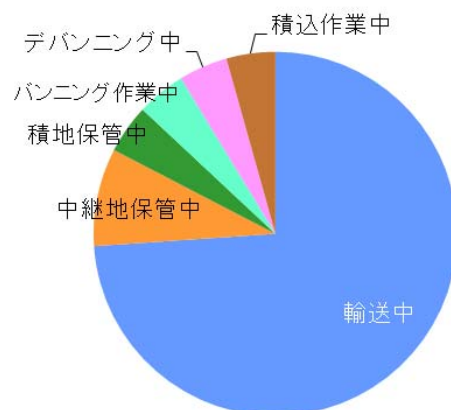


表 129: 産業機械類の事故発生場所 (清水濡れ)

図 126: 産業機械類の事故発生場所 (清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	7	38.9%	2	40.0%	9	39.1%
梱包不良	5	27.8%	0	0.0%	5	21.7%
荒天	3	16.7%	0	0.0%	3	13.0%
冠水	2	11.1%	1	20.0%	3	13.0%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	2	40.0%	2	8.7%
船舶・車両・付属機器不良	1	5.6%	0	0.0%	1	4.3%
総計	18	100.0%	5	100.0%	23	100.0%

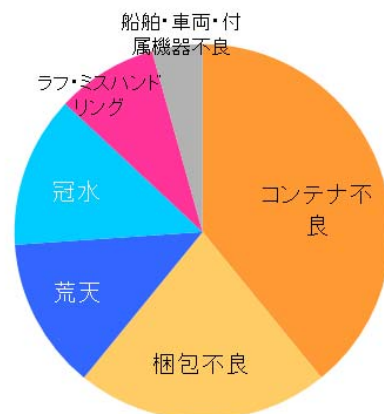


表 130: 産業機械類の事故原因 (清水濡れ)

図 127: 産業機械類の事故原因 (清水濡れ)

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	12	66.7%	3	60.0%	15	65.2%
修理・交換	4	22.2%	1	20.0%	5	21.7%
手直し	2	11.1%	1	20.0%	3	13.0%
総計	18	100.0%	5	100.0%	23	100.0%

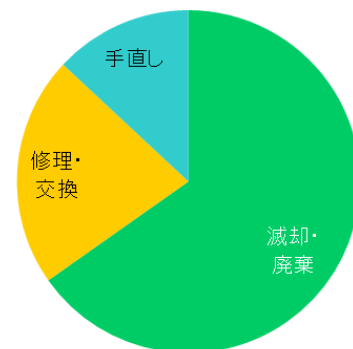


表 131: 産業機械類の損害処理方法 (清水濡れ)

図 128: 産業機械類の損害処理方法 (清水濡れ)

(14) 電子・精密機器

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	385	73.5%	118	73.8%	503	73.5%
清水濡れ	90	17.2%	29	18.1%	119	17.4%
海水濡れ	17	3.2%	0	0.0%	17	2.5%
流失・濡れ損・腐食	12	2.3%	0	0.0%	12	1.8%
抜荷・不着・欠損	4	0.8%	5	3.1%	9	1.3%
錆損	6	1.1%	3	1.9%	9	1.3%
汗濡れ	5	1.0%	2	1.3%	7	1.0%
作動不良	2	0.4%	0	0.0%	2	0.3%
凍結・解凍	0	0.0%	1	0.6%	1	0.1%
黴損	0	0.0%	1	0.6%	1	0.1%
漏損	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
汚損・汚染	0	0.0%	1	0.6%	1	0.1%
該当無し	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
着臭	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	524	100.0%	160	100.0%	684	100.0%

表 132：電子・精密機器の損害形態

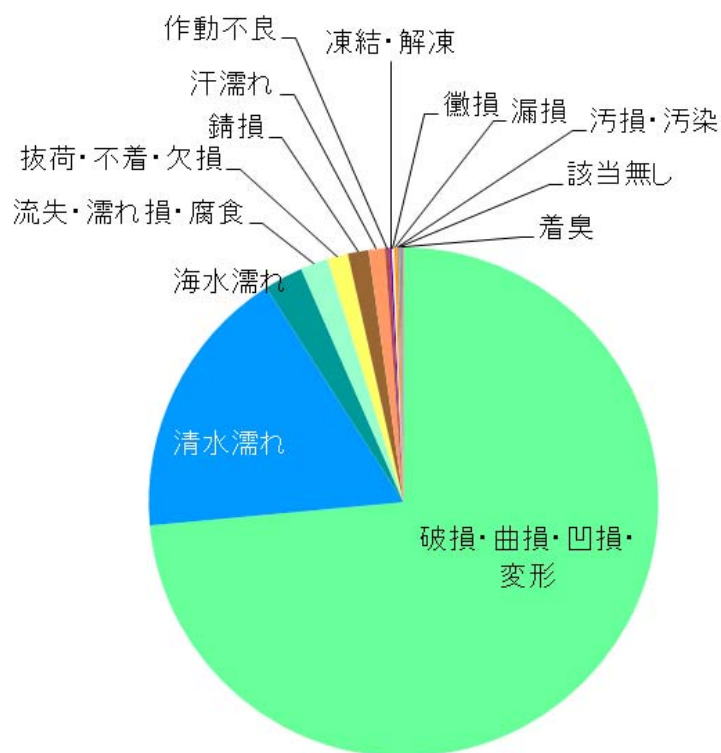


図 129：電子・精密機器の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	285	74.0%	100	84.7%	385	76.5%
バンニング作業中	44	11.4%	5	4.2%	49	9.7%
積込作業中	14	3.6%	3	2.5%	17	3.4%
デバンニング中	14	3.6%	2	1.7%	16	3.2%
積地保管中	10	2.6%	2	1.7%	12	2.4%
揚地保管中	9	2.3%	2	1.7%	11	2.2%
積替中	5	1.3%	1	0.8%	6	1.2%
荷降中	1	0.3%	2	1.7%	3	0.6%
中継地保管中	3	0.8%	0	0.0%	3	0.6%
据付中	0	0.0%	1	0.8%	1	0.2%
総計	385	100.0%	118	100.0%	503	100.0%

表 133：電子・精密機器の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

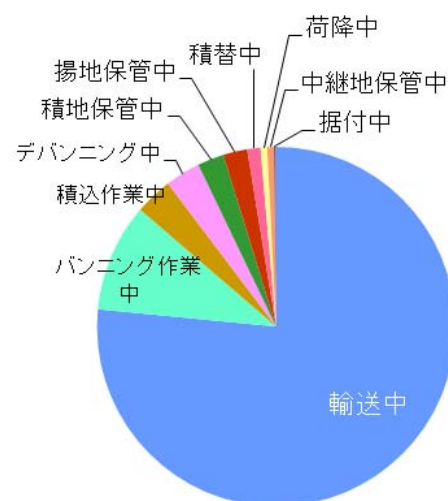


図 130：電子・精密機器の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	251	65.2%	79	66.9%	330	65.6%
輸送中の動揺/振動	97	25.2%	20	16.9%	117	23.3%
積付・積載不良	17	4.4%	5	4.2%	22	4.4%
梱包不良	3	0.8%	5	4.2%	8	1.6%
荒天	5	1.3%	2	1.7%	7	1.4%
税関検査	1	0.3%	5	4.2%	6	1.2%
地震	5	1.3%	0	0.0%	5	1.0%
衝突	3	0.8%	0	0.0%	3	0.6%
固縛不良	1	0.3%	1	0.8%	2	0.4%
保管不良	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
機器設定ミス	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
品質不良	0	0.0%	1	0.8%	1	0.2%
総計	385	100.0%	118	100.0%	503	100.0%

表 134：電子・精密機器の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

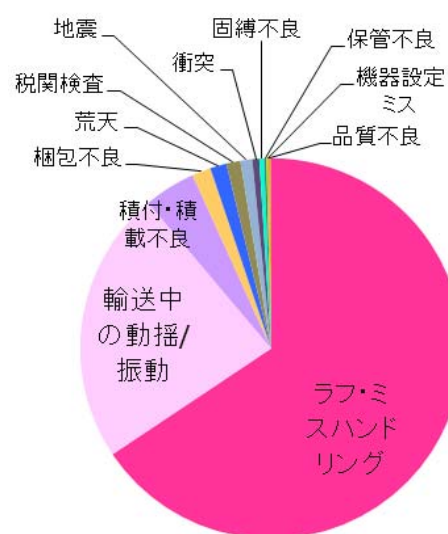


図 131：電子・精密機器の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	259	67.3%	83	70.3%	342	68.0%
修理・交換	105	27.3%	26	22.0%	131	26.0%
手直し	6	1.6%	4	3.4%	10	2.0%
No Claim	5	1.3%	0	0.0%	5	1.0%
積戻し	3	0.8%	2	1.7%	5	1.0%
転売	3	0.8%	1	0.8%	4	0.8%
格落ち	2	0.5%	1	0.8%	3	0.6%
該当無し	2	0.5%	1	0.8%	3	0.6%
総計	385	100.0%	118	100.0%	503	100.0%

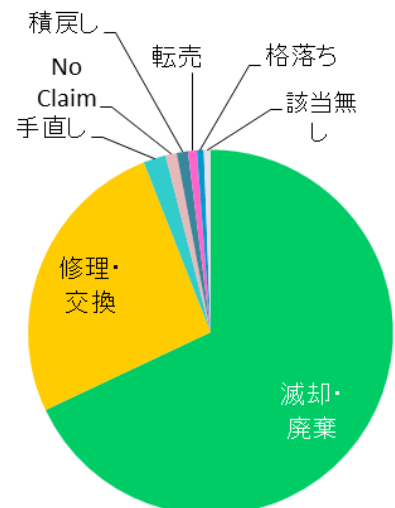


表 135: 電子・精密機器の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

図 132: 電子・精密機器の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

②清水濡れ

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	58	64.4%	20	69.0%	78	65.5%
バンニング作業中	12	13.3%	0	0.0%	12	10.1%
積込作業中	9	10.0%	2	6.9%	11	9.2%
積地保管中	7	7.8%	2	6.9%	9	7.6%
揚地保管中	2	2.2%	1	3.4%	3	2.5%
積替中	1	1.1%	1	3.4%	2	1.7%
中継地保管中	0	0.0%	1	3.4%	1	0.8%
荷降中	0	0.0%	1	3.4%	1	0.8%
デバンニング中	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%
据付中	0	0.0%	1	3.4%	1	0.8%
総計	90	100.0%	29	100.0%	119	100.0%

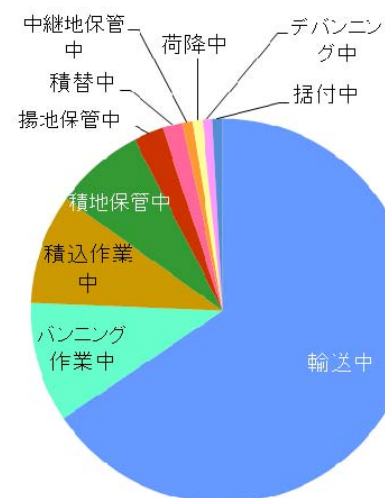


表 136: 電子・精密機器の事故発生場所 (清水濡れ)

図 133: 電子・精密機器の事故発生場所 (清水濡れ)

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	38	42.2%	9	31.0%	47	39.5%
ラフ・ミスハンドリング	31	34.4%	14	48.3%	45	37.8%
保管不良	7	7.8%	2	6.9%	9	7.6%
冠水	5	5.6%	2	6.9%	7	5.9%
荒天	4	4.4%	0	0.0%	4	3.4%
梱包不良	4	4.4%	0	0.0%	4	3.4%
積付・積載不良	1	1.1%	1	3.4%	2	1.7%
該当無し	0	0.0%	1	3.4%	1	0.8%
総計	90	100.0%	29	100.0%	119	100.0%

表 137：電子・精密機器の事故原因（清水濡れ）

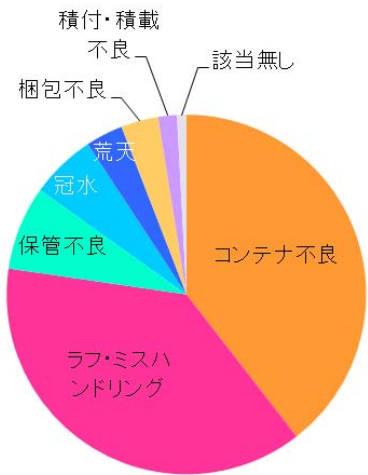


図 134：電子・精密機器の事故原因（清水濡れ）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	79	87.8%	24	82.8%	103	86.6%
修理・交換	4	4.4%	1	3.4%	5	4.2%
手直し	1	1.1%	3	10.3%	4	3.4%
積戻し	4	4.4%	0	0.0%	4	3.4%
No Claim	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%
格落ち	0	0.0%	1	3.4%	1	0.8%
転売	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%
総計	90	100.0%	29	100.0%	119	100.0%

表 138：電子・精密機器の損害処理方法（清水濡れ）

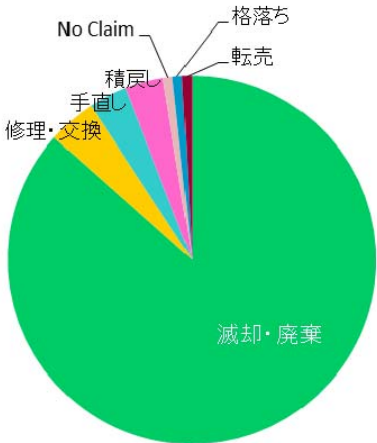


図 135：電子・精密機器の損害処理方法（清水濡れ）

(15) 施設・構造物

損害形態

損害形態	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	41	89.1%	12	70.6%	53	84.1%
清水濡れ	1	2.2%	3	17.6%	4	6.3%
錆損	2	4.3%	2	11.8%	4	6.3%
海水濡れ	2	4.3%	0	0.0%	2	3.2%
総計	46	100.0%	17	100.0%	63	100.0%

表 139：施設・構造物の損害形態

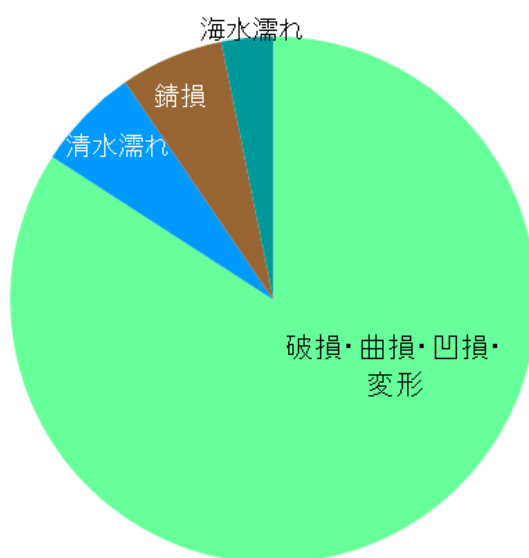


図 136：施設・構造物の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	30	73.2%	10	83.3%	40	75.5%
バンニング作業中	6	14.6%	1	8.3%	7	13.2%
荷降中	3	7.3%	0	0.0%	3	5.7%
デバンニング中	2	4.9%	0	0.0%	2	3.8%
積込作業中	0	0.0%	1	8.3%	1	1.9%
総計	41	100.0%	12	100.0%	53	100.0%

表 140：施設・構造物の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

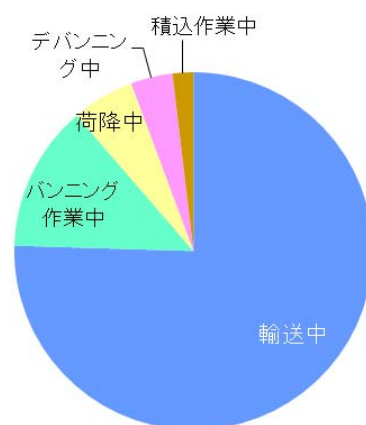


図 137：施設・構造物の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

事故原因

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	18	43.9%	5	41.7%	23	43.4%
ラフ・ミスハンドリング	16	39.0%	2	16.7%	18	34.0%
積付・積載不良	1	2.4%	3	25.0%	4	7.5%
固縛不良	2	4.9%	0	0.0%	2	3.8%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	2	16.7%	2	3.8%
荒天	2	4.9%	0	0.0%	2	3.8%
梱包不良	2	4.9%	0	0.0%	2	3.8%
総計	41	100.0%	12	100.0%	53	100.0%

表 141：施設・構造物の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

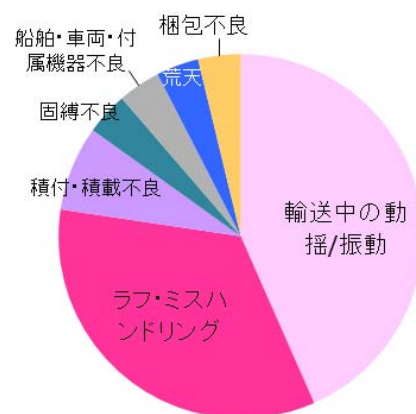


図 138：施設・構造物の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

損害処理方法

	2011～2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	31	75.6%	7	58.3%	38	71.7%
滅却・廃棄	9	22.0%	4	33.3%	13	24.5%
手直し	1	2.4%	1	8.3%	2	3.8%
総計	41	100.0%	12	100.0%	53	100.0%

表 142：施設・構造物の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

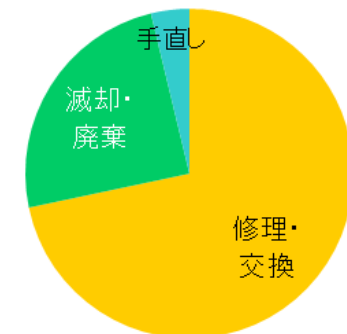


図 139：施設・構造物の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

(16) 家電製品

損害形態

損害形態	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
清水濡れ	14	40.0%	22	62.9%	36	51.4%
破損・曲損・凹損・変形	16	45.7%	8	22.9%	24	34.3%
海水濡れ	1	2.9%	3	8.6%	4	5.7%
汗濡れ	2	5.7%	2	5.7%	4	5.7%
錆損	2	5.7%	0	0.0%	2	2.9%
総計	35	100.0%	35	100.0%	70	100.0%

表 143：家電製品の損害形態

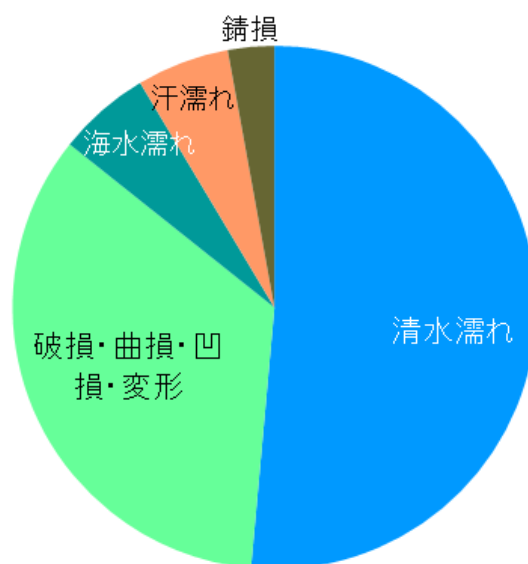


図 140：家電製品の損害形態

①清水濡れ

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	12	85.7%	20	90.9%	32	88.9%
積地保管中	1	7.1%	1	4.5%	2	5.6%
揚地保管中	1	7.1%	0	0.0%	1	2.8%
中継地保管中	0	0.0%	1	4.5%	1	2.8%
総計	14	100.0%	22	100.0%	36	100.0%

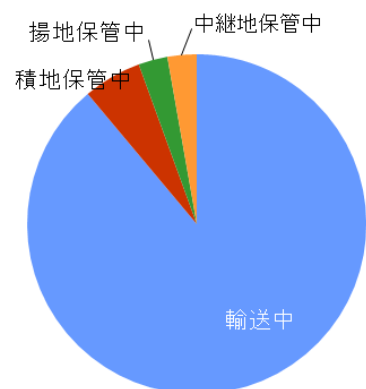


表 144: 家電製品の事故発生場所 (清水濡れ)

図 141: 家電製品の事故発生場所 (清水濡れ)

事故原因

事故原因	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	8	57.1%	9	40.9%	17	47.2%
冠水	6	42.9%	10	45.5%	16	44.4%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	1	4.5%	1	2.8%
品質不良	0	0.0%	1	4.5%	1	2.8%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	4.5%	1	2.8%
総計	14	100.0%	22	100.0%	36	100.0%

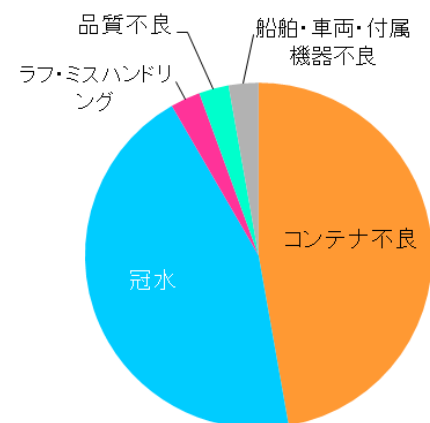


表 145: 家電製品の事故原因 (清水濡れ)

図 142: 家電製品の事故原因 (清水濡れ)

損害処理方法

損害処理方法	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	9	64.3%	19	86.4%	28	77.8%
手直し	3	21.4%	2	9.1%	5	13.9%
修理・交換	2	14.3%	1	4.5%	3	8.3%
総計	14	100.0%	22	100.0%	36	100.0%

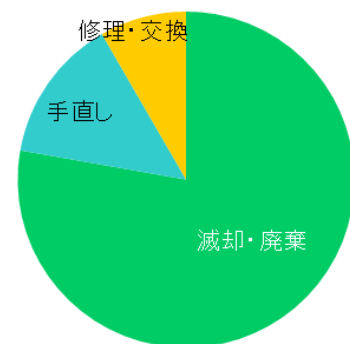


表 146: 家電製品の損害処理方法 (清水濡れ)

図 143: 家電製品の損害処理方法 (清水濡れ)

②破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	14	87.5%	6	75.0%	20	83.3%
積地保管中	1	6.3%	1	12.5%	2	8.3%
バンニング作業中	1	6.3%	0	0.0%	1	4.2%
積替中	0	0.0%	1	12.5%	1	4.2%
総計	16	100.0%	8	100.0%	24	100.0%

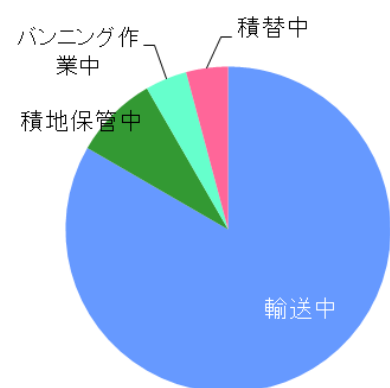


表 147: 家電製品の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

図 144: 家電製品の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中の動揺/振動	8	50.0%	4	50.0%	12	50.0%
ラフ・ミスハンドリング	5	31.3%	3	37.5%	8	33.3%
積付・積載不良	1	6.3%	1	12.5%	2	8.3%
固縛不良	1	6.3%	0	0.0%	1	4.2%
品質不良	1	6.3%	0	0.0%	1	4.2%
総計	16	100.0%	8	100.0%	24	100.0%

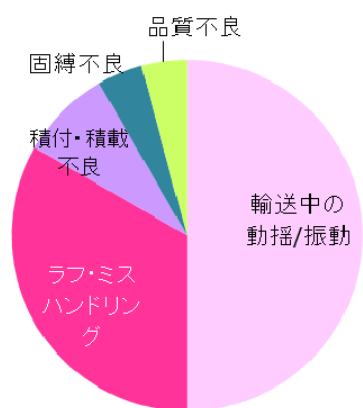


表 148: 家電製品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

図 145: 家電製品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

損害処理方法	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	12	75.0%	6	75.0%	18	75.0%
手直し	1	6.3%	2	25.0%	3	12.5%
修理・交換	3	18.8%	0	0.0%	3	12.5%
総計	16	100.0%	8	100.0%	24	100.0%

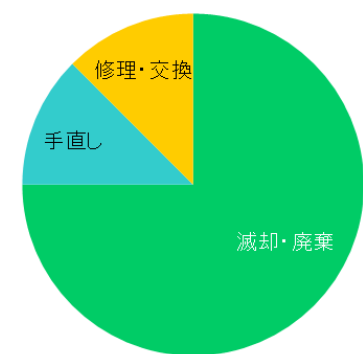


表 149: 家電製品の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

図 146: 家電製品の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

(17) 機械部品

損害形態

損害形態	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	95	62.5%	81	66.9%	176	64.5%
清水濡れ	34	22.4%	30	24.8%	64	23.4%
海水濡れ	12	7.9%	4	3.3%	16	5.9%
錆損	8	5.3%	1	0.8%	9	3.3%
抜荷・不着・欠損	3	2.0%	4	3.3%	7	2.6%
汗濡れ	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%
総計	152	100.0%	121	100.0%	273	100.0%

表 150 : 機械部品の損害形態

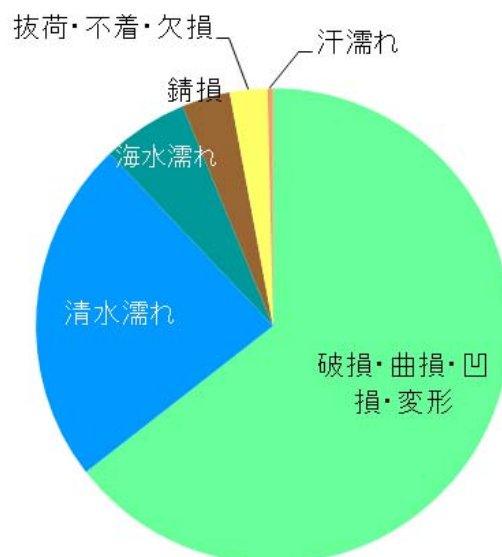


図 147 : 機械部品の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	70	73.7%	59	72.8%	129	73.3%
バンニング作業中	11	11.6%	6	7.4%	17	9.7%
積込作業中	3	3.2%	6	7.4%	9	5.1%
デバンニング中	4	4.2%	2	2.5%	6	3.4%
積地保管中	3	3.2%	3	3.7%	6	3.4%
積替中	1	1.1%	4	4.9%	5	2.8%
荷降中	3	3.2%	1	1.2%	4	2.3%
総計	95	100.0%	81	100.0%	176	100.0%

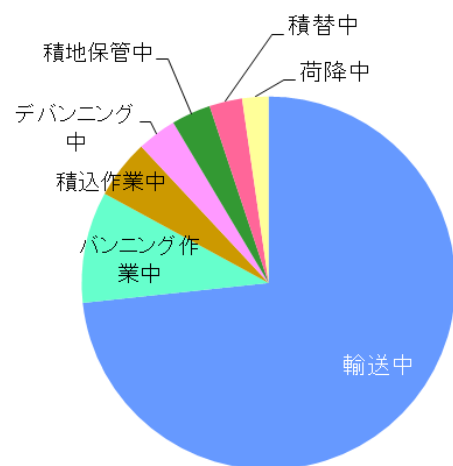


表 151: 機械部品の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

図 148: 機械部品の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	58	61.1%	55	67.9%	113	64.2%
輸送中の動揺/振動	20	21.1%	12	14.8%	32	18.2%
積付・積載不良	6	6.3%	6	7.4%	12	6.8%
梱包不良	4	4.2%	3	3.7%	7	4.0%
固縛不良	4	4.2%	0	0.0%	4	2.3%
税関検査	1	1.1%	2	2.5%	3	1.7%
荒天	1	1.1%	1	1.2%	2	1.1%
保管不良	0	0.0%	1	1.2%	1	0.6%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	1.2%	1	0.6%
品質不良	1	1.1%	0	0.0%	1	0.6%
総計	95	100.0%	81	100.0%	176	100.0%

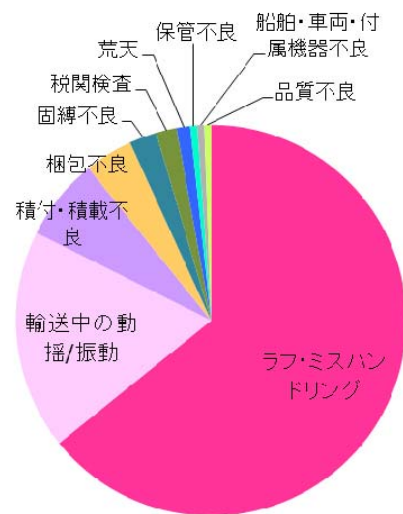


表 152: 機械部品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

図 149: 機械部品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

	2012 年度		2013 年度		総計	
損害処理方法	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	71	74.7%	65	80.2%	136	77.3%
修理・交換	11	11.6%	8	9.9%	19	10.8%
転売	11	11.6%	4	4.9%	15	8.5%
積戻し	2	2.1%	2	2.5%	4	2.3%
手直し	0	0.0%	1	1.2%	1	0.6%
該当無し	0	0.0%	1	1.2%	1	0.6%
総計	95	100.0%	81	100.0%	176	100.0%

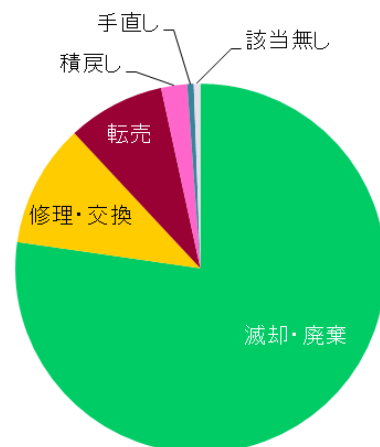


表 153: 機械部品の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

図 150: 機械部品の損害処理方法 (破損・曲損・凹損・変形)

②清水濡れ

事故発生場所

	2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	25	73.5%	27	90.0%	52	81.3%
積込作業中	3	8.8%	1	3.3%	4	6.3%
積地保管中	2	5.9%	2	6.7%	4	6.3%
積替中	2	5.9%	0	0.0%	2	3.1%
中継地保管中	2	5.9%	0	0.0%	2	3.1%
総計	34	100.0%	30	100.0%	64	100.0%

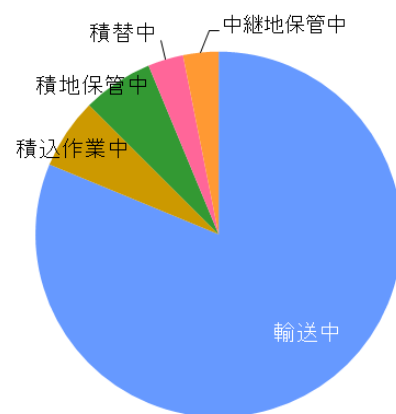


表 154: 機械部品の事故発生場所 (清水濡れ)

図 151: 機械部品の事故発生場所 (清水濡れ)

事故原因

	2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンテナ不良	15	44.1%	22	73.3%	37	57.8%
ラフ・ミスハンドリング	11	32.4%	4	13.3%	15	23.4%
冠水	2	5.9%	3	10.0%	5	7.8%
該当無し	3	8.8%	0	0.0%	3	4.7%
税関検査	2	5.9%	0	0.0%	2	3.1%
輸送中の動揺/振動	1	2.9%	0	0.0%	1	1.6%
船舶・車両・付属機器不良	0	0.0%	1	3.3%	1	1.6%
総計	34	100.0%	30	100.0%	64	100.0%

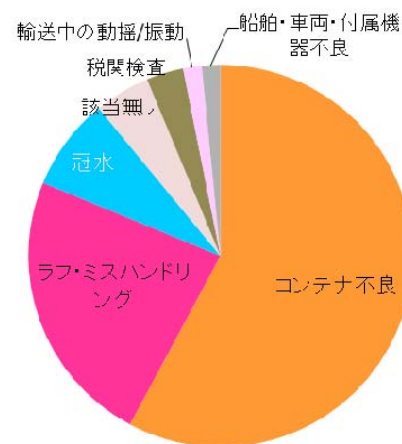


表 155: 機械部品の事故原因 (清水濡れ)

図 152: 機械部品の事故原因 (清水濡れ)

損害処理方法

損害処理方法	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	28	82.4%	23	76.7%	51	79.7%
転売	4	11.8%	2	6.7%	6	9.4%
格落ち	1	2.9%	3	10.0%	4	6.3%
手直し	1	2.9%	2	6.7%	3	4.7%
総計	34	100.0%	30	100.0%	64	100.0%

表 156：機械部品の損害処理方法（清水濡れ）

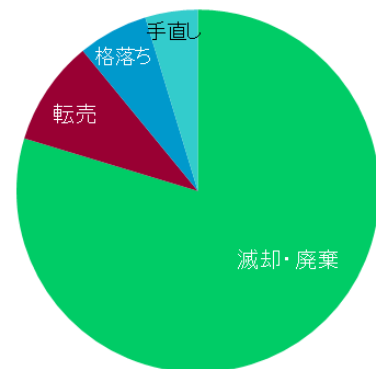


図 153：機械部品の損害処理方法（清水濡れ）

(18) 原料・素材

損害形態

損害形態	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	4	40.0%	1	14.3%	5	29.4%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	3	42.9%	3	17.6%
黴損	1	10.0%	2	28.6%	3	17.6%
該当無し	2	20.0%	0	0.0%	2	11.8%
清水濡れ	1	10.0%	0	0.0%	1	5.9%
汗濡れ	1	10.0%	0	0.0%	1	5.9%
抜荷・不着・欠損	1	10.0%	0	0.0%	1	5.9%
凍結・解凍	0	0.0%	1	14.3%	1	5.9%
総計	10	100.0%	7	100.0%	17	100.0%

表 157：原料・素材の損害形態

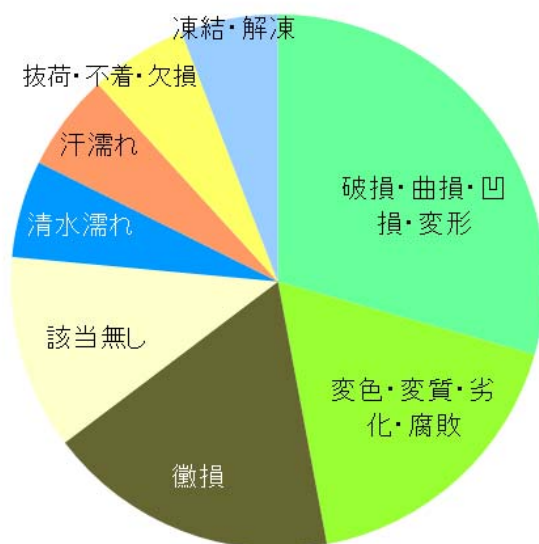


図 154：原料・素材の損害形態

①破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	3	75.0%	1	100.0%	4	80.0%
荷降中	1	25.0%	0	0.0%	1	20.0%
総計	4	100.0%	1	100.0%	5	100.0%

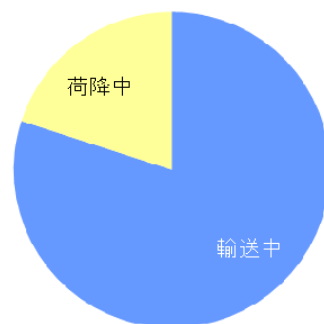


表 158：原料・素材の事故発生場所（破損・曲損・凹損・変形）

図 155:原料・素材の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	3	75.0%	0	0.0%	3	60.0%
輸送中の動揺/振動	1	25.0%	1	100.0%	2	40.0%
総計	4	100.0%	1	100.0%	5	100.0%

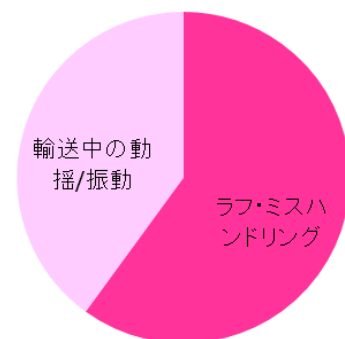


表 159：原料・素材の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

図 156:原料・素材の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損害処理方法

損害処理方法	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	4	100.0%	1	100.0%	5	100.0%
総計	4	100.0%	1	100.0%	5	100.0%

表 160：原料素材の損害処理方法（破損・曲損・凹損・変形）

Ⅱ 国内輸送貨物における貨物種類別の事故状況

損害形態

損害形態	2010~2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	4149	77.5%	1160	76.4%	5309	77.2%
濡損	403	7.5%	131	8.6%	534	7.8%
汚損・汚染	151	2.8%	41	2.7%	192	2.8%
変色・変質・劣化・腐敗	124	2.3%	56	3.7%	180	2.6%
盗難	111	2.1%	42	2.8%	153	2.2%
凍結・解凍	122	2.3%	26	1.7%	148	2.2%
焼損	101	1.9%	26	1.7%	127	1.8%
紛失	65	1.2%	11	0.7%	76	1.1%
漏損	56	1.0%	7	0.5%	63	0.9%
着臭	20	0.4%	11	0.7%	31	0.5%
錆損	18	0.3%	5	0.3%	23	0.3%
作動不良	16	0.3%	0	0.0%	16	0.2%
該当無し	4	0.1%	2	0.1%	6	0.1%
カビ損	5	0.1%	0	0.0%	5	0.1%
斃死	12	0.2%	0	0.0%	12	0.2%
総計	5357	100.0%	1518	100.0%	6875	100.0%

表 1：国内輸送貨物の損害形態

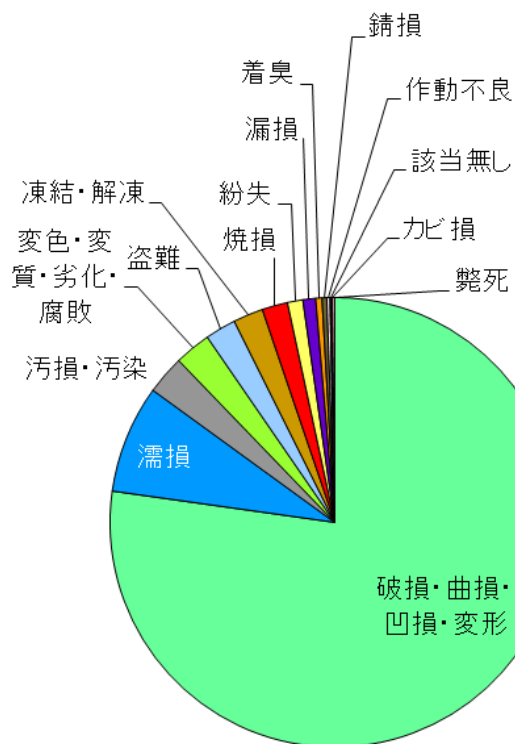


図 1：国内輸送貨物の損害形態

(1) 食品 (野菜・青果物以外)

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	409	56.3%	105	52.5%	514	55.4%
凍結・解凍	105	14.4%	22	11.0%	127	13.7%
変色・変質・劣化・腐敗	64	8.8%	37	18.5%	101	10.9%
濡損	56	7.7%	10	5.0%	66	7.1%
汚損・汚染	40	5.5%	16	8.0%	56	6.0%
焼損	10	1.4%	6	3.0%	16	1.7%
着臭	13	1.8%	2	1.0%	15	1.6%
斃死	12	1.7%	0	0.0%	12	1.3%
漏損	9	1.2%	2	1.0%	11	1.2%
盗難	3	0.4%	0	0.0%	3	0.3%
錆損	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
紛失	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
該当無し	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
総計	727	100.0%	200	100.0%	927	100.0%

表 2：食品の損害形態

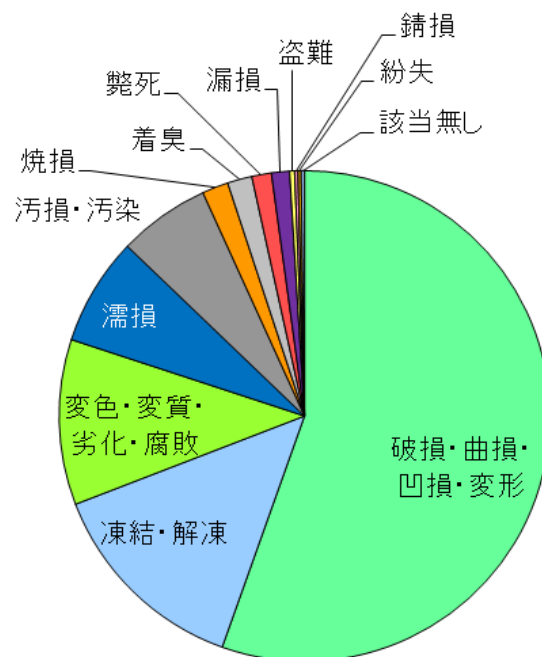


図 2：食品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	221	87.5%	93	88.6%	451	87.7%
荷降中	17	4.2%	1	1.0%	18	3.5%
保管中	11	2.7%	2	1.9%	13	2.5%
積替中	10	2.4%	3	2.9%	13	2.5%
積込中	9	2.2%	5	4.8%	14	2.7%
作業中	3	0.7%	1	1.0%	4	0.8%
駐車中	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
総計	409	100.0%	105	100.0%	514	100.0%

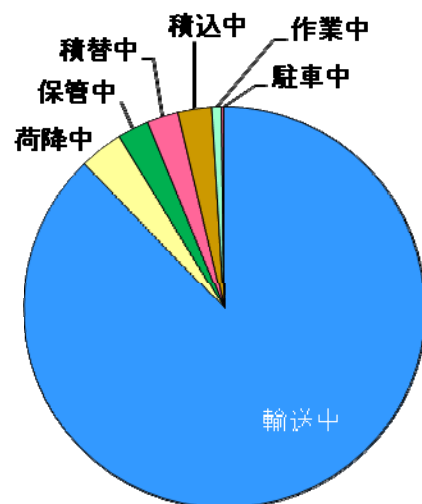


表 3：食品の事故発生場所（破損）

図 3：食品の事故発生場所（破損）

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	209	51.1%	78	74.3%	287	55.8%
接触・交通事故	100	24.4%	6	5.7%	106	20.6%
積付・積載・固縛不良	54	13.2%	7	6.7%	61	11.9%
ラフ・ミスハンドリン	36	8.8%	10	9.5%	46	8.9%
車両・付属機器不良	6	1.5%	1	1.0%	7	1.4%
保管不良	3	0.7%	1	1.0%	4	0.8%
台風・集中豪雨	0	0.0%	2	1.9%	2	0.4%
地震	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
総計	409	100.0%	105	100.0%	514	100.0%

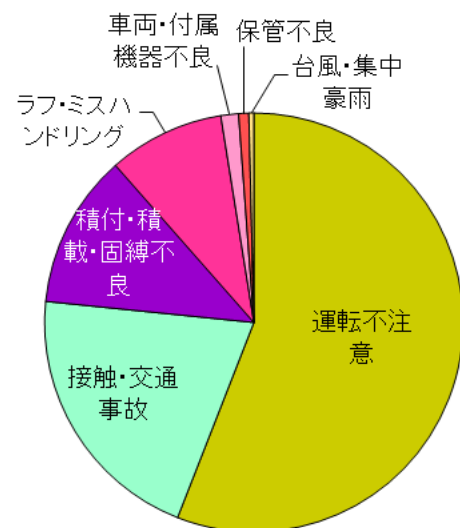


表 4：食品の事故原因（破損）

図 4：食品の事故原因（破損）

②凍結・解凍

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	90	85.7%	19	86.4%	109	85.8%
保管中	11	10.5%	3	13.6%	14	11.0%
荷降中	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
積込中	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
駐車中	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
該当無し	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
総計	105	100.0%	22	100.0%	127	100.0%

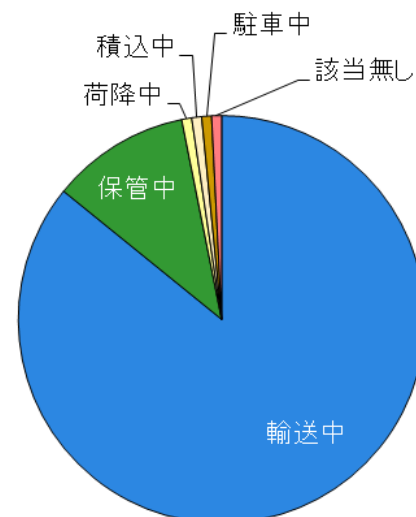


表 5：食品の事故発生場所（凍結・解凍）

図 5：食品の事故発生場所
（凍結・解凍）

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
車両・付属機器不良	71	67.6%	19	86.4%	90	70.9%
接触・交通事故	13	12.4%	0	.0%	13	10.2%
運転不注意	9	8.6%	2	9.1%	11	8.7%
保管不良	4	3.8%	1	4.5%	5	3.9%
ラフ・ミスハンドリング	3	2.9%	0	0.0%	3	2.4%
落雷	2	1.9%	0	0.0%	2	1.6%
積付・積載・固縛不良	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
荒天	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
台風・集中豪雨	1	1.0%	0	0.0%	1	0.8%
総計	105	100.0%	22	100.0%	127	100.0%

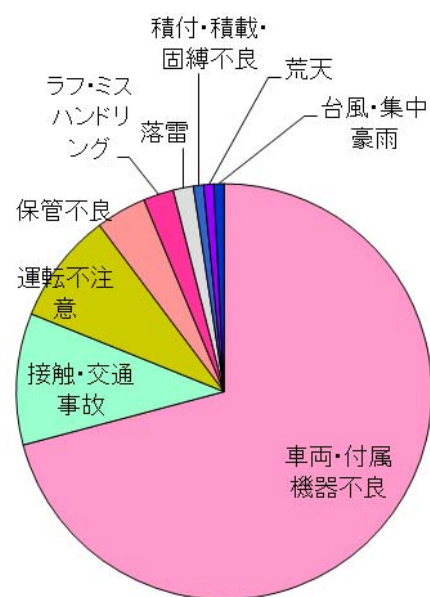


表 6：食品の事故原因（凍結・解凍）

図 6：食品の事故原因（凍結・解凍）

③変色・変質・劣化・腐敗

事故発生場所

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	50	78.1%	28	75.7%	78	77.2%
保管中	11	17.2%	9	24.3%	20	19.8%
積込中	2	3.1%	0	0.0%	2	2.0%
荷降中	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
総計	64	100.0%	37	100.0%	101	100.0%

表 7：食品の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

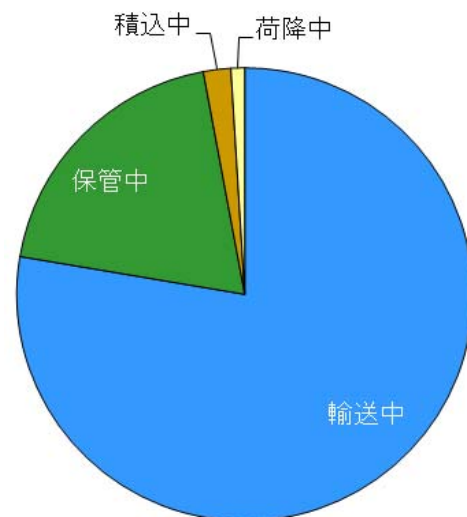


図 7：食品の事故発生場所
(変色・変質・劣化・腐敗)

事故原因

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
車両・付属機器不良	29	45.3%	18	48.6%	47	46.5%
運転不注意	12	18.8%	10	27.0%	22	21.8%
保管不良	9	14.1%	8	21.6%	17	16.8%
接触・交通事故	7	10.9%	0	0.0%	7	6.9%
ラフ・ミスハンドリング	2	3.1%	0	0.0%	2	2.0%
品質不良	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
地震	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
落雷	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
台風・集中豪雨	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
雪害	0	0.0%	1	2.7%	1	1.0%
火災	1	1.6%	0	0.0%	1	1.0%
総計	64	100.0%	37	100.0%	101	100.0%

表 8：食品の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

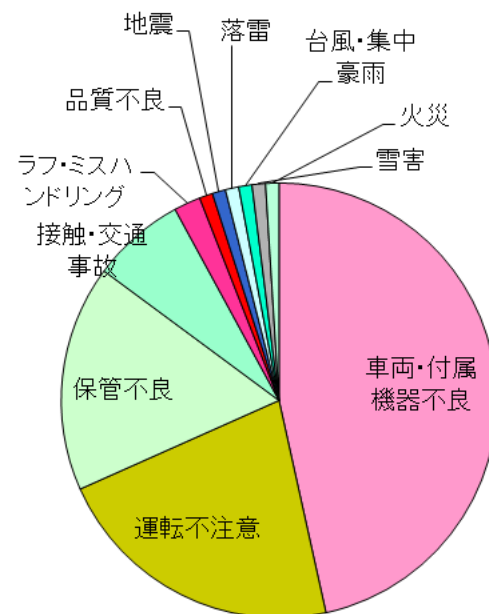


図 8：食品の事故原因
(変色・変質・劣化・腐敗)

④濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	26	46.4%	5	50.0%	31	47.0%
保管中	22	39.3%	5	50.0%	27	40.9%
荷降中	3	5.4%	0	0.0%	3	4.5%
積込中	3	5.4%	0	0.0%	3	4.5%
積替中	2	3.6%	0	0.0%	2	3.0%
総計	56	100.0%	10	100.0%	66	100.0%

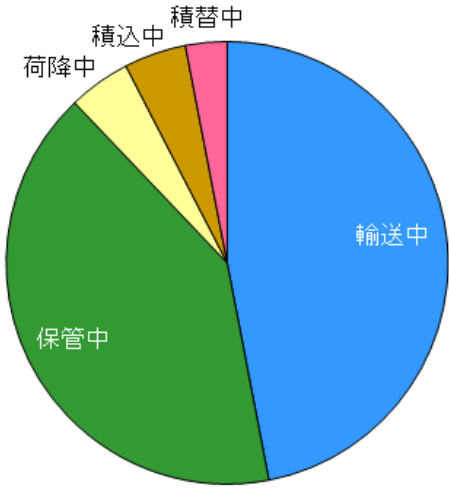


表 9：食品の事故発生場所(濡損)

図 9：食品の事故発生場所(濡損)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	15	26.8%	2	20.0%	17	25.8%
車両・付属機器不良	11	19.6%	1	10.0%	12	18.2%
運転不注意	8	14.3%	0	0.0%	8	12.1%
保管不良	5	8.9%	2	20.0%	7	10.6%
ラフ・ミスハンドリング	5	8.9%	1	10.0%	6	9.1%
荒天	5	8.9%	0	0.0%	5	7.6%
シート不良	3	5.4%	1	10.0%	4	6.1%
該当無し	3	5.4%	0	0.0%	3	4.5%
積付・積載・固縛不良	1	1.8%	1	10.0%	2	3.0%
雪害	0	0.0%	2	20.0%	2	3.0%
総計	56	100.0%	10	100.0%	66	100.0%

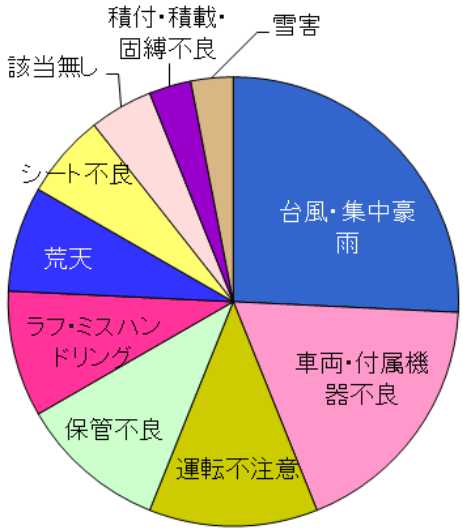


表 10：食品の事故原因(濡損)

図 10：食品の事故原因(濡損)

(2) 野菜・青果物

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	32	50.8%	11	57.9%	43	52.4%
変色・変質・劣化・腐敗	15	23.8%	4	21.1%	19	23.2%
凍結・解凍	7	11.1%	3	15.8%	10	12.2%
焼損	7	11.1%	0	0.0%	7	8.5%
汚損・汚染	1	1.6%	1	5.3%	2	2.4%
濡損	1	1.6%	0	0.0%	1	1.2%
総計	63	100.0%	19	100.0%	82	100.0%

表 11：野菜・青果物の損害形態

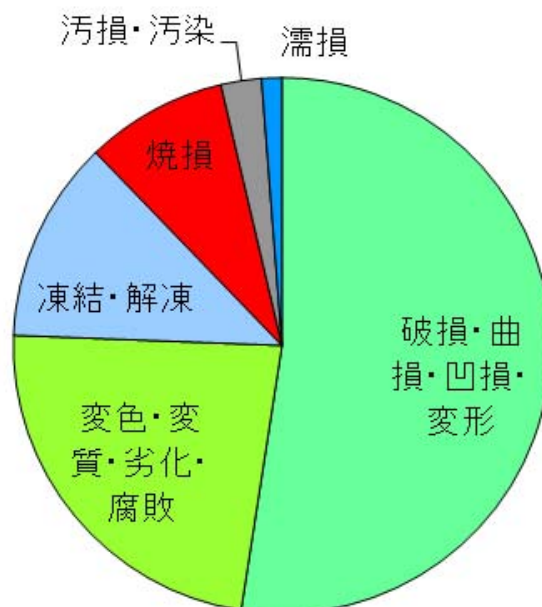


図 11：野菜・青果物の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	28	87.5%	7	63.6	35	81.4%
荷降中	2	6.3%	2	18.2%	4	9.3%
積替中	1	3.1%	1	9.1%	2	4.7%
積込中	1	3.1%	1	9.1%	2	4.7%
総計	32	100.0%	11	100.0	43	100.0%

表 12：野菜・青果物の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

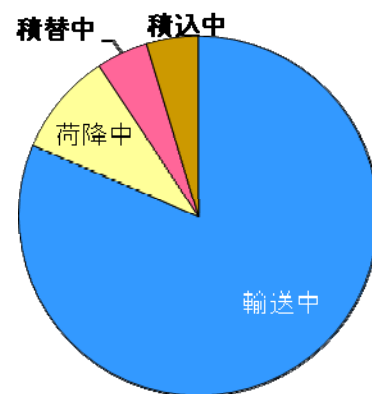


図 12：野菜・青果物の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	22	68.8%	6	54.5%	28	65.1%
接触・交通事故	7	21.9%	1	9.1%	8	18.6%
ラフ・ミスハンドリング	1	3.1%	4	36.4%	5	11.6%
車両・付属機器不良	1	3.1%	0	0.0%	1	2.3%
火災	1	3.1%	0	0.0%	1	2.3%
総計	32	100.0%	11	100.0%	43	100.0%

表 13：野菜・青果物の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

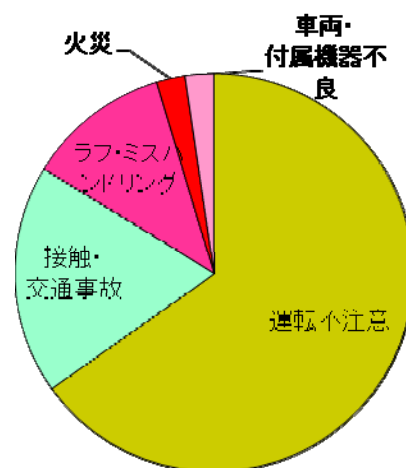


図 13：野菜・青果物の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	24	75.0%	0	90.9%	34	79.1%
転売	6	18.8%	0	0.0%	6	14.0%
格落ち	1	3.1%	1	9.1%	2	4.7%
手直し	1	3.1%	0	0.0%	1	2.3%
総計	32	100.0%	11	100.0%	43	100.0%

表 14：野菜・青果物の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

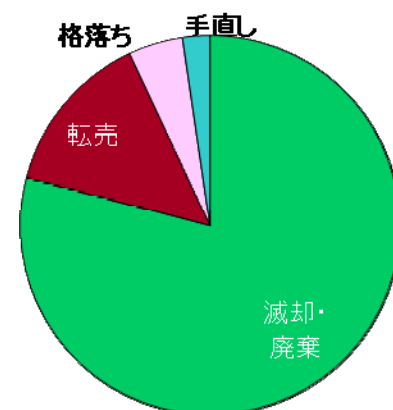


図 14：野菜・青果物の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

②変色・変質・劣化・腐敗

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	11	73.3%	4	100.0%	15	78.9%
保管中	3	20.0%	0	0.0%	3	5.8%
作業中	1	6.7%	0	0.0%	1	5.3%
総計	15	100.0%	4	100.0%	19	100.0%

表 15：野菜・青果物の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

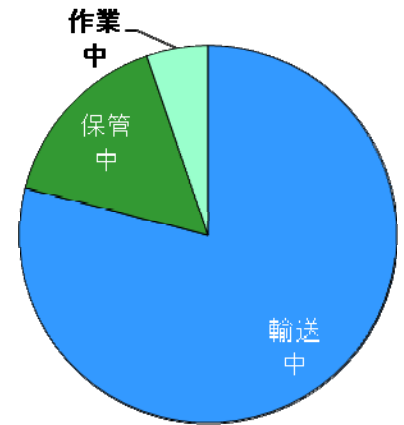


図 15：野菜・青果物の事故発生場所(変色・変質・劣化・腐敗)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
車両・付属機器不良	5	33.3%	2	50.0%	7	36.8%
接触・交通事故	3	20.0%	0	0.0%	3	15.8%
運転不注意	2	13.3%	1	25.0%	3	15.8%
保管不良	1	6.7%	1	25.0%	2	10.5%
台風・集中豪雨	1	6.7%	0	0.0%	1	5.3%
積付・積載・固縛不良	1	6.7%	0	0.0%	1	5.3%
ラフ・スハンドリング	1	6.7%	0	0.0%	1	5.3%
該当無し	1	6.7%	0	0.0%	1	5.3%
総計	15	100.0%	4	100.0%	19	100.0%

表 16：野菜・青果物の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

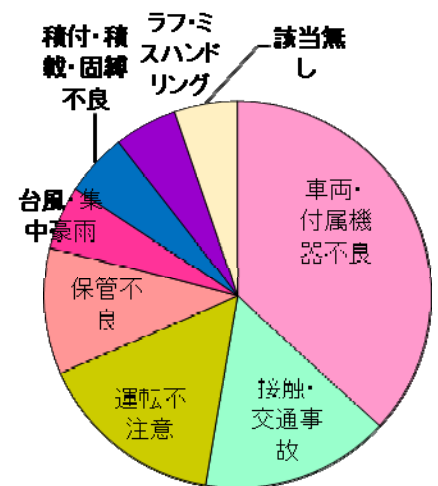


図 16：野菜・青果物の事故原因(変色・変質・劣化・腐敗)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	12	80. %	3	75.0%	15	78.9%
格落ち	3	20.0%	1	25.0%	4	21.1%
総計	15	100.0%	4	100.0%	19	100.0%

表 17：野菜・青果物の損品処理(変色・変質・劣化・腐敗)

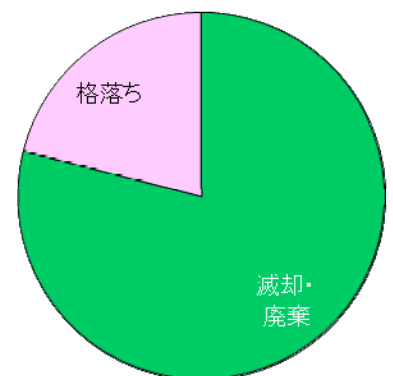


図 17：野菜・青果物の損品処理(変色・変質・劣化・腐敗)

(3) 穀物・肥料・飼料

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割	件数	割合
濡損	38	55.1	7	53.8%	45	54.9%
汚損・汚染	17	24.6%	2	15.4%	19	23.2%
破損・曲損・凹損・変形	3	4.3%	3	23.1%	6	7.3%
変色・変質・劣・腐敗	3	4.3%	0	0.0%	3	3.7%
焼損	3	4.3%	0	0.0%	3	3.7%
着臭	2	2.9%	1	7.7%	3	3.7%
漏損	2	2.9%	0	0.0%	2	2.4%
カビ損	1	1.4%	0	0.0%	1	1.2%
総計	69	100.0%	13	100.0%	82	100.0

表 18：穀物・肥料・飼料の損害形態

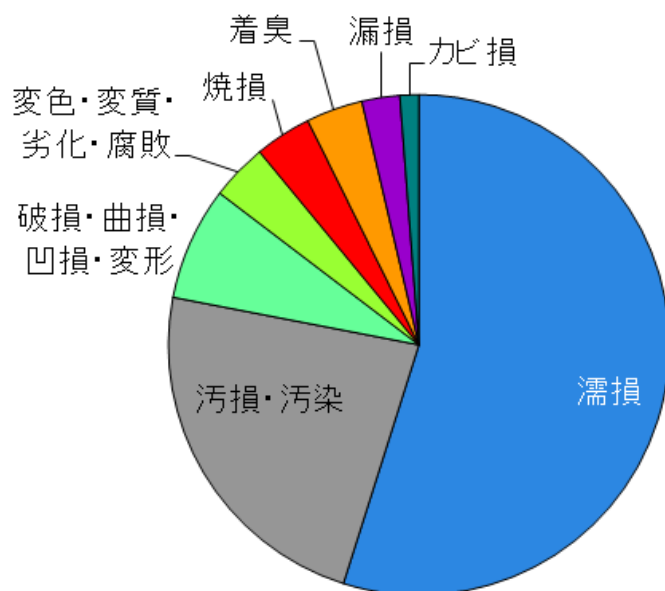


図 18：穀物・肥料・飼料の損害形態

①濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	23	60.5%	4	57.1%	27	60.0%
保管中	8	21.1%	2	28.6%	10	22.2%
積込中	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
荷降中	2	5.3%	1	1.3%	3	6.7%
積替中	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
該当無し	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

表 19：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(濡損)

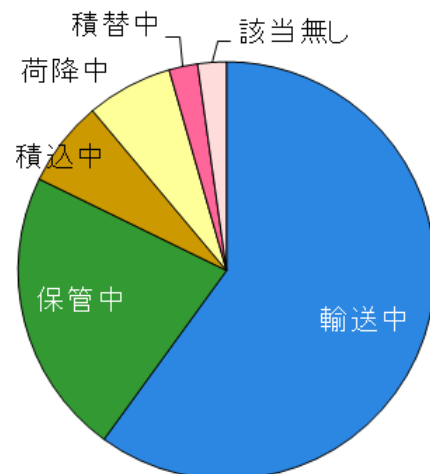


図 19：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(濡損)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	9	23.7%	3	42.9%	12	26.7%
シート不良	9	23.7%	2	28.6%	11	24.4%
ラフ・ミスハンドリング	5	13.2%	1	4.3%	6	13.3%
運転不注意	5	13.2%	0	0.0%	5	11.1%
荒天	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
保管不良	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
車両・付属機器不良	2	5.3%	1	14.3%	3	6.7%
地震	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
積付・積載・固縛不良	1	2.6%	0	0.0%	1	2.2%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

表 20：穀物・肥料・飼料の事故原因場所(濡損)

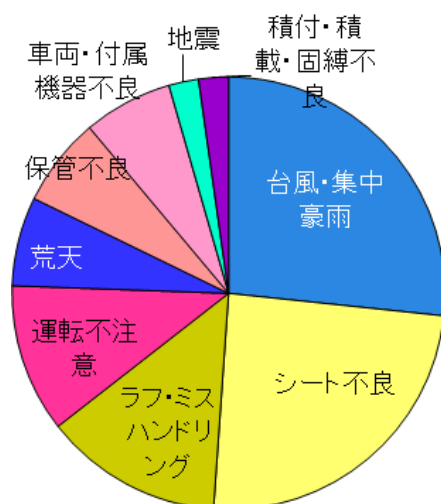


図 20：穀物・肥料・飼料の事故原因(濡損)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	25	65.8%	4	57.1%	29	64.4%
転売	7	8.4%	2	28.6%	9	20.0%
格落ち	3	7.9%	1	14.3%	4	8.9%
手直し	3	7.9%	0	0.0%	3	6.7%
総計	38	100.0%	7	100.0%	45	100.0%

表 21：穀物・肥料・飼料の損品処理(濡損)

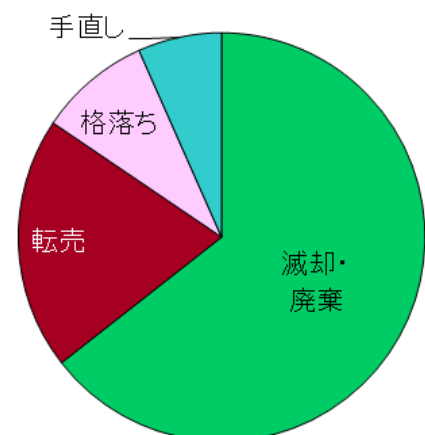


図 21：穀物・肥料・飼料の損品処理(濡損)

②汚損・汚染

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	10	58.8%	1	50.0%	11	57.9%
荷降中	4	23.5%	0	0.0%	4	21.1%
保管中	3	17.6%	1	50.0%	4	21.1%
総計	17	100.0%	2	100.0%	19	100.0%

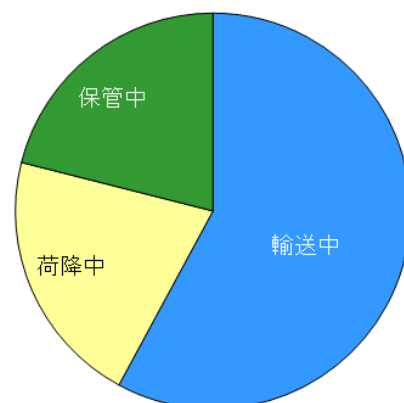


表 22：穀物・肥料・飼料の事故発生場所(汚損・汚染)

図 22：穀物・肥料・飼料の事故発生場所
(汚損・汚染)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	5	29.4%	1	0.0%	6	31.6%
ラフ・ミスハンドリング	3	17.6%	0	0.0%	3	15.8%
保管不良	2	11.8%	1	50.0%	3	15.8%
車両・付属 器不良	2	11.8%	0	0.0%	2	10.5%
シート不良	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
接触・交通事故	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
火災	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
台風・集中豪雨	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
積 ・ 積載・固縛不良	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
総計	17	100.0%	2	100.0%	19	100.0%

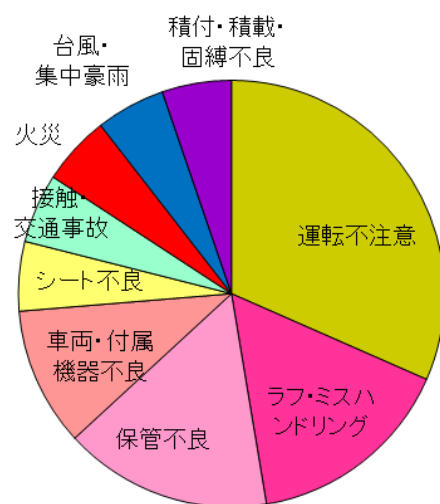


表 23：穀物・肥料・飼料の事故原因(汚損・汚染)

図 23：穀物・肥料・飼料の事故原因
(汚損・汚染)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	2	70.6%	1	50.0	13	68.4%
転売	3	17.6%	1	50.0%	4	21.1%
格落ち	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
手直し	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%
総計	17	100.0%	2	100.0%	19	100.0%

表 24：穀物・肥料・飼料の損品処理(汚損・汚染)

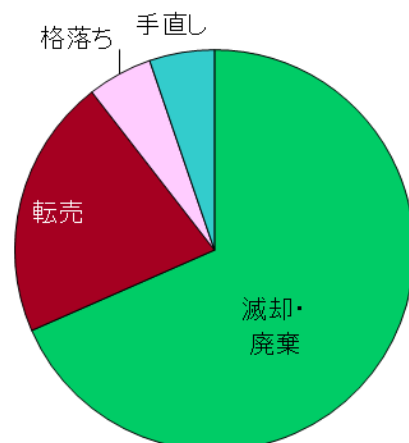


図 24：穀物・肥料・飼料の損品処理
(汚損・汚染)

(4) 紙・パルプ・古紙

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損凹損・変形	140	65.7%	42	59.2%	182	64.1%
濡	46	21.6%	24	33.8%	70	24.6%
漏損	12	5.6%	0	0.0%	12	4.2%
焼損	7	3.3%	0	0.0%	7	2.5%
汚損・汚染	4	1.9%	2	2.8%	6	2.1%
着臭	3	1.4%	3	4.2%	6	2.1%
変色・変質・劣化・敗	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	213	100.0%	71	100.0%	284	100.0%

表 25：紙・パルプ・古紙の損害形態

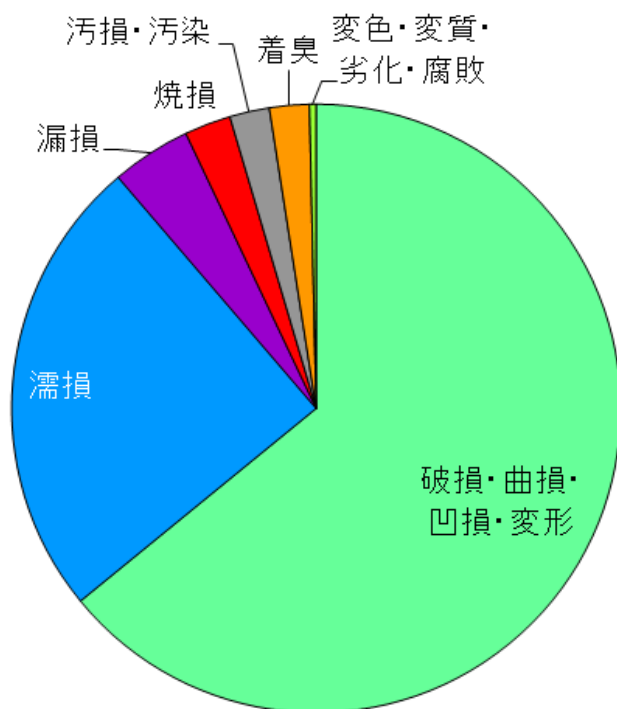


図 25：紙・パルプ・古紙の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件	割合	件数	割合
輸送中	116	82.9%	32	76.2%	148	81.3%
荷降中	15	10.7%	4	9.5%	19	10.4%
積替中	4	2.9%	3	7.1%	7	3.8%
積込中	3	2.1%	2	4.8%	5	2.7%
作業中	1	0.7%	1	2.4	2	1.1%
保管中	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	140	100.0%	42	100.0%	182	100.0%

表 26：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

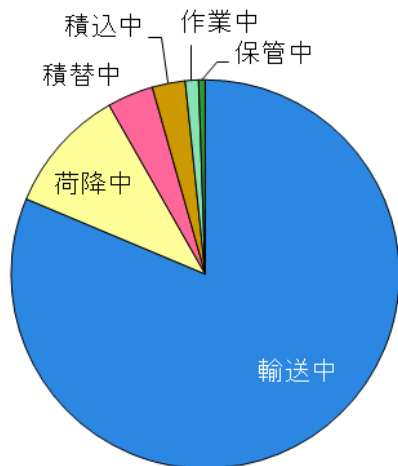


図 26：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	67	47.9%	21	50.0%	88	48.4%
ラフ・ミスハンドリング	24	17.1%	12	28.6%	36	19.8%
積付・積載・固縛不良	28	20.0%	7	16.7%	35	19.2%
接触・交通事故	11	7.9%	2	4.8%	13	7.1%
荒天	6	4.3%	0	0.0%	6	3.3%
シート不良	2	1.4%	0	0.0%	2	1.1%
車両・付属機器不良	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
保管不良	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	140	100.0%	42	100.0%	182	100.0%

表 27：紙・パルプ・古紙の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

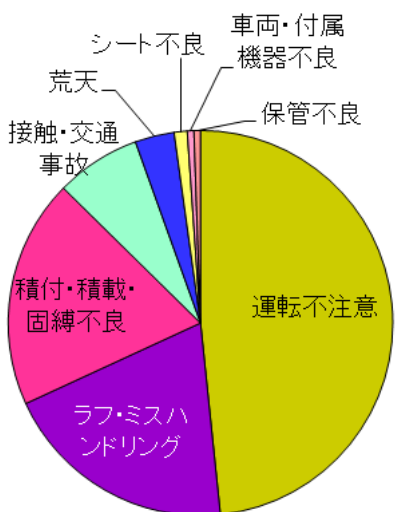


図 27：紙・パルプ・古紙の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	72	51.4%	20	47.6%	92	50.5%
転売	34	24.3%	8	19.0%	42	23.1%
手直し	15	10.7%	4	9.5%	19	10.4%
格落ち	12	8.6%	8	19.0%	20	11.0%
修理・交換	4	2.9%	2	4.8%	6	3.3%
該当無	3	2.1%	0	0.0%	3	1.6%
総計	140	100.0%	42	100.0%	182	100.0%

表 28：紙・パルプ・古紙の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

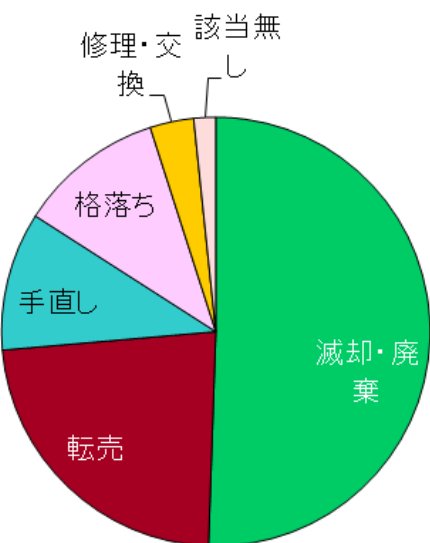


図 28：紙・パルプ・古紙の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

① 濡損

事故発生場所

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	20	43.5%	15	62.5%	35	50.0%
輸送中	17	37.0%	4	16.7%	21	30.0%
積 中	5	10.9%	2	8.3%	7	10.0%
荷降中	3	6.5%	3	12.5%	6	8.6%
積替中	1	2.2%	0	0.0%	1	1.4%
総計	46	100.0%	24	100.0%	70	100.0%

表 29：紙・パルプ・古紙の事故発生場所(濡損)

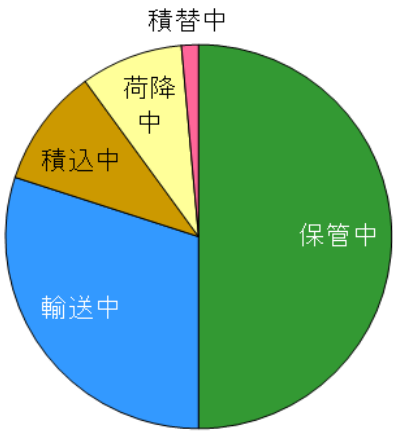


図 29：紙・パルプ・古紙の事故発生場所（濡損）

事故原因

	2010～2012 年		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	16	34.8%	13	54.2%	29	41. %
シート不良	13	28.3%	3	12.5%	16	22.9%
保管不良	7	15.2%	1	4.2%	8	11.4%
車両・付属機器不良	3	6.5%	1	4.2%	4	5.7%
荒天	3	6.5%	0	0.0%	3	4.3%
運転不注意	3	6.5%	0	0.0%	3	4.3%
雪害	0	0.0%	3	12.5%	3	4.3%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	3	12.5%	3	4.3%
積付・ 載・固縛不良	1	2.2 %	0	0.0%	1	1.4%
総計	46	100	24	100.0%	70	100.0%

表 30：紙・パルプ・古紙の事故原因(濡損)

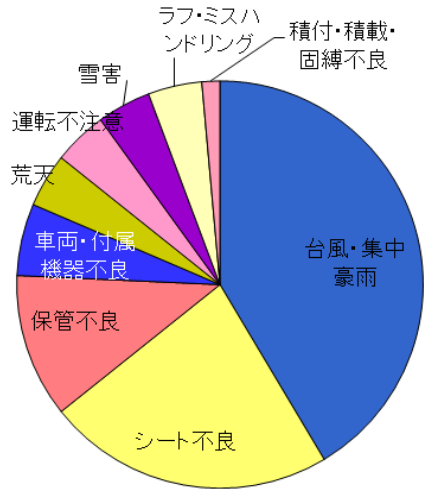


図 30：紙・パルプ・古紙の事故原因（濡損）

損品処理

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
損品処理	件数	割合	件数	割合	件数	割合
転売	23	50.0%	13	54.2%	36	51.4%
滅 ・ 廃棄	16	34.8%	7	29.2%	23	29.9%
格落ち	3	6.5%	2	8.3%	5	7.1%
手直し	3	6.5%	2	8.3%	5	7.1%
修理・交換	1	.2%	0	0.0%	1	1.4%
総計	46	100.0%	24	100.0%	70	100.0%

表 31：紙・パルプ・古紙の損品処理(濡損)

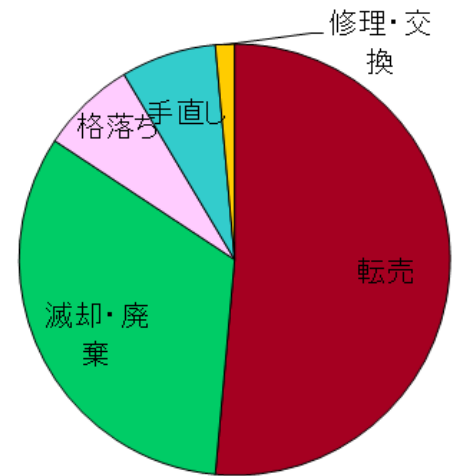


図 31：紙・パルプ・古紙の損品処理（濡損）

(5) 衣類・繊維類

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
濡損	26	43.3%	11	52.4%	37	5.7%
破損・曲損・凹損・変形	9	15.0%	5	23.8%	14	17.3%
紛	7	11.7%	1	4.8	8	9.9%
焼損	5	8.3%	2	9.5%	7	8.6%
汚損・汚染	5	8.3%	1	4.8%	6	7.4%
漏損	3	5.0%	0	0.0%	3	3.7%
カビ損	2	3.3%	0	0.0%	2	2.5%
盗難	2	3.3%	0	0.0%	2	2.5%
着臭	0	0.0%	1	4.8%	1	1.2%
変色・変質・劣化・腐敗	1	1.7%	0	0.0%	1	1.2%
総計	60	100.0%	21	100.0%	81	100.0%

表 32：衣類・繊維類の損害形態

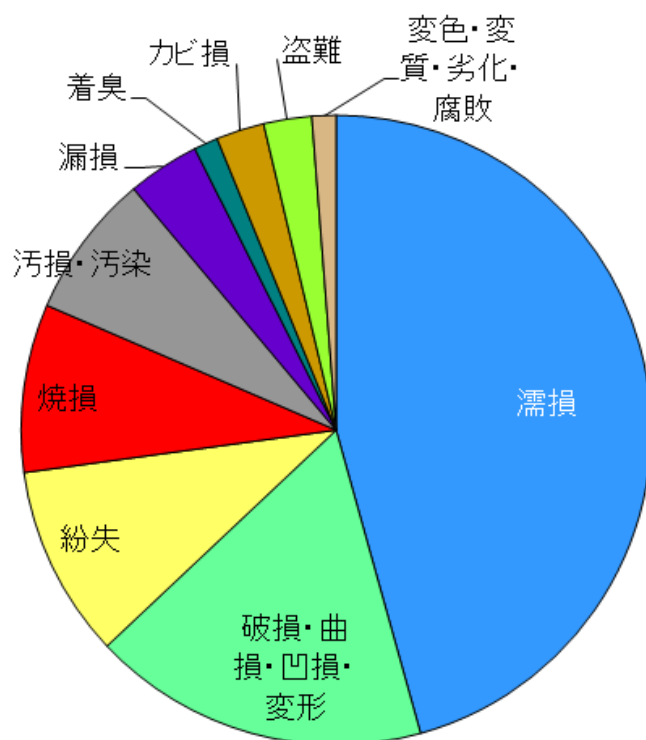


図 32：衣類・繊維類の損害形態

①濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	20	76.9%	10	90.9%	30	81.1%
輸送中	4	15.4%	0	0.0%	4	10.8%
荷降中	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
該当無し	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
作業中	0	0.0%	1	9.1%	1	2.7%
総計	26	100.0%	11	100.0%	37	100.

表 33：衣類・繊維類の事故発生場所(濡損)

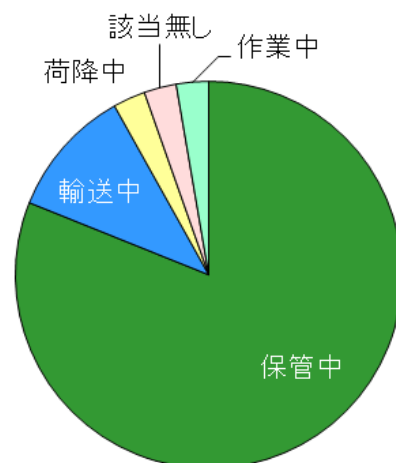


図 33：衣類・繊維類の事故発生場所(濡損)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	20	76.9%	8	72.7%	28	75.7%
雪害	0	0.0%	3	27.3%	3	8.1%
保管不良	2	7.7%	0	0.0%	2	5.4%
接触・交通事故	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
車両・付属機器不良	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
積付・積載・固縛不良	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
ラフ・ミスハンドリング	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
総計	26	100.0%	11	100.0%	37	100.0%

表 34：衣類・繊維類の事故原因(濡損)

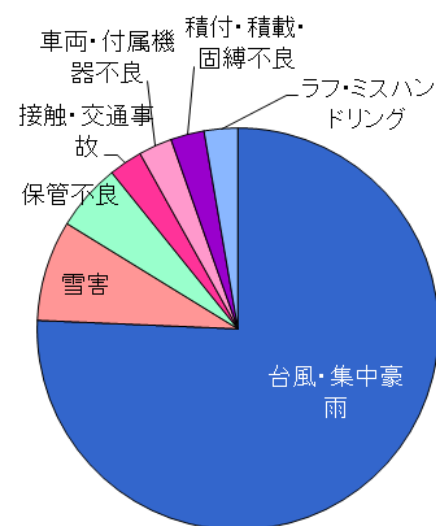


図 34：衣類・繊維類の事故原因（濡損）

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	21	80.8%	11	100.0%	32	86.5%
手直し	3	11. %	0	0.0%	3	8.1%
転売	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
格落ち	1	3.8%	0	0.0%	1	2.7%
総計	26	100.0%	11	100.0%	37	100.0%

表 35：衣類・繊維類の損品処理(濡損)

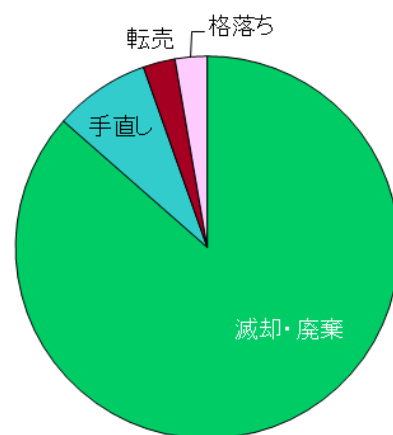


図 35：衣類・繊維類の損品処理(濡損)

② 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	7	77.8%	2	40.0%	9	64.3%
荷降中	1	11.1%	1	20.0%	2	14.3%
積替中	1	11.1%	1	20.0%	2	14.3%
作業中	0	0.0%	1	20.0%	1	7.1%
総計	9	100.0%	5	100.0%	14	100.0%

表 36：衣類・繊維類の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

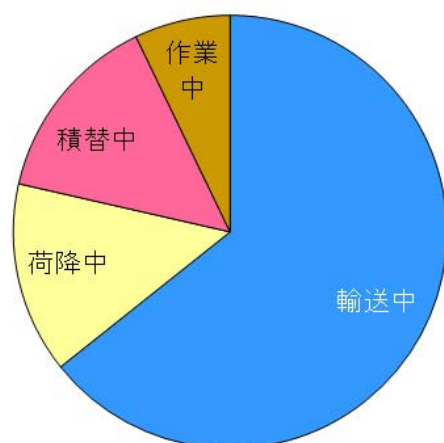


図 36：衣類・繊維類の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	4	44.4%	3	60.0%	7	50.0%
運転不注意	3	33.3%	1	20.0%	4	28.6%
積付・積載・固縛不良	2	22.2%	1	20.0%	3	21.4%
総計	9	100.0%	5	100.0%	14	100.0%

表 37：衣類・繊維類の事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

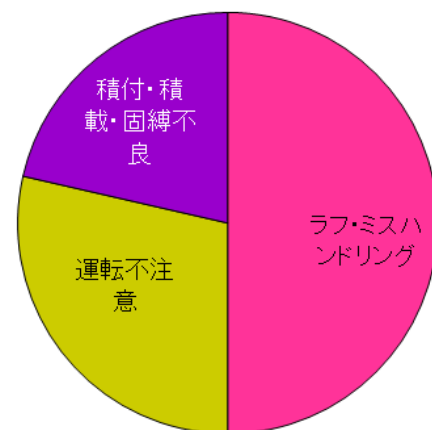


図 37：衣類・繊維類の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	8	88.9%	4	80.0%	12	85.7%
転売	0	0.0%	1	20.0%	1	7.1%
手直し	1	11.1%	0	0.0%	1	7.1%
総計	9	100.0%	5	100.0%	14	100.0%

表 38：衣類・繊維類の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

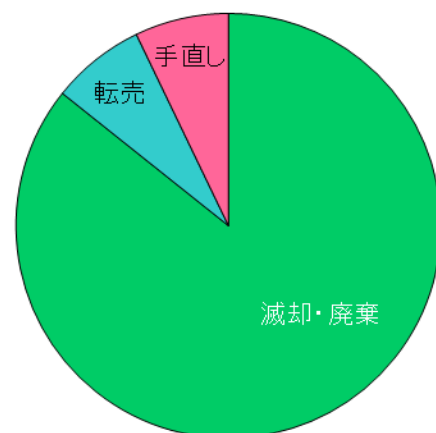


図 38：衣類・繊維類の損品処理
(破損・曲損・凹損・変形)

(6) 日用品・医薬品・雑貨

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割	件数	割合
破損・曲損 凹損・変形	572	72.5%	145	68.1%	717	71.6%
濡損	76	9.6%	32	15.0%	108	10.8%
紛失	48	6.1%	2	0.9%	50	5.0%
汚損・汚染	24	3.0%	6	2.8%	30	3.0%
変色・変質・劣化・腐敗	20	2.5%	8	3.8%	28	2.8%
盗難	17	2.2%	9	4.2%	26	2.6%
焼損	17	2.2%	5	2.3%	22	2.2%
凍結・解凍	6	0.8%	1	0.5%	7	0.7%
漏損	4	0.5%	1	0.5%	5	0.5%
錆損	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
作動不良	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
カビ損	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
着臭	1	0.1%	2	0.9%	3	0.3%
該当無し	1	0.1%	2	0.9%	3	0.3%
総計	789	100.0%	213	100.0%	1002	100.0%

表 39：日用品・医薬品・雑貨の損害形態

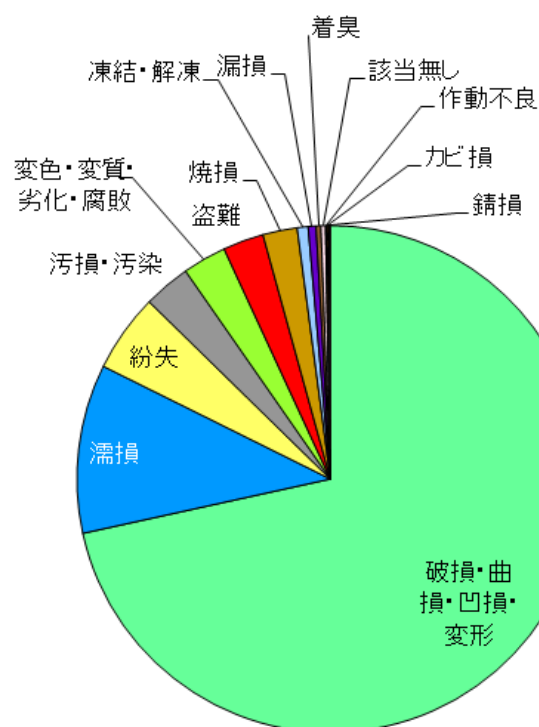


図 39：日用品・医薬品・雑貨の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	372	65.0%	95	65.5%	467	65.1%
荷降中	69	12.1%	24	16.6%	93	13.0%
作業中	54	9.4%	0	0.0%	54	7.5%
積込中	33	5.8%	8	5.5%	41	5.7%
積替中	24	4.2%	15	10.3%	39	5.4%
保管中	16	2.8%	2	1.4%	18	2. %
該当無し	4	0.7%	0	0.0%	4	0.6%
展示中	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
総計	572	100.0%	145	100.0%	717	100.0%

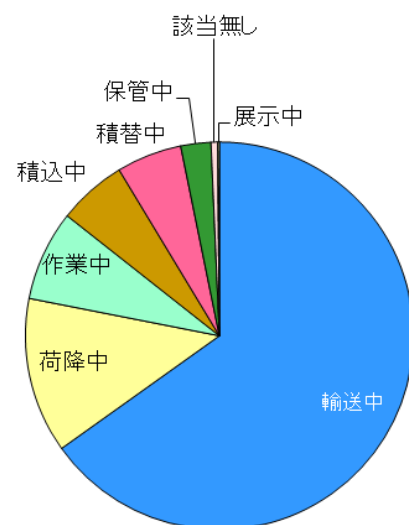


表 40：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 40：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	232	40.6%	58	40. %	290	40.4%
運転不注意	164	28.7%	61	42.1%	225	31.4%
積付・積載・固縛不良	84	14.7%	16	11.0%	100	13.9%
接触・交通事故	78	13.6%	4	2.8%	82	11.4%
荒天	6	1.0%	0	0.0%	6	0.8%
保管不良	3	0.5%	2	1.4%	5	0.7%
該当無し	0	0.0%	3	2.1%	3	0.4%
火災	2	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
台風・集中豪雨	2	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
雪害	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
紛失	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	572	100.0%	145	100.0%	717	100.0%

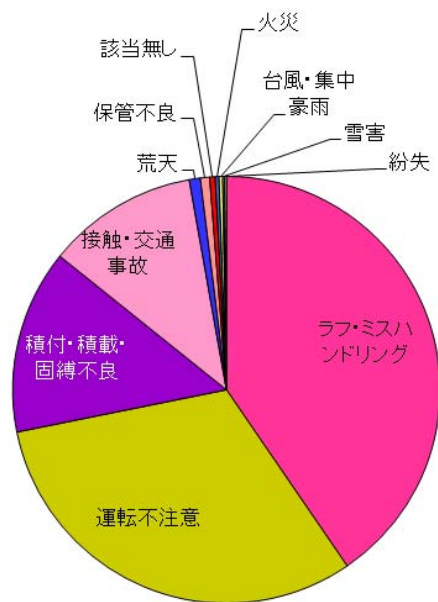


表 41：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

図 41：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

② 濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	43	56.6%	21	65.6%	6	59.3%
輸送中	18	23.7	8	25.0%	26	24.1%
積込中	6	7.9%	3	9.4%	9	8.3%
荷降中	6	7.9%	0	0.0%	6	5.6%
作業中	2	2.6%	0	0.0%	2	1.9%
積 中	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
総計	76	100.0%	32	100.0%	108	100.0%

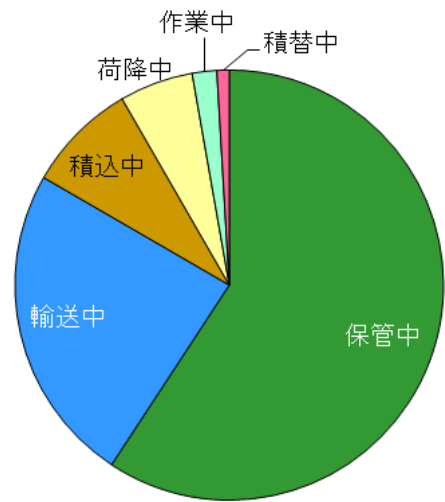


表 42：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(濡損)

図 42：日用品・医薬品・雑貨の
事故発生場所(濡損)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	42	55.3%	12	37.5%	54	50.0%
保管不良	12	15.8%	6	18.8%	18	16.7%
シート不良	7	9.2%	4	12.5%	11	10.2%
雪害	0	0.0%	7	21.9%	7	6.5%
ラフ・ミスハンドリング	3	3.9%	2	6.3%	5	4.6%
車両・付属機器不良	3	3.9%	1	3.1%	4	3.7%
荒天	4	5.3%	0	0.0%	4	3.71%
接触・交通事故	2	2.6%	0	0.0%	2	1.9%
地震	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
積付・積載・固縛不良	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
冠水	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
総計	76	100.0%	32	100.0%	108	100.0%

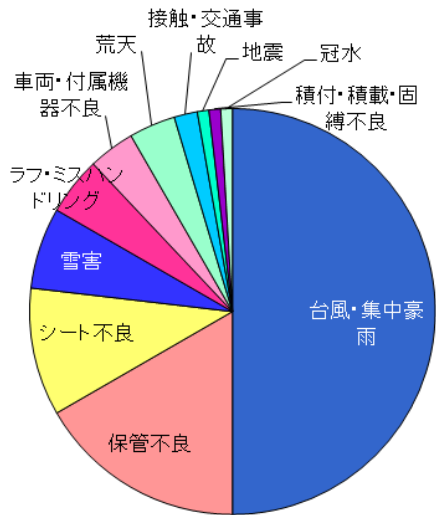


表 43：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(濡損)

図 43：日用品・医薬品・雑貨の事故原因
(濡損)

② 紛失

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件	割合	件数	割合
輸送中	24	50.0%	2	100.0%	26	52.0%
作業中	12	25.0%	0	0.0%	12	24.0%
保管中	7	14.6%	0	0.0%	7	14.0%
積込中	2	4.2%	0	0.0%	2	4.0%
積替中	2	4.2%	0	0.0%	2	4.0%
荷降中	1	2.1%	0	0.0%	1	2.0%
総計	48	100.0%	2	100.0%	50	100.0%

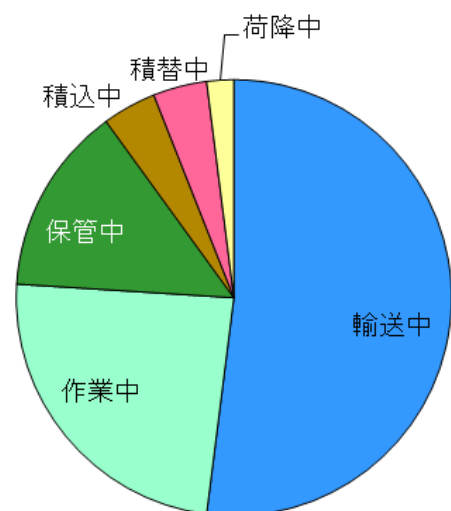


表 44：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(紛失)

図 44：日用品・医薬品・雑貨の事故発生場所(紛失)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
紛失	47	97.9%	1	50.0%	48	96.0%
保管不良	1	2.1%	1	50.0%	2	4.0%
総計	48	100.0%	2	100.0%	50	100.0%

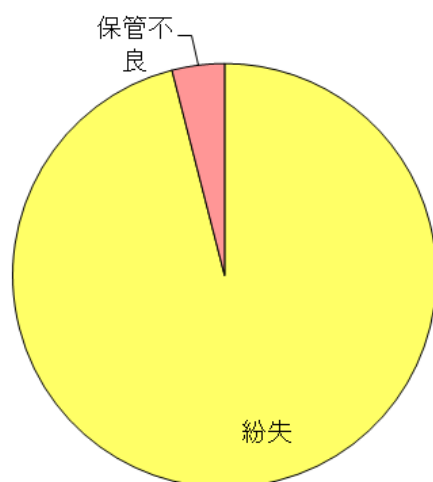


表 45：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(紛失)

図 45：日用品・医薬品・雑貨の事故原因(紛失)

(7) 骨董品・美術品

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・形	51	56.0%	11	55.0%	62	55.9%
盗難	34	37.4%	8	40.0%	42	37.8%
濡損	3	3.3%	0	0.0%	3	2.7%
紛失	1	1.1%	1	5.0%	2	1.8%
焼損	1	1.1%	0	0.0%	1	0.9%
汚損・汚染	1	1.1%	0	0.0%	1	0.9%
総計	91	100.0%	20	100.0%	111	100.0%

表 46：骨董品・美術品の損害形態

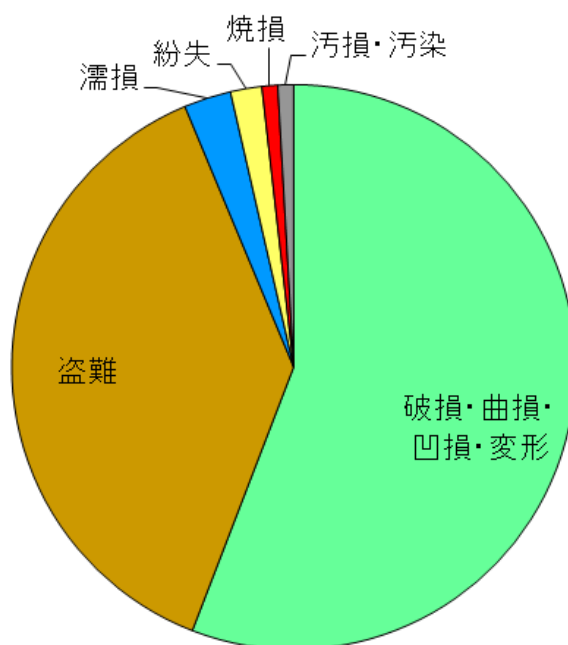


図 46：骨董品・美術品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	34	66.7%	8	72.7	42	67.7%
作業中	7	13.7%	0	0.0%	7	11.3%
保管中	4	7.8%	1	9.1%	5	8.1%
積込中	2	3.9%	0	0.0%	2	3.2%
該当無し	2	3.9%	0	0.0%	2	3.2%
荷降中	1	2.0%	1	9.1	2	3.2%
積替中	1	2. %	0	0.0%	1	1.6%
特定なし	0	0.0%	1	9.1%	1	1.6%
総計	51	100.0%	11	100.0	62	100.0%

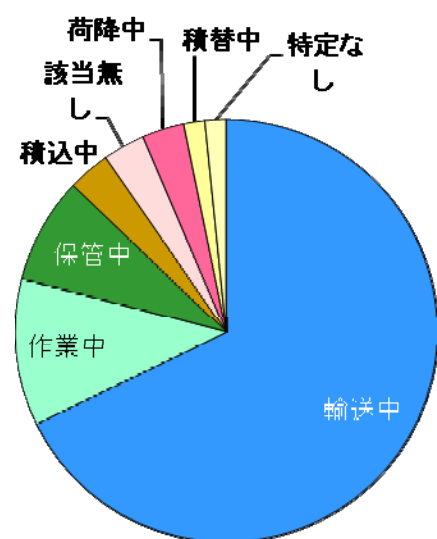


表 47: 骨董品・美術品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

図 47: 骨董品・美術品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	20	39.2%	5	5.5%	25	40.3%
運転不意	14	27.5%	1	9.1%	15	24.2%
積付・積載・固縛不良	11	21.6%	3	27.3%	14	22.6%
接触・交通事故	2	3.9%	0	0.0%	2	3.2%
地震	2	3.9%	0	0.0%	2	3.2%
該当無し	1	2.0%	1	9.1%	2	3.2%
保管不良	0	0.0%	1	9.1%	1	1.6%
台風・集中豪雨	1	2.0%	0	0.0%	1	1.6%
総計	51	100.0	11	100.0%	62	100.0

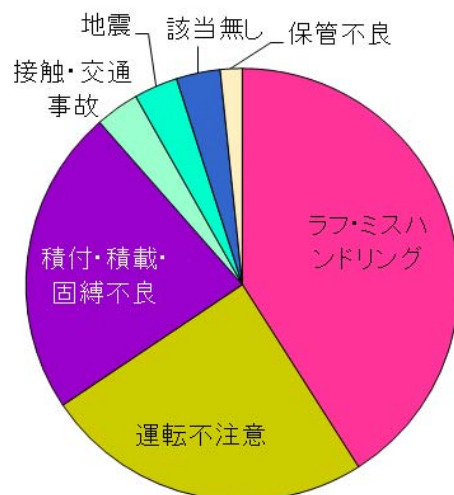


表 48: 骨董品・美術品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

図 48: 骨董品・美術品の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	25	49.0%	9	81.8%	34	54.8%
修理・交換	16	31.4%	2	18.2%	18	29.0%
格落ち	6	11.8%	0	0.0%	6	9.7%
手直し	2	3.9%	0	0.0%	2	3.2%
転売	1	2.0%	0	0.0%	1	1.6%
該当無し	1	2.0%	0	0.0%	1	1.6%
総計	51	100.0%	11	100.0%	62	100.0%

表 49：骨董品・美術品の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

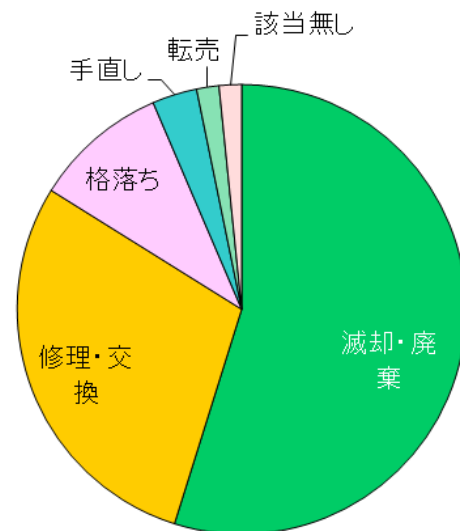


図 49：骨董品・美術品の損品処理
(破損・曲損・凹損・変形)

③ 盗難

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	27	79.4%	7	87.5%	34	81.0%
該当無し	4	11.8%	0	0.0%	4	9.5%
輸送中	2	5.9%	1	12.5%	3	7.1%
作業中	1	2.9%	0	0.0%	1	2.4%
総計	34	100.0%	8	100.0%	42	100.0%

表 50：骨董品・美術品の事故発生場所(盗難)

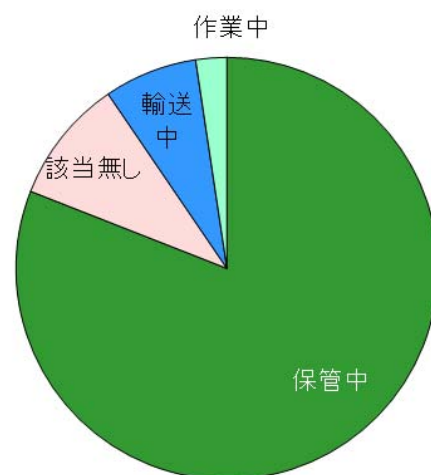


図 50：骨董品・美術品の事故発生場所(盗難)

(8) 木材

損害形態

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
損害形態	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	50	63.3%	9	64.3%	59	63.4
濡損	19	24.1%	3	1.4%	22	23.7%
焼損	7	8.9%	1	7.1%	8	8.6%
汚損・汚染	1	1.3%	0	0.0%	1	1.1%
漏損	1	1.3%	0	0.0%	1	1.1%
着臭	0	0.0%	1	7.1%	1	1.1%
変色・変質・劣化・腐敗	1	1.3%	0	0.0%	1	1.1%
総計	79	100.0%	14	100.0%	93	100.0%

表 51：木材の損害形態

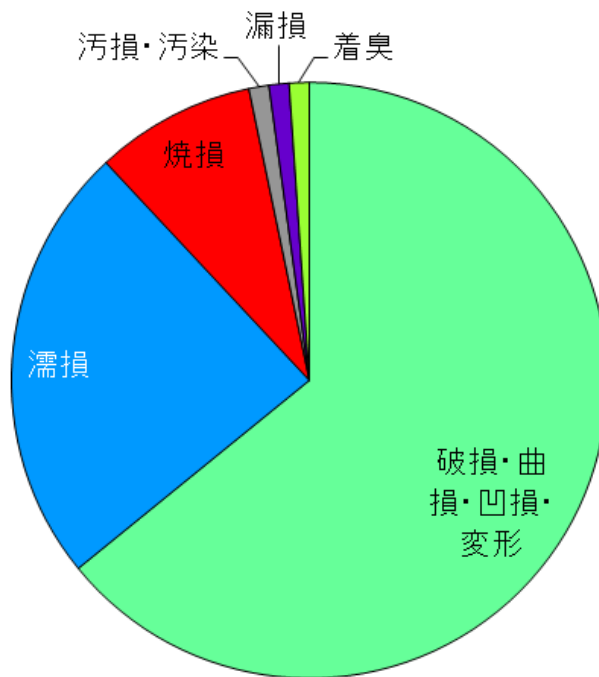


図 51：木材の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	44	88.0%	7	77.8%	51	86.4%
積替中	3	6.0%	1	11.1%	4	6.8%
積込中	1	2.0%	1	11.1%	2	3.4%
作業中	1	2.0%	0	0.0%	1	1.7%
荷降中	1	2.0%	0	0.0%	1	1.7%
総計	50	100.0%	9	100.0%	59	100.0%

表 52：木材の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

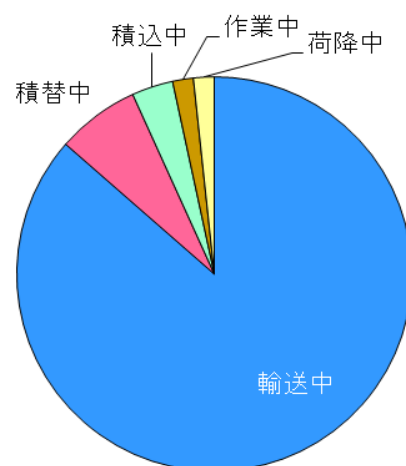


図 52：木材の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	31	62.0%	4	44.4%	35	59.3%
ラフ・ミスハンドリング	7	14.0%	2	22.2%	9	15.3%
接触・交通事故	7	14.0%	1	11.1%	8	13.6%
積付・積載・固縛不良	5	10.0%	2	22.2%	7	11.9%
総計	50	100.0%	9	100.0%	59	100.0%

表 53：木材の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

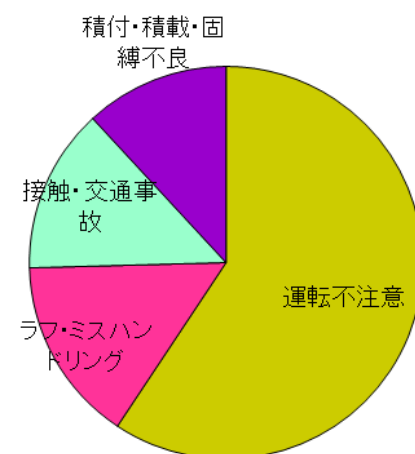


図 53：木材の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	35	70.0%	8	88.9%	43	72.9%
修理・交換	6	12.0%	1	11.1%	7	11.9%
転売	4	8.0%	0	0.0%	4	6.8%
格落ち	3	6.0%	0	0.0%	3	5.1%
手直し	2	4.0%	0	0.0%	2	3.4%
総計	50	100.0%	9	100.0%	59	100.0%

表 54：木材の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

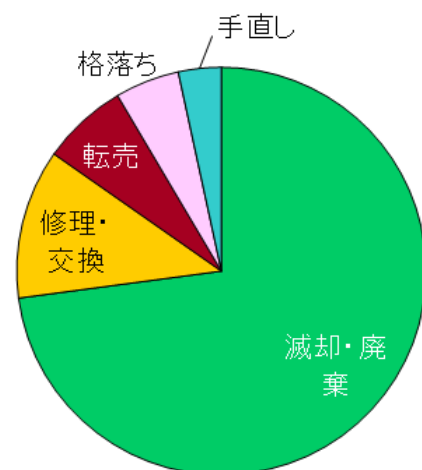


図 54：木材の損品処理
(破損・曲損・凹損・変形)

② 濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	7	36.8%	1	33.3%	8	36.4%
輸送中	6	31.6%	2	66.7%	8	36.4%
荷降中	4	21.1%	0	0.0%	4	18.2%
駐車中	2	10.5%	0	0.0%	2	9.1%
総計	19	100.0%	3	100.0%	22	100.0%

表 55：木材の事故発生場所（濡損）

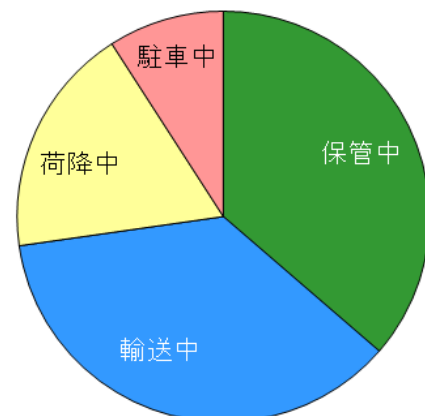


図 55：木材の事故発生場所（濡損）

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	8	42.1%	0	0.0%	8	36.4%
シート不良	4	21.1%	2	66.7%	6	27.3%
運転不注意	2	10.5%	0	0.0%	2	9.1%
保管不良	2	10.5%	0	0.0%	2	9.1%
積付・積載・固縛不良	2	10.5%	0	0.0%	2	9.1%
荒天	1	5.3%	0	0.0%	1	4.5%
火災	0	0.0%	1	33.3%	1	4.5%
総計	19	100.0%	3	100.0%	22	100.0%

表 56：木材の事故原因（濡損）

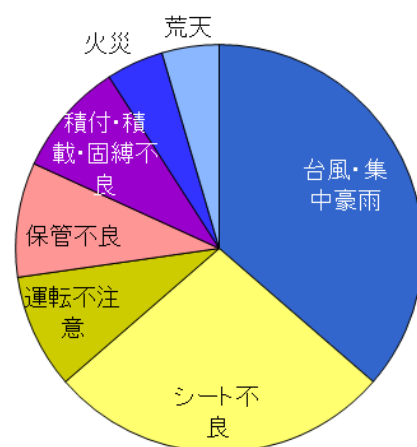


図 56：木材の事故原因（濡損）

損品

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	10	52.6%	3	100.0%	13	59.1%
転売	5	26.3%	0	0.0%	5	22.7%
格落ち	2	10.5%	0	0.0%	2	9.1%
該当無し	1	5.3%	0	0.0%	1	4.5%
手直し	1	5.3%	0	0.0%	1	4.5%
総計	19	100.0%	3	100.0%	22	100.0%

処理

表 57：木材の損品処理（濡損）

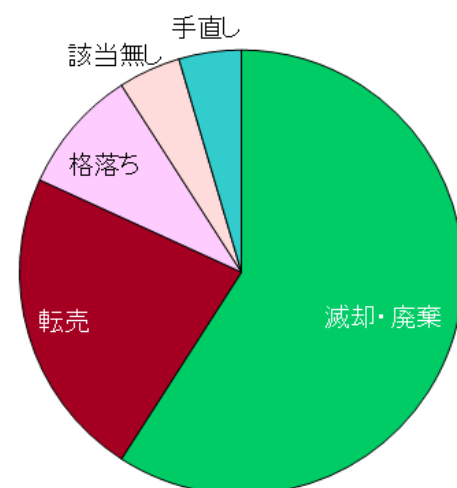


図 57：木材の損品処理（濡損）

(9) 船舶・車両・輸送機器

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	515	92.6%	153	94.4%	668	93.0%
焼損	14	2.5%	0	0.0%	14	1.9%
濡損	11	2.0%	2	1.2%	13	1.8%
汚損・汚染	8	1.4%	1	0.6%	9	1.3%
盗難	4	0.7%	4	2.5%	8	1.1%
紛失	1	0.2%	1	0.6%	2	0.3%
漏損	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
変色・変質・劣化・腐敗	0	0.0%	1	0.6%	1	0.1%
錆損	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
該当無し	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	556	100.0%	162	100.0%	718	100.0%

表 58：船舶・車両・輸送機器の損害形態

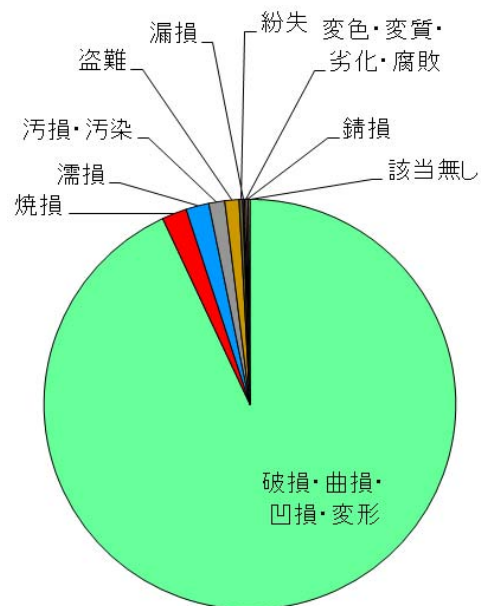


図 58：船舶・車両・輸送機器の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	291	56.5%	94	61.4%	385	57.6%
荷降中	76	14.8%	35	22.9%	111	16.6%
積込中	62	12.0%	12	7.8%	74	11.1%
作業中	29	5.6%	4	2.6%	33	4.9%
積替中	23	4.5%	5	3.3%	28	4.2%
保管中	26	5.0%	1	0.7%	27	4.0%
該当無し	5	1.0%	0	0.0%	5	0.7%
駐車中	3	0.6%	1	0.7%	4	0.6%
展示中	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
総計	515	100.0%	153	100.0%	668	100.0%

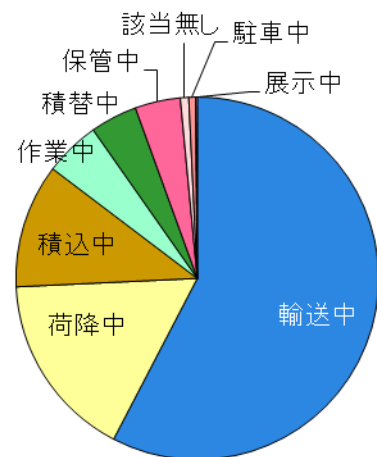


図 59：船舶・車両・輸送機器の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

表 59：船舶・車両・輸送機器の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	254	49.3%	65	42.5%	319	47.8%
ラフ・ミスハンドリング	121	23.5%	71	46.4%	192	28.7%
積付・積載・固縛不良	56	10.9%	9	5.9%	65	9.7%
接触・交通事故	46	8.9%	5	3.3%	51	7.6%
保管不良	11	2.1%	1	0.7%	12	1.8%
車両・付属機器不良	10	1.9%	1	0.7%	11	1.6%
荒天	8	1.6%	0	0.0%	8	1.2%
台風・集中豪雨	6	1.2%	1	0.7%	7	1.0%
地震	2	0.4%	0	0.0%	2	0.3%
シート不良	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
総計	515	100.0%	153	100.0%	668	100.0%

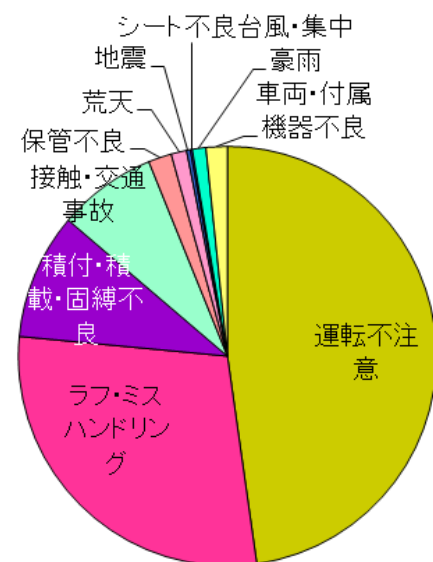


図 60：船舶・車両・輸送機器の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

表 60：船舶・車両・輸送機器の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	365	70.9%	83	54.2%	448	67.1%
滅却・廃棄	124	24.1%	63	41.2%	187	28.0%
転売	16	3.1%	4	2.6%	20	3.0%
手直し	7	1.4%	0	0.0%	7	1.0%
格落ち	3	0.6%	2	1.3%	5	0.7%
該当無し	0	0.0%	1	0.7%	1	0.1%
総計	515	100.0%	153	100.0%	668	100.0%

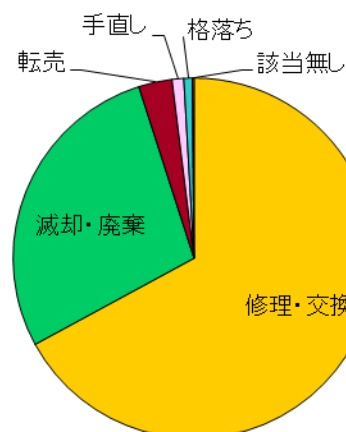


表 61：船舶・車両・輸送機器の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

図 61：船舶・車両・輸送機器の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

(10) 鋼材・鉄鋼製品

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	309	82.2%	75	71.4%	384	79.8%
濡損	31	8.2%	11	10.5%	42	8.7%
錆損	14	3.7%	4	3.8%	18	3.7%
盗難	11	2.9%	5	4.8%	16	3.3%
焼損	4	1.1%	6	5.7%	10	2.1%
汚損・汚染	3	0.8%	1	1.0%	4	0.8%
変色・変質・劣化・腐敗	2	0.5%	2	1.9%	4	0.8%
漏損	2	0.5%	1	1.0%	3	0.6%
総計	376	100.0%	105	100.0%	481	100.0%

表 62：鋼材・鉄鋼製品の損害形態

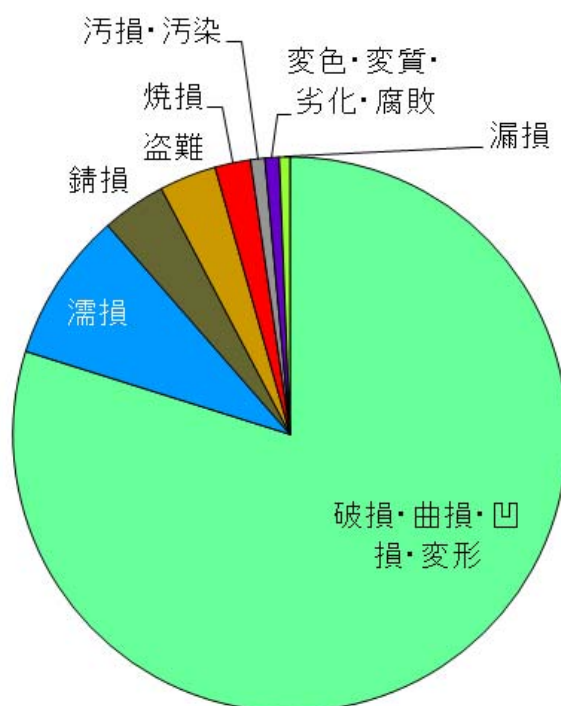


図 62：鋼材・鉄鋼製品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	204	66.0%	46	61.3%	250	65.1%
荷降中	44	14.2%	10	13.3%	54	14.1%
積込中	20	6.5%	6	8.0%	26	6.8%
積替中	18	5.8%	6	8.0%	24	6.3%
作業中	8	2.6%	6	8.0%	14	3.6%
保管中	10	3.2%	1	1.3%	11	2.9%
該当無し	3	1.0%	0	0.0%	3	0.8%
駐車中	2	0.6%	0	0.0%	2	0.5%
総計	309	100.0%	75	100.0%	384	100.0%

表 63：鋼材・鉄鋼製品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

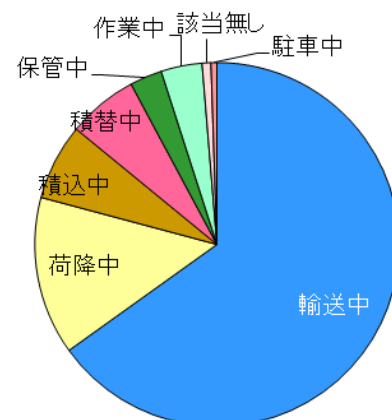


図 63：鋼材・鉄鋼製品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	123	39.8%	32	42.7%	155	40.4%
ラフ・ミスハンドリング	78	25.2%	28	37.3%	106	27.6%
積付・積載・固縛不良	61	19.7%	11	14.7%	72	18.8%
接触・交通事故	37	12.0%	2	2.7%	39	10.2%
車両・付属機器不良	1	0.3%	2	2.7%	3	0.8%
保管不良	2	0.6%	0	0.0%	2	0.5%
荒天	2	0.6%	0	0.0%	2	0.5%
落雷	2	0.6%	0	0.0%	2	0.5%
地震	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
シート不良	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
台風・集中豪雨	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
総計	309	100.0%	75	100.0%	384	100.0%

表 64：鋼材・鉄鋼製品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

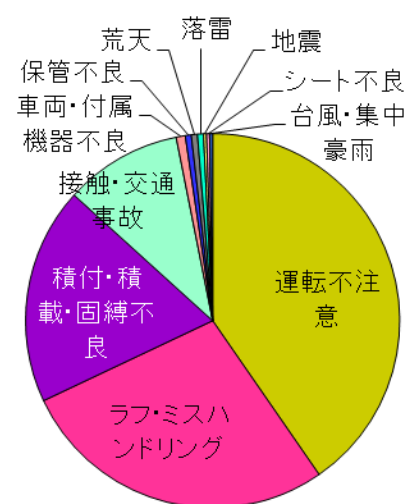


表 64：鋼材・鉄鋼製品の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	145	46.9%	34	45.3%	179	46.6%
転売	79	25.6%	16	21.3%	95	24.7%
修理・交換	45	14.6%	10	13.3%	55	14.3%
手直し	18	5.8%	9	12.0%	27	7.0%
格落ち	21	6.8%	4	5.3%	25	6.5%
該当無し	1	0.3%	2	2.7%	3	0.8%
総計	309	100.0%	75	100.0%	384	100.0%

表 65：鋼材・鉄鋼製品の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

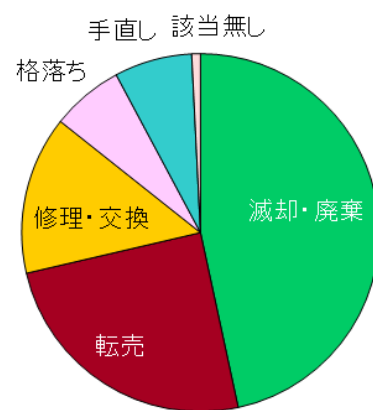


図 65：鋼材・鉄鋼製品の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

(11) 鉍産物

損害形態

損害形態	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	24	60.0%	14	93.3%	38	69.1%
濡損	7	17.5%	1	6.7%	8	14.5%
汚損・汚染	7	17.5%	0	0.0%	7	12.7%
漏損	1	2.5%	0	0.0%	1	1.8%
変色・変質・劣化・腐敗	1	2.5%	0	0.0%	1	1.8%
総計	40	100.0%	15	100.0%	55	100.0%

表 66：鉍産物の損害形態

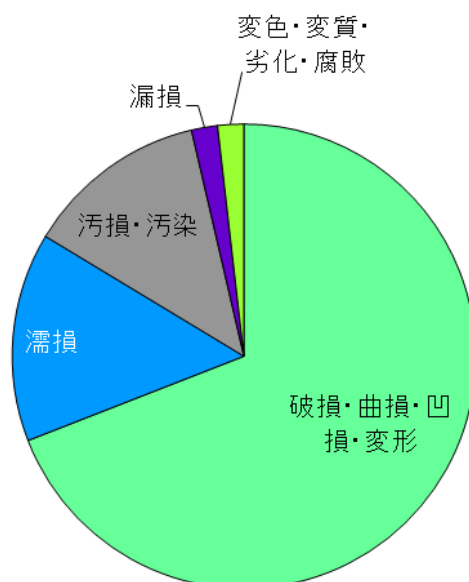


図 66：鉍産物の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	15	62.5%	12	85.7%	27	71.1%
荷降中	4	16.7%	2	14.3%	6	15.8%
積込中	2	8.3%	0	0.0%	2	5.3%
積替中	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
保管中	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
作業中	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
総計	24	100.0%	14	100.0%	38	100.0%

表 67：鉱産物の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

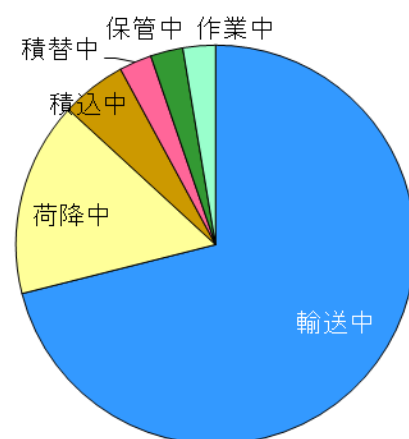


図 67：鉱産物の事故発生場所 (破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	11	45.8%	6	42.9%	17	44.7%
ラフ・ミスハンドリング	6	25.0%	3	21.4%	9	23.7%
積付・積載・固縛不良	3	12.5%	2	14.3%	5	13.2%
接触・交通事故	2	8.3%	2	14.3%	4	10.5%
落雷	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
地震	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
該当無し	0	0.0%	1	7.1%	1	2.6%
総計	24	100.0%	14	100.0%	38	100.0%

表 68：鉱産物の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

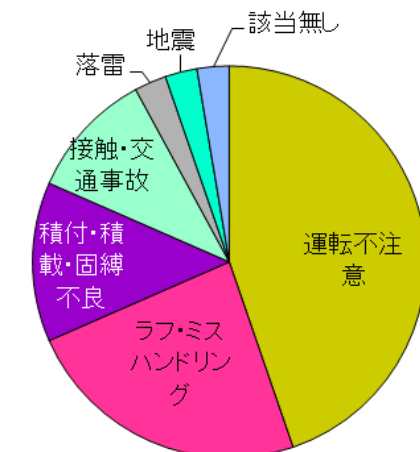


図 68：鉱産物の事故原因 (破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	20	83.3%	9	64.3%	29	76.3%
手直し	2	8.3%	2	14.3%	4	10.5%
転売	1	4.2%	2	14.3%	3	7.9%
修理・交換	0	0.0%	1	7.1%	1	2.6%
格落ち	1	4.2%	0	0.0%	1	2.6%
総計	24	100.0%	14	100.0%	38	100.0%

表 69：鉱産物の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

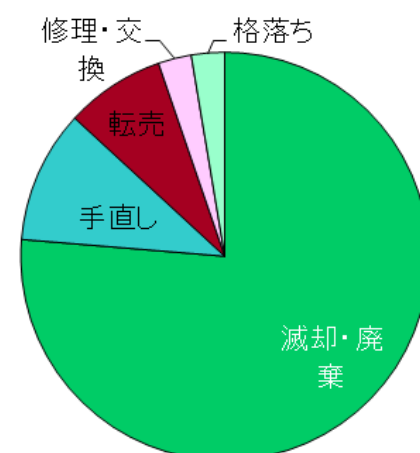


図 69：鉱産物の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

(12) 石油・ケミカル類・その製品

損害形態

損害形態	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	146	62.9%	52	74.3%	198	65.6%
濡損	25	10.8%	6	8.6%	31	10.3%
汚損・汚染	25	10.8%	6	8.6%	31	10.3%
変色・変質・劣化・腐敗	12	5.2%	3	4.3%	15	5.0%
漏損	11	4.7%	0	0.0%	11	3.6%
焼損	7	3.0%	2	2.9%	9	3.0%
盗難	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
紛失	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
着臭	1	0.4%	1	1.4%	2	0.7%
凍結・解凍	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%
総計	232	100.0%	70	100.0%	302	100.0%

表 70：石油・ケミカル類・その製品の損害形態

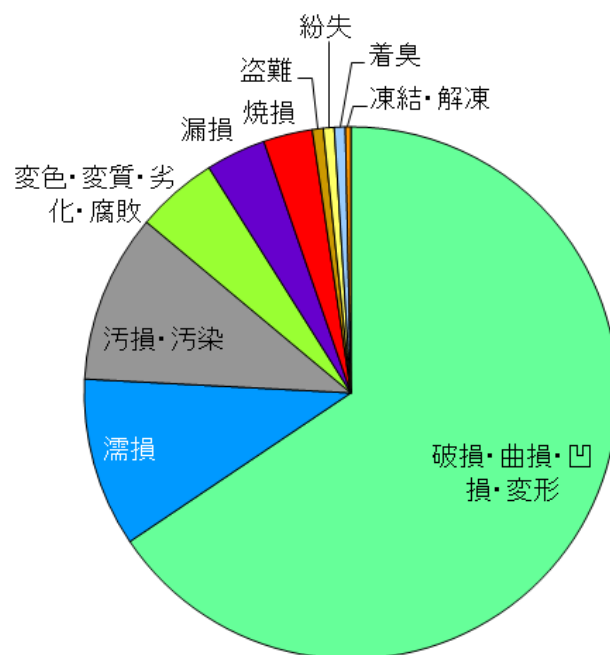


図 70：石油・ケミカル類・その製品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	82	56.2%	25	48.1%	107	54.0%
荷降中	23	15.8%	11	21.2%	34	17.2%
作業中	14	9.6%	3	5.8%	17	8.6%
積替中	10	6.8%	6	11.5%	16	8.1%
積込中	9	6.2%	5	9.6%	14	7.1%
保管中	8	5.5%	2	3.8%	10	5.1%
総計	146	100.0%	52	100.0%	198	100.0%

表 71：石油・ケミカル類・その製品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

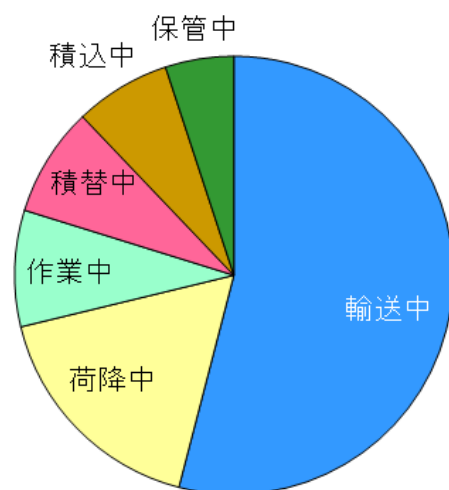


図 71：石油・ケミカル類・その製品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	50	34.2%	25	48.1%	75	37.9%
運転不注意	47	32.2%	18	34.6%	65	32.8%
積付・積載・固縛不良	25	17.1%	5	9.6%	30	15.2%
接触・交通事故	15	10.3%	0	0.0%	15	7.6%
保管不良	3	2.1%	1	1.9%	4	2.0%
台風・集中豪雨	2	1.4%	0	0.0%	2	1.0%
盗難	1	0.7%	1	1.9%	2	1.0%
該当無し	0	0.0%	2	3.8%	2	1.0%
車両・付属機器不良	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
落雷	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
地震	1	0.7%	0	0.0%	1	0.5%
総計	146	100.0%	52	100.0%	198	100.0%

表 72：石油・ケミカル類・その製品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

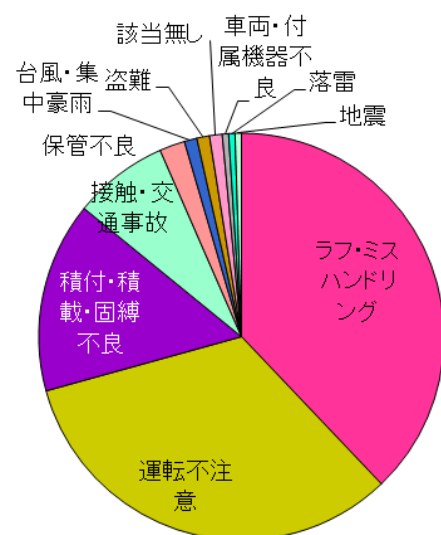


図 72：石油・ケミカル類・その製品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	124	84.9%	41	78.8%	165	83.3%
手直し	11	7.5%	3	5.8%	14	7.1%
転売	6	4.1%	2	3.8%	8	4.0%
修理・交換	5	3.4%	2	3.8%	7	3.5%
格落ち	0	0.0%	4	7.7%	4	2.0%
総計	146	100.0%	52	100.0%	198	100.0%

表 73：石油・ケミカル類・その製品の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

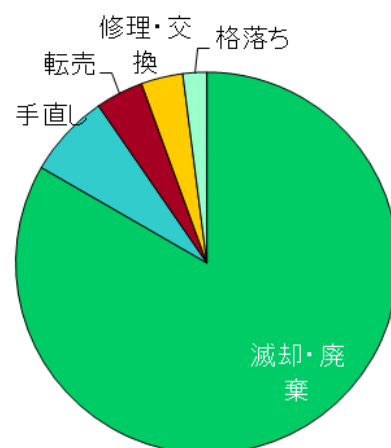


図 73：石油・ケミカル類・その製品の損品処理 (破損・曲損・凹損・変形)

② 濡損

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	11	44.0%	2	33.3%	13	41.9%
保管中	7	28.0%	3	50.0%	10	32.3%
積替中	3	12.0%	1	16.7%	4	12.9%
駐車中	3	12.0%	0	0.0%	3	9.7%
積込中	1	4.0%	0	0.0%	1	3.2%
総計	25	100.0%	6	100.0%	31	100.0%

表 74：石油・ケミカル類・その製品の事故発生場所 (濡損)

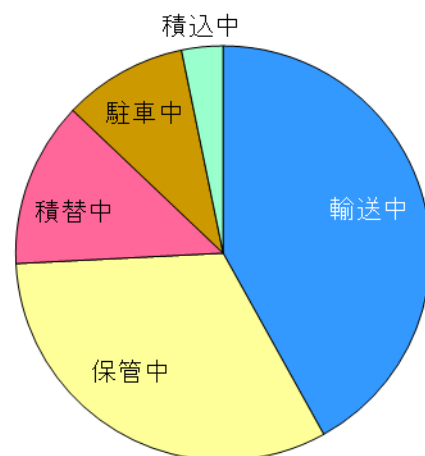


図 74：石油・ケミカル類・その製品の事故発生場所 (濡損)

事故原因

事故原因	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	9	36.0%	3	50.0%	12	38.7%
シート不良	7	28.0%	1	16.7%	8	25.8%
車両・付属機器不良	2	8.0%	0	0.0%	2	6.5%
運転不注意	2	8.0%	0	0.0%	2	6.5%
荒天	2	8.0%	0	0.0%	2	6.5%
保管不良	1	4.0%	1	16.7%	2	6.5%
火災	1	4.0%	0	0.0%	1	3.2%
積付・積載・固縛不	1	4.0%	0	0.0%	1	3.2%
雪害	0	0.0%	1	16.7%	1	3.2%
総計	25	100.0%	6	100.0%	31	100.0%

表 75：石油・ケミカル類・その製品の事故原因(濡損)

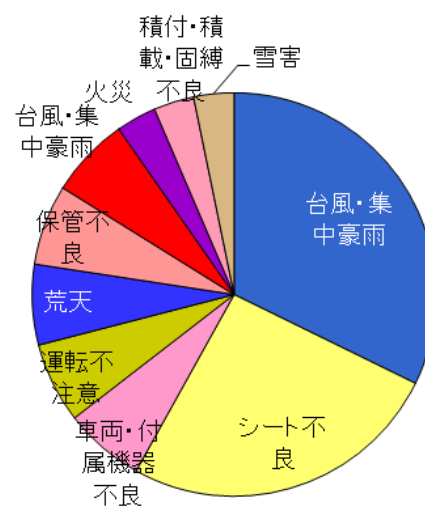


図 75：石油・ケミカル類・その製品の事故原因(濡損)

損品処理

損品処理	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	20	80.0%	4	66.7%	24	77.4%
転売	3	12.0%	1	16.7%	4	12.9%
格落ち	1	4.0%	1	16.7%	2	6.5%
手直し	1	4.0%	0	0.0%	1	3.2%
総計	25	100.0%	6	100.0%	31	100.0%

表 76：石油・ケミカル類・その製品の損品処理(濡損)

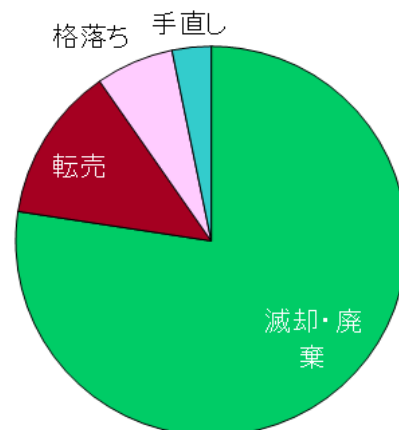


図 76：石油・ケミカル類・その製品の損品処理(濡損)

(13) 産業機械類

損害形態

損害形態	2010～2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	822	94.8%	213	93.4%	1035	94.5%
濡損	16	1.8%	7	3.1%	23	2.1%
盗難	10	1.2%	1	0.4%	11	1.0%
焼損	6	0.7%	3	1.3%	9	0.8%
汚損・汚染	5	0.6%	1	0.4%	6	0.5%
漏損	2	0.2%	2	0.9%	4	0.4%
作動不良	3	0.3%	0	0.0%	3	0.3%
紛失	1	0.1%	1	0.4%	2	0.2%
変色・変質・劣化・腐敗	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
凍結・解凍	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	867	100.0%	228	100.0%	1095	100.0%

表 77：産業機械類の損害形態

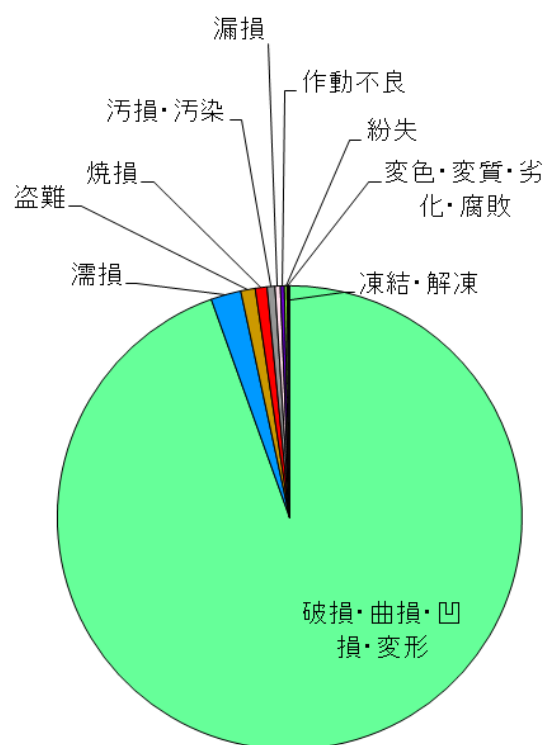


図 77：産業機械類の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	401	48.8%	110	51.6%	511	49.4%
荷降中	188	22.9%	52	24.4%	240	23.2%
積込中	90	10.9%	27	12.7%	117	11.3%
積替中	64	7.8%	17	8.0%	81	7.8%
作業中	65	7.9%	7	3.3%	72	7.0%
保管中	10	1.2%	0	0.0%	10	1.0%
該当無し	3	0.4%	0	0.0%	3	0.3%
駐車中	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	822	100.0%	213	100.0%	1035	100.0%

表 78：産業機械類の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

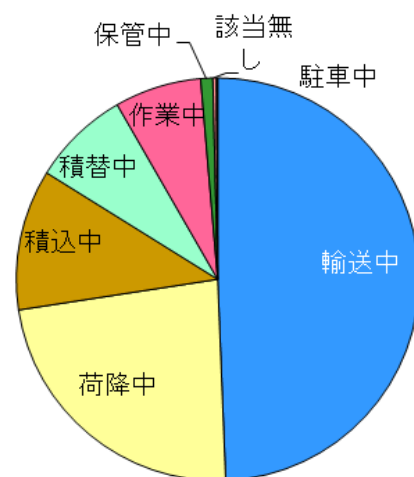


図 78：産業機械類の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	352	42.8%	124	58.2%	476	46.0%
積付・積載・固縛不良	164	20.0%	28	13.1%	192	18.6%
運転不注意	234	28.5%	55	25.8%	289	27.9%
接触・交通事故	59	7.2%	3	1.4%	62	6.0%
保管不良	4	0.5%	1	0.5%	5	0.5%
車両・付属機器不良	4	0.5%	0	0.0%	4	0.4%
該当無し	0	0.0%	2	0.9%	2	0.2%
シート不良	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
荒天	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
動物害	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
品質不良	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
台風・集中豪雨	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	822	100.0%	213	100.0%	1035	100.0%

表 79：産業機械類の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

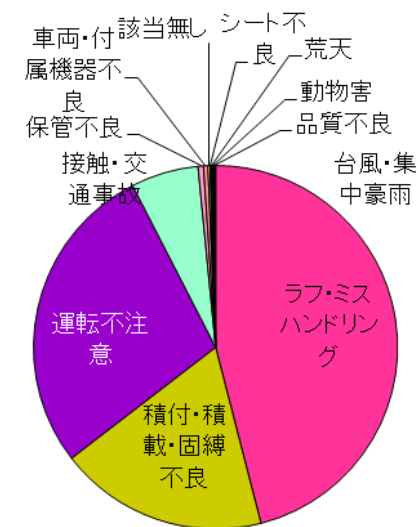


図 79：産業機械類の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	417	50.7%	110	51.6%	527	50.9%
修理・交換	370	45.0%	92	43.2%	462	44.6%
手直し	17	2.1%	4	1.9%	21	2.0%
転売	17	2.1%	4	1.9%	21	2.0%
格落ち	0	0.0%	3	1.4%	3	0.3%
該当無し	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	822	100.0%	213	100.0%	1035	100.0%

表 80：産業機械類の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

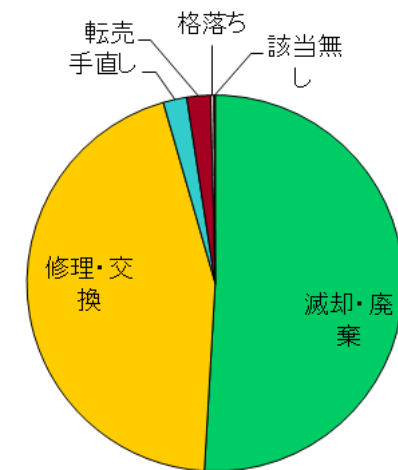


図 80：産業機械類の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

(14) 電子機器・光学機器・精密機器

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	715	89.2%	225	88.9%	940	89.1%
濡損	28	3.5%	10	4.0%	38	3.6%
盗難	21	2.6%	11	4.3%	32	3.0%
作動不良	9	1.1%	0	0.0%	9	0.9%
漏損	8	1.0%	1	0.4%	9	0.9%
焼損	8	1.0%	0	0.0%	8	0.8%
紛失	3	0.4%	5	2.0%	8	0.8%
汚損・汚染	7	0.9%	0	0.0%	7	0.7%
変色・変質・劣化・腐敗	2	0.2%	1	0.4%	3	0.3%
凍結・解凍	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	802	100.0%	253	100.0%	1055	100.0%

表 81：電子機器・光学機器・精密機器の損害形態

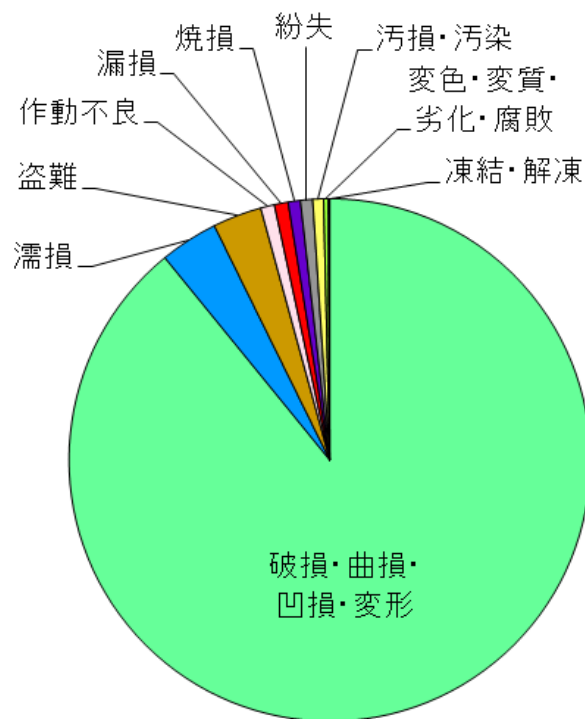


図 81：電子機器・光学機器・精密機器の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	309	43.2%	104	46.2%	413	43.9%
荷降中	197	27.6%	49	21.8%	246	26.2%
積込中	61	8.5%	26	11.6%	87	9.3%
作業中	73	10.2%	13	5.8%	86	9.1%
積替中	51	7.1%	27	12.0%	78	8.3%
保管中	21	2.9%	5	2.2%	26	2.8%
該当無し	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
駐車中	1	0.1%	1	0.4%	2	0.2%
総計	715	100.0%	225	100.0%	940	100.0%

表 82：電子機器・光学機器・精密機器の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

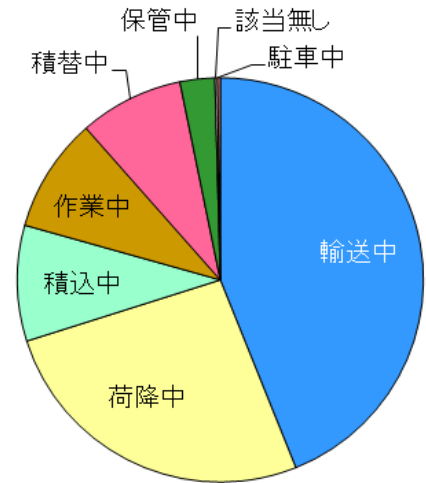


図 82:電子機器・光学機器・精密機器の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	356	49.8%	122	54.2%	478	50.9%
積付・積載・固縛不良	111	15.5%	26	11.6%	137	14.6%
運転不注意	187	26.2%	59	26.2%	246	26.2%
接触・交通事故	39	5.5%	5	2.2%	44	4.7%
落雷	8	1.1%	1	0.4%	9	1.0%
該当無し	3	0.4%	3	1.3%	6	0.6%
停電	1	0.1%	4	1.8%	5	0.5%
保管不良	3	0.4%	1	0.4%	4	0.4%
車両・付属機器不良	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
盗難	1	0.1%	1	0.4%	2	0.2%
雪害	0	0.0%	2	0.9%	2	0.2%
品質不良	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
火災	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
シート不良	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%
地震	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
座礁	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
総計	715	100.0%	225	100.0%	940	100.0%

表 83：電子機器・光学機器・精密機器の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

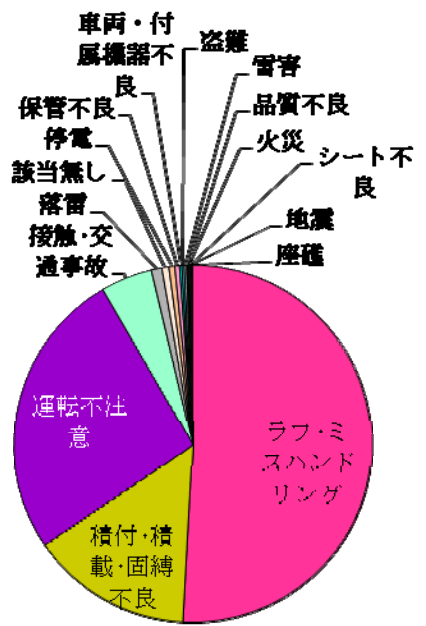


図 83：電子機器・光学機器・精密機器の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

	2010～2012年度		2013年度		総計	
損品処理	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	525	73.4%	162	72.0%	687	73.1%
修理・交換	163	22.8%	48	21.3%	211	22.4%
転売	14	2.0%	9	4.0%	23	2.4%
手直し	8	1.1%	3	1.3%	11	1.2%
格落ち	3	0.4%	2	0.9%	5	0.5%
該当無し	2	0.3%	1	0.4%	3	0.3%
総計	715	100.0%	225	100.0%	940	100.0%

表 84：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

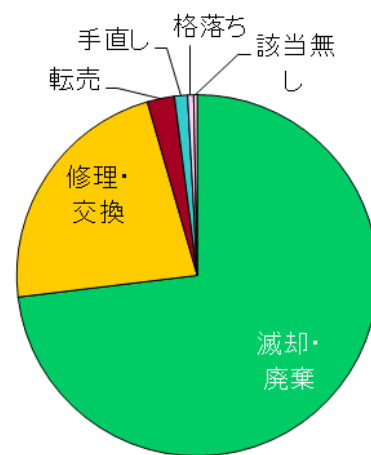


図 84：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

② 濡損

事故発生場所

	2010～2012年度		2013年度		総計	
事故発生場所	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保管中	11	39.3%	7	70.0%	18	47.4%
輸送中	11	39.3%	1	10.0%	12	31.6%
荷降中	3	10.7%	1	10.0%	4	10.5%
積込中	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
作業中	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
積替中	0	0.0%	1	10.0%	1	2.6%
該当無し	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
総計	28	100.0%	10	100.0%	38	100.0%

表 85：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(濡損)

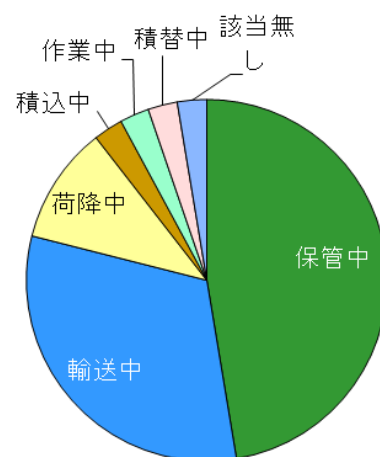


図 85：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(濡損)

事故原因

	2010～2012年度		2013年度		総計	
事故原因	件数	割合	件数	割合	件数	割合
台風・集中豪雨	4	14.3%	7	70.0%	11	28.9%
保管不良	8	28.6%	1	10.0%	9	23.7%
荒天	4	14.3%	0	0.0%	4	10.5%
シート不良	4	14.3%	0	0.0%	4	10.5%
積付・積載・固縛不良	4	14.3%	0	0.0%	4	10.5%
車両・付属機器不良	2	7.1%	0	0.0%	2	5.3%
ラフ・ミスハンドリング	0	0.0%	2	20.0%	2	5.3%
運転不注意	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
品質不良	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
総計	28	100.0%	10	100.0%	38	100.0%

表 86：電子機器・光学機器・精密機器の事故原因(濡損)

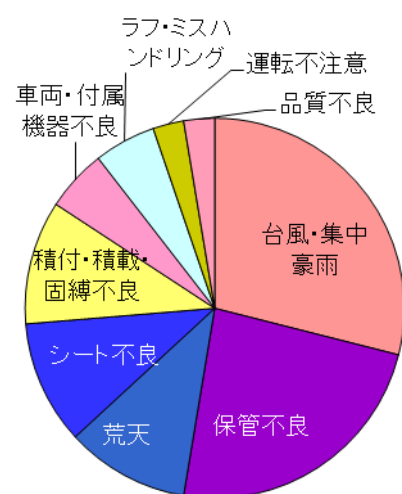


図 86：電子機器・光学機器・精密機器の事故原因(濡損)

損品処理

	2010～2012年度		2013年度		総計	
損品処理	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	22	78.6%	8	80.0%	30	78.9%
修理・交換	5	17.9%	0	0.0%	5	13.2%
転売	1	3.6%	0	0.0%	1	2.6%
手直し	0	0.0%	1	10.0%	1	2.6%
格落ち	0	0.0%	1	10.0%	1	2.6%
総計	28	100.0%	10	100.0%	38	100.0%

表 87：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(濡損)

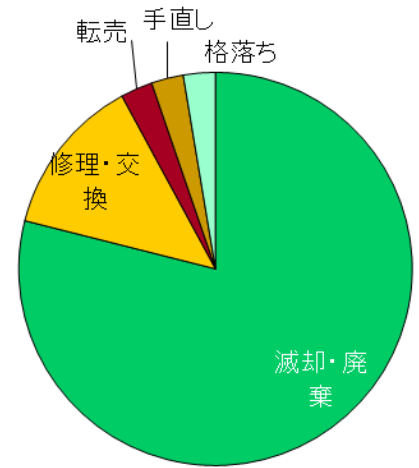


図 87：電子機器・光学機器・精密機器の損品処理(濡損)

(15) 施設・構造物

損害形態

損害形態	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	191	92.3%	64	91.4%	255	92.1%
濡損	8	3.9%	1	1.4%	9	3.2%
焼損	3	1.4%	1	1.4%	4	1.4%
作動不良	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
汚損・汚染	1	0.5%	2	2.9%	3	1.1%
盗難	1	0.5%	2	2.9%	3	1.1%
総計	207	100.0%	70	100.0%	277	100.0%

表 88：施設・構造物の損害形態

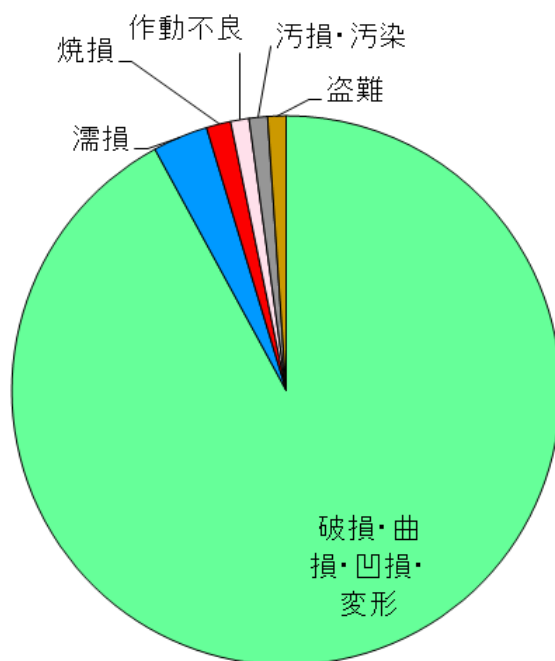


図 88：施設・構造物の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	106	55.5%	38	59.4%	144	56.5%
荷降中	31	16.2%	13	20.3%	44	17.3%
作業中	32	16.8%	4	6.3%	36	14.1%
積込中	17	8.9%	8	12.5%	25	9.8%
積替中	2	1.0%	1	1.6%	3	1.2%
保管中	2	1.0%	0	0.0%	2	0.8%
該当無し	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
総計	191	100.0%	64	100.0%	255	100.0%

表 89：施設・構造物の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

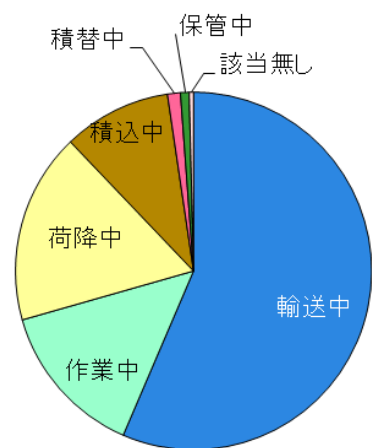


図 89：施設・構造物の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	70	36.6%	29	45.3%	99	38.8%
運転不注意	72	37.7%	21	32.8%	93	36.5%
積付・積載・固縛不良	25	13.1%	9	14.1%	34	13.3%
接触・交通事故	15	7.9%	1	1.6%	16	6.3%
車両・付属機器不良	3	1.6%	2	3.1%	5	2.0%
台風・集中豪雨	2	1.0%	1	1.6%	3	1.2%
動物害	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
シート不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
保管不良	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
火災	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
該当無し	0	0.0%	1	1.6%	1	0.4%
総計	191	100.0%	64	100.0%	255	100.0%

表 90：施設・構造物の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

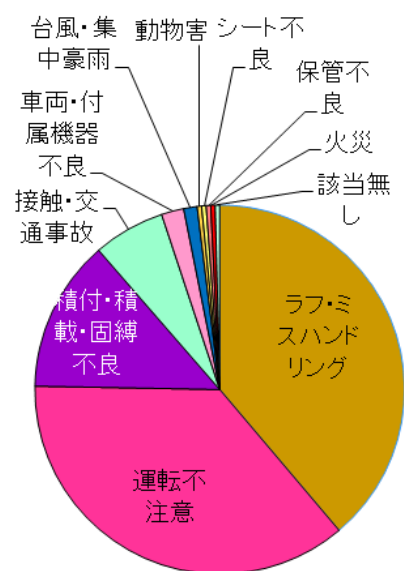


図 90：施設・構造物の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2010～2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
修理・交換	98	51.3%	34	53.1%	132	51.8%
滅却・廃棄	87	45.5%	27	42.2%	114	44.7%
手直し	4	2.1%	1	1.6%	5	2.0%
転売	1	0.5%	1	1.6%	2	0.8%
格落ち	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
該当無し	0	0.0%	1	1.6%	1	0.4%
総計	191	100.0%	64	100.0%	255	100.0%

表 91：施設・構造物の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

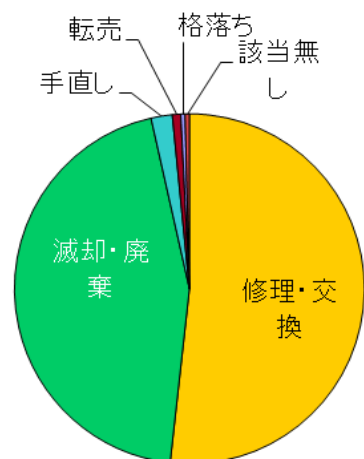


図 91：施設・構造物の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

(16) 家電

損害形態

損害形態	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	28	75.7%	7	70.0%	35	74.5%
盗難	5	13.5%	2	20.0%	7	14.9%
濡損	3	8.1%	1	10.0%	4	8.5%
汚損・汚染	1	2.7%	0	0.0%	1	2.1%
総計	37	100.0%	10	100.0%	47	100.0%

表 92：家電の損害形態

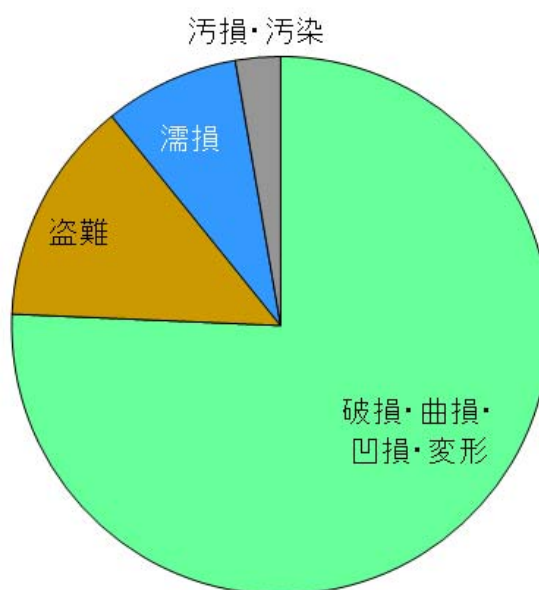


図 92：家電の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	16	57.1%	5	71.4%	21	60.0%
荷降中	7	25.0%	0	0.0%	7	20.0%
積込中	2	7.1%	1	14.3%	3	8.6%
保管中	0	0.0%	1	14.3%	1	2.9%
積替中	1	3.6%	0	0.0%	1	2.9%
作業中	1	3.6%	0	0.0%	1	2.9%
該当無し	1	3.6%	0	0.0%	1	2.9%
総計	28	100.0%	7	100.0%	35	100.0%

表 93：家電の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

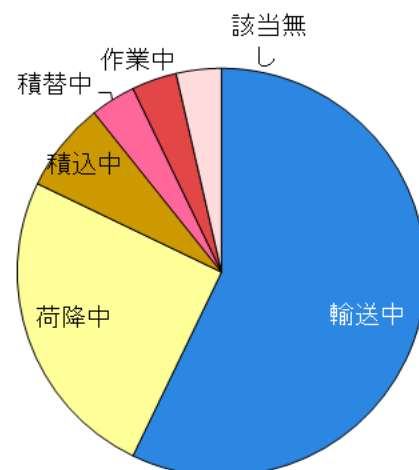


図 93：家電の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	13	46.4%	3	42.9%	16	45.7%
ラフ・ミスハンドリング	12	42.9%	2	28.6%	14	40.0%
積付・積載・固縛不良	1	3.6%	1	14.3%	2	5.7%
接触・交通事故	1	3.6%	1	14.3%	2	5.7%
保管不良	1	3.6%	0	0.0%	1	2.9%
総計	28	100.0%	7	100.0%	35	100.0%

表 94：家電の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

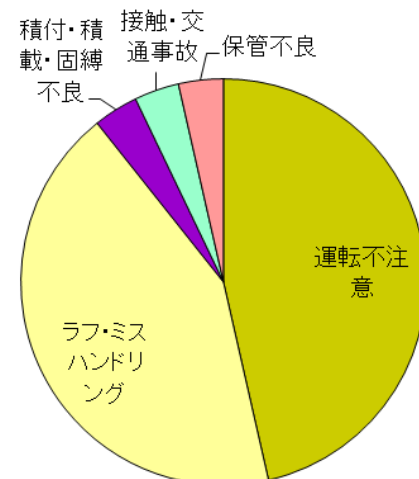


図 94：家電の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	19	67.9%	5	71.4%	24	68.6%
修理・交換	6	21.4%	1	14.3%	7	20.0%
転売	2	7.1%	1	14.3%	3	8.6%
手直し	1	3.6%	0	0.0%	1	2.9%
総計	28	100.0%	7	100.0%	35	100.0%

表 95：家電の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

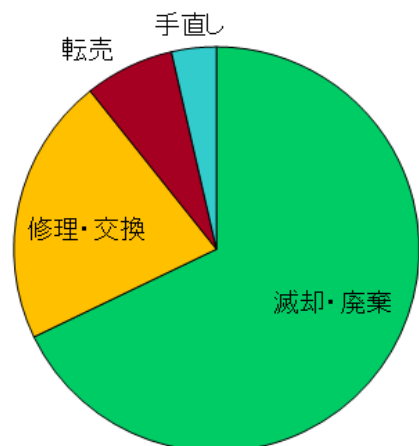


図 95：家電の損品処理
(破損・曲損・凹損・変形)

(17) 機械部品

損害形態

損害形態	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	124	94.7%	19	90.5%	143	94.1%
濡損	5	3.8%	1	4.8%	6	3.9%
盗難	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
錆損	0	0.0%	1	4.8%	1	0.7%
焼損	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
総計	131	100.0%	21	100.0%	152	100.0%

表 96：機械部品の損害形態

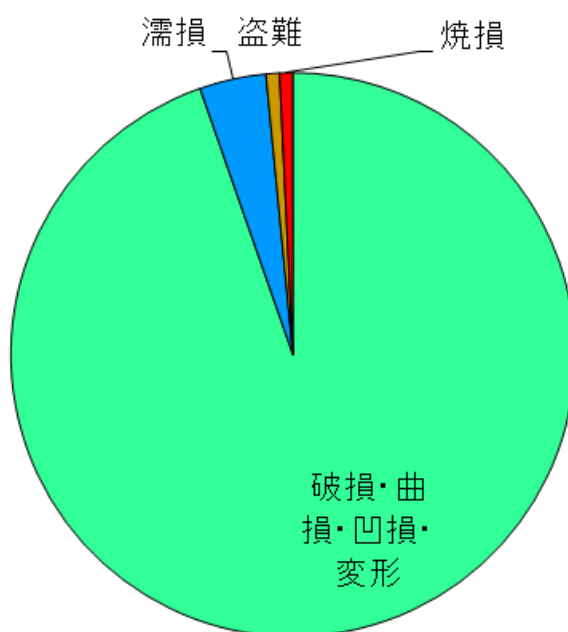


図 96：機械部品の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	48	38.7%	7	36.8%	55	38.5%
荷降中	33	26.6%	6	31.6%	39	27.3%
積込中	18	14.5%	2	10.5%	20	14.0%
積替中	14	11.3%	2	10.5%	16	11.2%
作業中	8	6.5%	1	5.3%	9	6.3%
保管中	3	2.4%	1	5.3%	4	2.8%
総計	124	100.0%	19	100.0%	143	100.0%

表 97：機械部品の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

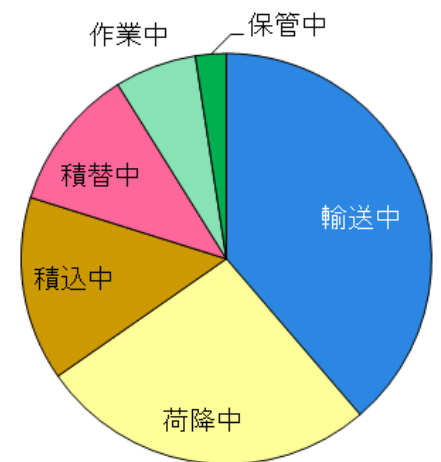


図 97：機械部品の事故発生場所
(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ラフ・ミスハンドリング	64	51.6	14	73.7%	78	54.5%
運転不注意	37	29.8	4	21.1%	41	28.7%
積付・積載・固縛不良	11	8.9%	0	0.0%	11	7.7%
接触・交通事故	9	7.3%	0	0.0%	9	6.3%
保管不良	1	0.8%	1	5.3%	2	1.4%
台風・集中豪雨	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
車両・付属機器不良	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
総計	124	100.0	19	100.0%	143	100.0%

表 98：機械部品の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

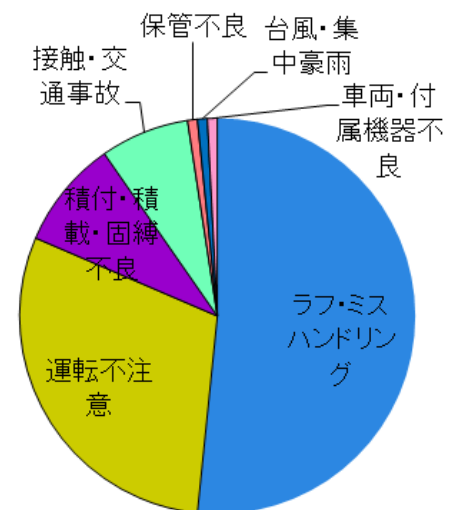


図 98：機械部品の事故原因
(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
減却・廃棄	103	83.1%	18	94.7%	121	84.6%
修理・交換	14	11.3%	1	5.3%	15	10.5%
手直し	3	2.4%	0	0.0%	3	2.1%
転売	2	1.6%	0	0.0%	2	1.4%
格落ち	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
該当無し	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
総計	124	100.0%	19	100.0%	143	100.0%

表 99：機械部品の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

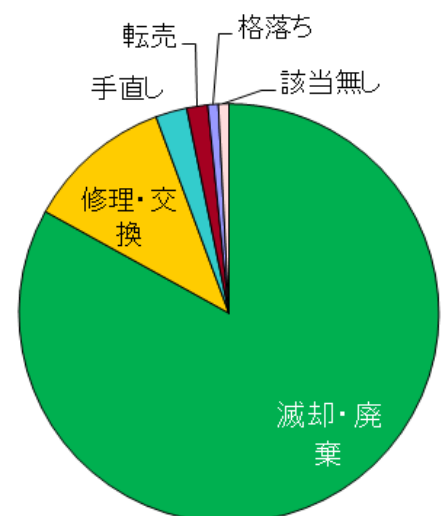


図 99：機械部品の損品処理
(破損・曲損・凹損・変形)

(18) 原料・素材

損害形態

損害形態	2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
破損・曲損・凹損・変形	9	50.0%	6	50.0%	15	50.0%
濡損	4	22.2%	4	33.3%	8	26.7%
汚損・汚染	1	5.6%	2	16.7%	3	10.0%
カビ損	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
焼損	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
凍結・解凍	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
変色・変質・劣化・腐敗	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
総計	18	100.0%	12	100.0%	30	100.0%

表 100：原料・素材の損害形態

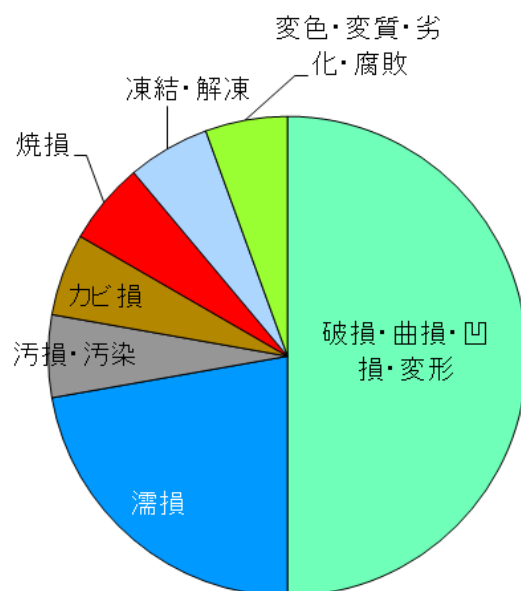


図 100：原料・素材の損害形態

① 破損・曲損・凹損・変形

事故発生場所

事故発生場所	2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
輸送中	10	55.6%	8	66.7%	18	60.0%
保管中	6	33.3%	3	25.0%	9	30.0%
積替中	1	5.6%	1	8.3%	2	6.7%
荷降中	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
総計	18	100.0%	12	100.0%	30	100.0%

表 101：原料・素材の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

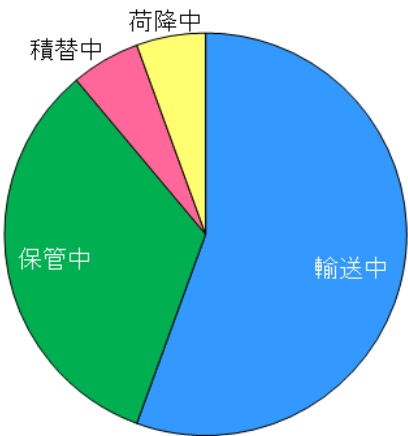


図 101：原料・素材の事故発生場所(破損・曲損・凹損・変形)

事故原因

事故原因	2012年度		2013年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
運転不注意	5	27.8%	3	25.0%	8	26.7%
ラフ・ミスハンドリング	2	11.1%	3	25.0%	5	16.7%
積付・積載・固縛不良	2	11.1%	2	16.7%	4	13.3%
台風・集中豪雨	2	11.1%	2	16.7%	4	13.3%
接触・交通事故	3	16.7%	0	0.0%	3	10.0%
シート不良	1	5.6%	1	8.3%	2	6.7%
保管不良	1	5.6%	1	8.3%	2	6.7%
火災	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
車両・付属機器不良	1	5.6%	0	0.0%	1	3.3%
総計	18	100.0%	12	100.0%	30	100.0%

表 102：原料・素材の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

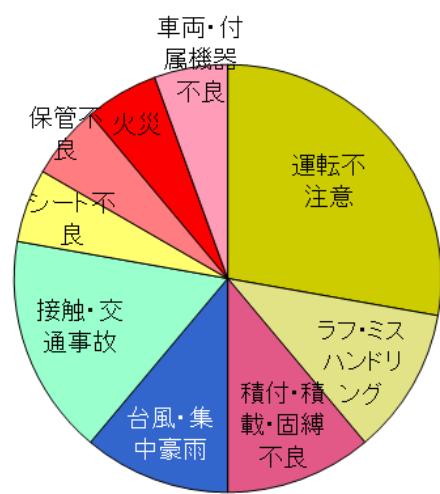


図 102：原料・素材の事故原因(破損・曲損・凹損・変形)

損品処理

損品処理	2012 年度		2013 年度		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
滅却・廃棄	12	66.7%	9	75.0%	21	70.0%
転売	5	27.8%	2	16.7%	7	23.3%
手直し	1	5.6%	1	8.3%	2	6.7%
総計	18	100.0%	12	100.0%	30	100.0%

表 103：原料・素材の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

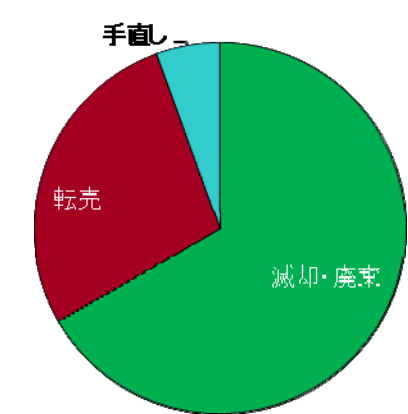


表 103：原料・素材の損品処理(破損・曲損・凹損・変形)

III 産業機械及び電子精密機器の損害について

1. 損害形態と原因

産業機械、電子精密機器の損害のほぼ90%である「破損・曲損・凹損・変形」と「海水濡れ」と「清水濡れ」について考察する。

1-1) 破損・曲損・凹損・変形

産業機械、電子精密機器の損害形態で圧倒的な1位は「破損・曲損・凹損・変形」の物理的損傷でそれぞれ「76.5%、72.8%」であるが、その事故原因のほぼ90%は「ラフ・ミスハンドリング」「輸送中の動揺/振動」のどちらかとなっている。

損害形態

	産業機械	電子精密機器
破損・曲損・凹損・変形	76.5%	72.8%

事故原因（破損・曲損・凹損・変形）

	産業機械	電子精密機器
ラフ・ミスハンドリング	54.3%	64.8%
輸送中の動揺/振動	35.1%	25.3%
合計	89.4%	90.1%

すなわち産業機械、電子精密機器の全損害のうち約2/3はこれらの原因で発生したもので、これらの原因は荷主のコントロールが及ばず改善のしようがない。

その他の事故原因のうち、「梱包不良2.9%」「積付・積載不良1.8%」の併せて5%程度、言いかえると損害発生のうち20件に1件は荷主の努力によって未然に防ぐことができるものである。

1-2) 海水濡れ・清水濡れ

産業機械、電子精密機器の損害形態で次に多いのは「海水濡れ」「清水濡れ」でそれぞれ併せて12%、20%以上と大きな割合となっている。

損害形態

産業機械		電子精密機器	
海水濡れ	清水濡れ	海水濡れ	清水濡れ
6.3%	6.3%	4.5%	16.4%
合計：12.6%		合計：20.9%	

電子精密機器の清水濡れが16.4%と高い割合なのは、航空貨物として輸入されたICチップ/デバイス、PCB：Printed Circuit Board等の電子部品が雨に曝された事例が多ことによる。

この種の貨物の濡れ事故の場合、製品に厳しい品質管理が求められるため濡れたという事実が認められた時点で使用不能、廃棄が決定される場合が多い。
こうした処置方法は医療関連の製品、器具についても同様のことがいえる。

2. 損害処理の特徴

産業機械と電子精密機器の損害処理方法には明らかな違いが見てとれる。

産業機械の損害処理方法の1位、2位は「修理・交換」61.1%、「滅却・廃棄」36.5%であるのに対し、電子精密機器では「修理・交換」28.7%、「滅却・廃棄」64.8%と割合が逆転する。

産業機械		電子精密機器	
修理・交換	滅却・廃棄	修理・交換	滅却・廃棄
61.1%	36.5%	28.7%	64.8%
合計：97.6%		合計：93.6%	

この理由は以下の通りと考えられる。

電子精密機器においては機器自体の精密性の向上、機器内部への電子部品の多用化、並びに、品質管理の厳格化により、極めて高い信頼性が求められるようになり、外観上では軽微な損傷しか確認できない場合でも信頼性を確保するために要する修理、検査費用が高み、経済的に修理不能となることが多くなっているためと考えられる。

3. 損害原因の盲点

第1-1)項で述べたように損害原因のうちの約5%は「梱包」「積付・積載」の不具合であり、これらは荷主の改善努力により損害防止の余地がある。

しかしながら、それらの改善方法は個々の貨物により異なるため具体的な提言をしめすことは難しい。

一方で、集計分類でこの区分に入っている事例の中に、荷主が認識していなかった輸送環境、梱包資材に起因する損害、あるいは、Shockwatch の使用方法の不得要領等によって発生した損害が多々あり、以下、損害発生防止、軽減への手がかりとして紹介する。

3-1) 注意喚起表示と衝撃記録

産業機械、電子精密機器の貨物外装にはほぼ100%注意喚起表示・荷扱い指示表示が施されており、さらにラベル式の Shockwatch、Tiltwatch、あるいは、耐衝撃の低い機器には輸送中の衝撃値を記録する Impact Recorder が装着されているものも多くなっている。

Shockwatch については使用方法、あるいは反応した際の対処方法が決められていないことにより、予期せぬ無駄な労力・費用が発生しているケースがかなり多くみられる。

すなわち、以下のような経過をたどるケースである。

- 木箱梱包外装に損傷、異常は認められないが、外装面に貼付されている Shockwatch が反応している。
- 関係者立会いのもと開梱したところ、内容品に異常は認められなかった。
- 機能検査を行った結果、正常に作動した。
- しかしながら、外装面に貼付された Shockwatch が反応していた以上、本体に衝撃による影響が及んでいることが懸念され、顧客への納入が躊躇される。

外装面に貼付された Shockwatch は必ずしも落下等の衝撃を受けた際にだけ反応するわけではなく、輸送途中に他物、あるいは、作業員等が接触した場合にも反応することがある。

このような場合、内容品に大きな衝撃が加わっていないケースが多く、Shockwatch の反応衝撃値 (G) と内容品が受けた衝撃値 (G) とは一致しない。すなわち、Shockwatch が反応していても、実際に内容品に加わった衝撃を知ることはできない。

このことを解決するためには、内容品が衝撃に対し脆弱な機器、装置である場合、その機器、装置の許容衝撃値に見合った Shockwatch を直接内容品である機器、装置に貼付することを推奨する。

許容衝撃値が定められている機器、装置が、その値を超えたことが示されるようにしておけば、そのものの使用可否の判断が容易になる。

過去の事例で、ある医療機器メーカーが輸入した医療器械に採用していた Shockwatch の使用方法を紹介する。

木箱梱包外装 2 面に Shockwatch を貼付している他に、内容品である医療器械の 3 面 (X、Y、Z) に 3 種類 (5、15、25G)、合計 9 枚の Shockwatch が貼付され、さらにそれらが反応していた場合の以下のような受け入れ判定基準も明確に規定していたケースで、非常に合理的に労力の無駄が省かれる方法となっている。

外装 Shockwatch が反応 (Active) している他に、

A 基準 (受け入れ使用可) : 1~3 面の 5G までが反応 (Active)

B 基準 (メーカー返送、検査) : 1 面でも 15G が反応 (Active)、25G は無反応 (Negative)

C 基準 (修理不能) : 1 面でも 25G が反応 (Active)

貨物の外装に貼られた Shockwatch は多分に注意喚起の意味合いを担ったもので、外装の Shockwatch が異常を示していたとしても内容品の医療機器に貼られた Shockwatch が反応していない場合、内容品に問題となるような衝撃は受けていないと判断すると規定している。

近年、産業機械、電子精密機器の貨物外装には Shockwatch を貼付し貨物の安全輸送を監視するようになったが、もう一步進んだ取り組みをなさないと、無用の労力を要したり、商品自体を損害品と判定せざるを得なくなるといった予期せぬ損害を被ることにもなる。

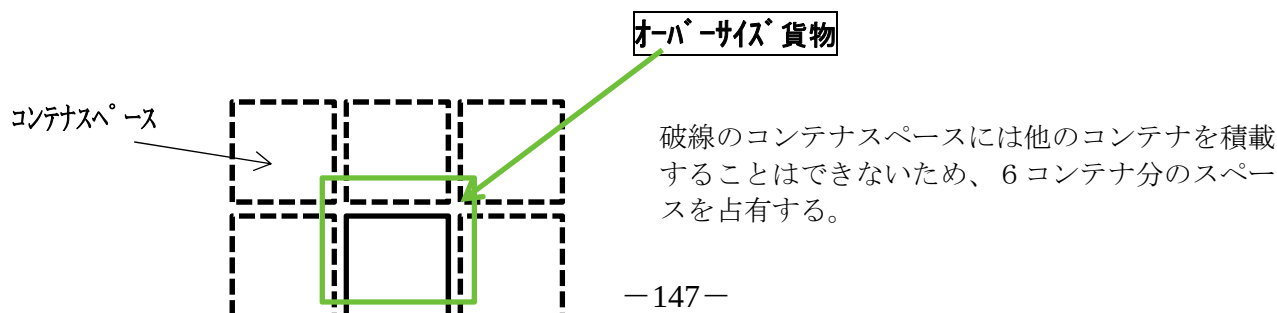
3-2) コンテナオーバーサイズ貨物

数値として分類していないので頻度は不明であるが、コンテナオーバーサイズの大型機械/装置が「海水濡れ」「清水濡れ」の損害を被るケースが多い。

すなわち、機械/装置の外寸が大きくコンテナフラットラックコンテナでもオーバーワイド (Over Wide)、オーバーハイト (Over Height) になる貨物は、どうしても On Deck 貨物になる場合が多く、自然、海水濡れ、清水濡れの危険度が大きくなる。

荷主によっては海上輸送される貨物は船倉内に入れられ風雨、海水から守られると思い込んでおり、海水濡れ、清水濡れが起こり Deck 上貨物であったことを後で知り憤慨する人がいる。

まずはコンテナオーバーサイズの貨物はコンテナ船では 6 コンテナ分のスペースを占有することを知っておく必要がある。



コンテナオーバーサイズの大型機械/装置をフラットラックコンテナにて海上輸送する場合、当該コンテナは On Deck 積みされることを前提で対策を講じておく必要がある。

どうしても船倉内への積載が必要であれば、6 コンテナ分の運賃を覚悟の上で船社と交渉することを勧める。

基本的に本船上の貨物の積載位置は船会社に決定権がありどの位置に積まれても仕方がないが、船舶が荒天に遭遇した場合、波浪は Deck 上まで達し、いわゆる Washing Board という状態も稀ではないことも知っておく必要がある。

3-3) 梱包木材

産業機械、電子精密機器の損害形態の中で汗濡れ、錆は非常に大きな問題である。

その原因となる水の供給源として見逃している、あるいは誤解している点につき紹介する。

貨物の梱包に使用される木材が水分の供給源で、梱包材に含水率が高い木材を使用すべきでないことは広く知られている。

しかしながら、輸出、輸入貨物に使用されている梱包木材はほぼ 100% が消毒済みの木材、いわゆる燻蒸材が用いられているが、燻蒸材イコール低含水率（乾燥している木材）と信じている人がプロである梱包業者も含め非常に多い。

以下に解説するように、燻蒸材であるから水分については安全であるということではなく、梱包に使用する木材は前もって含水率の測定を行うことを推奨する。

日本から世界各地に向けて輸出される貨物、逆に輸入する貨物に使用されている木材梱包材は国際基準 ICCP No. 15「国際貿易における木材こん包材の規制」に添った方法で消毒されたものが使用されている。

その方法には熱処理（HT）、臭化メチル処理（MB）等があるが、臭化メチルは地球環境破壊、発がん性の問題から日本も含めほとんどの国で使用が制限されており、現在でも採用している国は少ない。

熱処理は、一般的な熱風式の乾燥設備を使用した際、温度 50～80℃で、10～14 日間処理を行い、20～30%程度まで含水率を下げるができる。更に含水率を下げるためには日数、人件費、燃料費等が必要なため、木材の単価が高くなる。

臭化メチル処理は、木材を決められた臭化メチルガス濃度と 20℃前後に保たれた部屋に 24 時間以上蔵置することで消毒する方法で、処理することによる木材の含水率低下は期待できない。

熱処理式は蒸気室にて燻蒸するのが一般的で、方法としては木材の中心を含めた断面温度が 56℃以上を 30 分以上保持することと規定されている。

この規定に合致した熱処理消毒時間のガイドラインが経済産業省から示されており、処理材の断面形状にもよるが処理温度 70℃～95℃、処理時間 5 時間程度であり、木材の含水率低下は期待できない。

以上の通り、国際基準 ICCP No. 15 は木材中のマツノザイセイチュウ等の線虫、卵等を死滅させる目的で行われるもので、含水率の低減が同時に得られるものではない。

国内の大手梱包木材供給業者での実地見学の際にも、実務責任者から以下のようにコメントを得ている。

そもそも燻蒸処理は木材の乾燥が目的ではないため、燻蒸後の含水率を計測することはないが、燻蒸直後の含水率は 50%を超えていると判断される。

但し顧客から含水率 20%以下などという乾燥材（KD : Kiln Dry）の注文があれば、3-4 日掛けて水分を除去して目的の含水率の木材にする事も可能である。

5. 終わりに

輸入貨物については 2011 年度から、国内輸送貨物については 2010 年度から毎年事故案件の集積及び分析を実施してきた。

分析の結果、輸送に関わる様々な機器は日々進歩しても事故の件数、傾向に大きな差は見られないことがわかった。

データ集積は本年度で終了するが、集積したデータを元に更に効果的な事故対策を検討していく。

以上